

常滑市民俗資料館

研 究 紀 要 Ⅺ

2004

常滑市教育委員会

常滑市民俗資料館

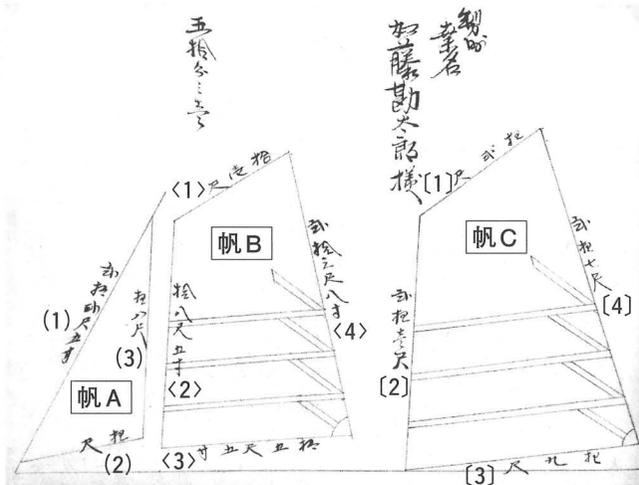
研 究 紀 要 XI

2004

常滑市教育委員会

## カネメ船具店について

カネメ船具店とは、かつて常滑の保示地区にあり、その後、明治屋と名称を変更し船具や雑貨を商った店の前身である。『常滑町史編纂資料』『常滑船舶考』の中で保示の船舶所有者として出てくる鯉江庄治兵衛家が本家のカネメで明治27年に船稼ぎを廃業したと読める。この家は、その後、味噌溜りの醸造業を始めるが、分家した鯉江庄八が明治屋として船具類を商っていた。庄八家は山庄を屋号としており、カネメは本家の屋号であることから、ここに紹介する資料は本家の醸造業開始前の帳面であった可能性が高いのだが、明治屋に伝存していたものである。表紙が失われているため、この帳面が担った役割を確定することは難しいが、裏表紙には「常滑港 カネメ船具店」と墨書されており、常滑港に出入りする船から注文を受けて、その帆のサイズや形状を記録した帳面と見ることができる。現存する最初の頁には「明治29年7月」と書かれており、最終頁には年号がないが、最終頁から三枚目のページに「明治39年10月1日」と記されている。途中年号の書かれていない頁もあり、それらについては前後関係から判明する範囲で想定される年号を与えた。全部で458頁になり、1頁に一艘分の帆の絵がある頁や数艘分が描かれた頁もある。一艘分の帆を数えると807艘分が描かれているが、4枚一組の帆もあれば1枚のみのものもある。知多半島沿岸の港だけでなく伊勢湾から志摩にかけて多くの注文があり、まれに関東の船もある。関西の船がないのは、興味深い点である。明治30年代の常滑は土管や下甕が大量に関東方面に運ばれていた時期である。三河の船も多く見えるが、三河の製品としては焙烙やコンロなどの日用品が運ばれており、30年代も後半になると窯を築くときに用いる赤レンガなどが運ばれていたと考えられる。その他、酒造や味噌・溜り・醤油の醸造、そして木綿などの産物の運搬が想定できる港の名も見えるが、一方で漁港を主とする港も見える。ここに描かれた帆がどこで作れたのか今のところわかっていない。そして、どのような船に用いられたのかも不明瞭のままである。したがって、この資料から多くの情報を読みとる努力は、今後の課題として残したまま、とりあえず資料にあるデータを報告することにした。それは、ここの記された船名や人名、会社名から船に関する手がかりが、これを機会に得られるのではないかと期待しているからである。今後、それぞれの港を持つ地域の諸賢よりご教示いただける機会を楽しみに待ちたい。



帆 番号	ページ 番号	船名	人名	会社名	地名	年月日	帆 A	
							(1)	(2)
1	1	角ト2号常滑丸			知多郡常滑町	M29/07	22	43
2	2	角ト2号常滑丸			知多郡常滑町	M29/07	52.5	17
3	3	角ト2号常滑丸			知多郡常滑町	M29/07	50	16
4	3	改良丸良造船	良造			M29/	20.4	35.5
5	4	貞次郎船	貞次郎		知多郡西阿野村	M29/	10	20
6	4	永宝丸	倉内重助			M29/10/30	21	33.2
7	5	永宝丸	倉内重助			M29/12/10	35	12
8	5	角米印手船			知多郡大井村	M29/	28	10.5
9	5	御手船	杉江半三郎			M29/11/15	26	10.5
10	6	豊石丸	豊倉屋仁平・熊吉		知多郡成岩町	M29/11	24.5	10.7
11	6	宮川与吉殿船	宮川与吉		紀伊国田原村大字下田原	M29/11/19	35	15.5
12	6		石川種吉		知多郡須佐村	M29/12/25	11	21
13	6		為吉		知多郡常滑町北条	M29/?/24	10	15
14	6	御手船	中野桂助			M29/	9	23.5
15	7	実次郎船	実次郎		三州渥美郡	M29/12/25	5尋	1丈
16	7		天木平三郎		知多郡半田町	M29/12/25	31	13
17	8	御手船		丸ト米油株式会社		M29・30	22.5	9.5
18	8	小栗重太郎船	小栗重太郎		知多郡半田町	M29・30	27.5	10
19	9		伊藤仙助		知多郡山海村	M29・30	22.5	9
20	9		森本助左衛門		知多郡楠村	M29・30	16	26
21	10	手船		大野運輸株式会社		M29・30	22.5	9.5
22	10		近藤為吉			M29・30	7.5	14
23	10		岩田久三郎			M29・30	10	17.5
24	11		神谷好太郎		三州碧海郡高浜	M30/04/05	7.5	13.5
25	11	角七	間瀬栄次郎		知多郡古場村	M29・30	14	22.5
26	12		三嶋久米三郎			M30	7.3	12.3
27	12		岩田市左衛門			M30	11.5	22.5
28	12		加藤定助		知多郡半田町	M30	9	18
29	13		山本清三郎		知多郡坂井村	M30	13.5	7
30	13		梶田甚右衛門		知多郡上野間	M30	9.5	19
31	14		小栗重太郎		知多郡半田町	M30	11	23
32	14		榊原常太郎		知多郡武豊町	M30	8	15
33	14		石川安吉		知多郡武豊町	M30	6.5	13.5
34	14		重造			M30	6.5	13.5
35	14		山口又助			M30	19	10
36	15		平野仙次郎			M30	22.5	12.5
37	15		由蔵		三州碧海郡高浜	M30	7.5	14
38	15		山下藤蔵		知多郡豊浜	M30	30	13
39	16		結城喜代次郎			M30	23	9
40	16		近藤次作		知多郡上野間村	M30	26	10.5
41	17	次平船	次平		知多郡常滑町瀬木	M30	2尋8尺5寸	12
42	17	手船		井口商店		M30	27.5	10
43	18		齊藤太郎右衛門		知多郡古布村	M30	23	9
44	18	八三郎船	八三郎		知多郡樽水村	M30	22	22.5
45	19		加藤丈造		知多郡朝倉村	M30	28	12
46	18		八三郎		知多郡樽水村	M30	12	22.5
47	19	八幡屋手船八幡丸			東京日本橋区小網町	M30/09	32.5	15
48	20	吉松船			三州	M30/11/07	28	12.5
49	20	大岩六太郎船	大岩六太郎		知多郡中州村	M30	27	7.6
50	20	惣五郎船	惣五郎		勢州久茂津	M30	30	13
51	21	清九郎船	清九郎			M30	8.5	17.5
52	21	神谷弥左衛門船	神谷弥左衛門			M30	9.5	18
53	21	市左衛門船	市左衛門		知多郡小鈴谷村	M30	22.5	12.5
54	21	久米三郎船	久米三郎		三州碧海郡高浜	M30	8	15
55	22		奈良吉		知多郡武豊	M30	8.5	16.5
56	22		三浦曹次郎		三州幡豆郡東幡豆村	M30/11/22	30	12
57	22		荒嶋権三郎			M30	11	23
58	23		石川種吉		勢州一志郡雲出林字伊倉津	M30/11/28	12	25
59	23	田中作太郎船	田中作太郎		知多郡河和村	M30	9	15.5

サイズ		帆 B サイズ				帆 C サイズ				帆 D サイズ				縮尺	備考
(3)	(4)	<1>	<2>	<3>	<4>	[1]	[2]	[3]	[4]	1	2	3	4		
2(6or8)	54	25	47.5	37	61										地名記載なし
44		55	22	47											地名記載なし
40.5															地名記載なし
25.5	45.4	20.8	38	32	49.4										
14	26	7	12.5	10	15.5	5	10	8	13					1/50	
26	43	21	37.2	31	49									1/100	
28		37.5	13	31.5		41.5	15.7	37.5						1/75	
23		13.5	25	17.7	31.5	12.8	26	20.6?	33.5					1/100	
21.2														1/75	
18.8														1/75	
27.7															
16	26.5													1/75	
15	20													1/50	
13	18													1/50	
4尋		6尋	12	5尋5寸		14.6	26.5	18.5	33.3	28.5	22.5	36	14.6	1/100	和メリケン帆上々
26		24.6	26	18.5	32.8	14.6	28	24.5	35.6					1/100	和メリケン帆仕立上り金77円
18		10.5	19	14	24.3	10	20	17	26					1/50	
22.5		13	31.5	18	25.5	13	33.5	21	26					1/50	和メリケン帆
17		27.5	11	22.5		13	25	18.5	31	12.5	26	19.5	33	1/100	和メリケン帆
19.5	32.8	14.3	28	22	35.5									1/100	
18		10	18	14.5	23.3	10.5	19	16	25						
10.5	18.3														
13.5	22.6														
11	17	10	16	14	20.5										
18	29	10	23.5	18	29										姓・地名記載なし
10	16.3	8	15	12	19.5										
16	28.5														
13	23														
9.5		8.5	18	14	23										
14	23.5	10.5	20	19.5	25										
16.5	29														
11.5	29.5														地名記載なし
10	18														地名記載なし
1丈	18														
12															
15.5															
11	17.5	10	16	14	20.5										
20.5		12.5	26	18	32										舶来メリケン帆和メリケン帆
16.5		28	12	23		13.5	25.5	18	32	13.6	27.5	22.5	35		
21.5		22.5	23.5	16.5	29	12.8	25	19.5	31.5						
24.5		12.5	24.5	17	29.5	12.8	25.5	20.7	32.6						
22		14	26	18.5	32.3	14	27	20.5	33.8						
18		28	12		23	15	26	19	32	14.3	27	22	33.5	1/100	
16.5	27.5	12	23.5	17	29										
23		14	25	20	31	14	26.5	21.5	32					1/100	地名記載なし
16.5	27.5	12	23.5	17	29										
27		19	24	22	21	17.5	25	27	33.5						
25.5		14	25.5	17.5	32	13.5	27	19.5	34					1/75	
22.8															
25														1/80	
13.1	22														
14	22.5													1/50	
15.5														1/400	
11	19.5													1/400	
13	21.5													1/50	
25		12.5	26	18	32									1/100	
16.5	29	14	25.5	17.5	22										
17	30.6	12.5	25	18	31										
13	20.8	10	17.5	15	23									1/90	

帆 番号	ページ 番号	船 名	人 名	会 社 名	地 名	年 月 日	帆 A	
							(1)	(2)
60	24	御手船	大岩甚三郎		知多郡内海町	M30・31	18.5	27
61	24	手船	塚本清八		知多郡大野町	M30・31	25	11
62	25	カネ榊竹内亀三郎船	竹内亀三郎	カネ榊	知多郡大谷村	M30・31	36.5	16.5
63	25	三嶋久米三郎船	三嶋久米三郎		三州碧海郡高浜港	M30・31	8.5	16
64	26	杉浦才吉船	杉浦才吉		三州碧海郡相見村	M30・31	12.5	23
65	26	鯉江忠次郎	鯉江忠次郎		知多郡北条村	M30・31	23.5	9.5
66	27	手船		高木廻漕店	横浜市	M30・31	12	15
67	27		中村寅吉		知多郡半田町濱ヶ	M30・31	1丈	1丈八尺
68	27	荒嶋権之郎	荒嶋権之郎		三州	M30・31	11.5	22
69	28	久田松次郎船	久田松次郎		知多郡樽水村	M31/	14.5	22
70	28		熊次郎		知多郡成岩町	M31/02/17	8.5	15.8
71	28	山本実五郎船	山本実五郎		三州碧海郡新川	M31/	27.5	11
72	29	樋口元右衛門様船	樋口元右衛門		美濃太田町	M31/	25	12.5
73	30	澤田政次郎殿船	澤田政次郎		知多郡大井港	M31/	30	12.5
74	30		新美竹松		知多郡成岩町	M31/03/06	11	20
75	31	沢田音吉船	沢田音吉		知多郡成岩町	M31/	25.5	1丈5寸
76	31		相羽太七		知多郡小鈴谷	M31/	25	10
77	32	酒井忠次郎船	酒井忠次郎		知多郡半田	M31/	11.5	23
78	32	鈴木長之助船	鈴木長之助		知多郡半田町	M31/	11	20
79	32	盛田伊助船	盛田伊助		知多郡野間村	M31/	12	19.3
80	33	盛田手船				M31/	26.5	11.5
81	33	小栗参郎殿手船	小栗参郎		知多郡半田町	M31/	7.5	12.5
82	33	水野常助船	水野常助		知多郡半田町	M31/	13	23
83	34	水野常助殿船	水野常助		知多郡半田町	M31/	27.5	11
84	34	永田民造殿船	永田民造		知多郡大谷村	M31/	23	9
85	34	順徳丸				M31/	25	45
86	35	第参号順徳丸			駿州駿東郡	M31/	51	21
87	36	順徳丸				M31/	45	15
88	37	カネ榊亀三郎船	亀三郎		知多郡大谷村	M31/	41.5	19
89	37		大橋春造		遠州	M31/04/23	15	24
90	38	藤松半造船	藤松半造		勢州津市	M31/	18	27
91	39		個同人			M31/04/25	28	11.5
92	39		平野由吉		知多郡大野町	M31/	30	12.5
93	39	安永次左久船	安永次左久			M31/	23	10
94	40	宮吉丸	由吉		知多郡大野町	M31/	14	25
95	41	永田民蔵			知多郡大谷村	M31/	23	9
96	43	水野常助様船	水野常助		知多郡半田町	M31/	27.5	11
97	44	小栗菊次郎様船	小栗菊次郎	三州セメント会社		M31/	35	15
98	44		沢田音吉		知多郡成岩町	M31/	9	15.8
99	44	近藤助右衛門船	近藤助右衛門		知多郡上野間村	M31/	8	15
100	45	金沢新太郎様船	金沢新太郎		知多郡半田町	M31/	10	16
101	45		古井仙太郎		知多郡武豊町	M31/	9	17
102	45	盛田徳左衛門様船	盛田徳左衛門		知多郡富貴市場	M31/	8.5	14.8
103	45	鈴木丈助様御手船	鈴木丈助		知多郡半田町	M31/	8	14
104	47	鈴木市郎平様船	鈴木市郎平		三州碧海郡新川	M31/	27.5	11
105	47		青木弥助		知多郡武豊町	M31/	9	18
106	47		石原文吉		知多郡半田町	M31/	8.3	15
107	48	杉山冷太郎様船	杉山冷太郎		三州幡豆郡	M31/	25	11
108	49	高木丸		高木回漕店	横浜市	M31/	14	17
109	50	大神丸	佐之助		志州	M31/	17	28
110	51	大神丸	佐之助		志州	M31/	27.5	9
111	53	鈴木萬吉様船	鈴木萬吉		三州幡豆郡	M31/	25	9
112	53		竹内富三郎		知多郡乙川村	M31/	9	19
113	53		青木縫右衛門		知多郡武豊町	M31/	10	15.8
114	54	石倉文作様船	石倉文作		三州渥美郡	M31/	30	12
115	55	荒木新一様船	荒木新一		三州	M31/	25	10.5
116	56	家田傳次郎船	家田傳次郎		知多郡大井港	M31/	30	13
117	57	坂久太郎船	坂久太郎		知多郡横須賀町	M31/	18	8
118	57	大村庄太郎様船	大村庄太郎		知多郡横須賀町	M31/	9.5	18

サイズ		帆 B サイズ				帆 C サイズ				帆 D サイズ				縮尺	備 考
(3)	(4)	<1>	<2>	<3>	<4>	[1]	[2]	[3]	[4]	1	2	3	4		
22	34.5													1/75	
20		13	23	17.5	29	13	25	20	31.5						
31.5		21.5	34	27.5	45	21	36	30.5	47.5					1/90	
13	20.5														
14.5	2丈8尺5寸	12.5	14	18	30										
19		9	19	13.5	24.5	10	28	15	26.5						
17	22.5	17.5	20	25	28.5										
1丈4尺	23.3														
17	27.5													1/50	
17.5	28.5	12	23	19	29.3										
13.5	19.6													1/50	和メリケン
22		32.5	15	26		16.5	28	19.5	35.5	16.5	30	27	37.5	1/60	
17.5		7	1丈1尺5寸	1丈	1丈4尺5寸										
25		14.5	26	18.5	32	13.5	27	19.5	34					1/65	
15	25	11	22	18	27.5										
20.5		9	15.8	13.6	19.8									1/40	帆の並びが変則
20.5		10.3	21	17	26.5	11.4	22	19	28					1/60	
18	27.8													1/50	
15	25.5													1/50	
17.6	25.3	12	20.3	19.3	27.3									1/50	
22														1/50	
10	16.2	8.3	15	12	19.2									1/50	
18	29.3	13	25	21	31.5									1/60	
22.5														1/50	
18		25	11	20.5										1/50	
37	57													1/75	
43		25.5	43.5	28	55									1/75	舶来メリケン式番三番
35		48	19	40										1/50	舶来メリケン式番三番
37														1/50	
18.5	31.8													1/50	出来上り寸形メーンセール
20	34	18	27.6	24.8	35.6									1/50	
22		33	20	29										1/50	
25.5														1/50	
17															
20	31	14	26.5	20.5	33									1/50	
18		25	11	20		12	21	18	26.7	12.5	25.5	18.5	32	1/50	
22.8		13	23	18	29.3	13	25	21	31.5					1/50	
30		18	22	21	36	26.5	30	28	38					1/50	
13.6	19.8													1/40	
11	12													1/40	
14	21													1/40	
14	21.5													1/40	
13	19.3													1/40	
12	18													1/40	
22		32.5	15	27.5		16.5	28	21.3	35.5	16.5	30	25	37.5	1/50	
13	22.5													1/40	地名記載なし
12	19.2													1/40	
20.5		13	22	16.5	28	12	23	18	29					1/40	
17	25	17.5	22	25	30.5									1/50	
19.5	36	16	30	24	38									1/50	
21		30	10	24		32.5	12.5	27.5						1/40	
19		31	14	26		15	26	17.5	32	14	27	22	33	1/50	
13	22.5													1/40	
15.3	20.8													1/40	
25.5		14	25	19.5	31	14	26.5	21	33.5					1/50	
20		13	22	16.5	28	12	23	19	29.3					1/50	
25.5		16	27.7	20	35.2	15	29.2	20.7	36.3					1/50	
13		9	17	13	22	9	18	13.5	23					1/45	
13.5	23	9	19	14	24									1/45	

帆船番号	ページ番号	船名	人名	会社名	地名	年月日	帆A	
							(1)	(2)
119	58		阪喜兵衛		知多郡横須賀町	M31/09/04	28	11.5
120	59		吉川仙造		三州大浜町字下ノ切	M31/09/05	9.5	15.9
121	59	米吉殿船	米吉		知多郡大野町	M31/09/16	9.5	17
122	60	山一住吉丸	庄造		東京	M31・32	20	36
123	61	住吉丸	庄造		東京	M31・32	44	18.8
124	61	久田吉造様船	久田吉造		知多郡西阿野村	M31・32	13.6	18.8
125	62	中村七助様船	中村七助		志州三ヶ所	M31・32	26	10.5
126	64	片山重造様船	片山重造		志州安乗村	M31・32	25	10
127	64		寺沢源太郎		知多郡北方村	M31・32	13	24
128	64		谷川半左衛門		知多郡西阿野村	M31・32	15	25.3
129	65	森田孫助様船	森田孫助		知多郡大谷村	M31・32	20	35
130	65	岩田権兵衛様船	岩田権兵衛		知多郡菟屋村	M31・32	21.5	12
131	65		幸吉		知多郡北条村	M31・32	14.5	8.5
132	66		阿同重吉			M31・32	9	16.5
133	66	吉田秀治郎様船	吉田秀治郎		尾州海東郡蟹江町	M31・32	9	17
134	67	後藤柳五郎様船	後藤柳五郎		尾州海東郡蟹江町	M31・32	9.5	18
135	67	粕谷萬助船	粕谷萬助		三州碧海郡新川湊	M31・32	30	12
136	67	萬三手船	小栗		知多郡半田町	M31・32	7	12.5
137	68	金鳳丸	為次郎		海東郡	M31・32	10	17.2
138	68	梅次郎船	梅次郎		海東郡蟹江町	M31・32	9.3	17.2
139	68	竹内菊次郎船	竹内菊次郎		知多郡大野町	M31・32	9	17
140	69	杉浦嘉造様手船	杉浦嘉造		知多郡半田町	M31・32	9	17.5
141	69	石川安吉様船	石川安吉		知多郡武豊町	M31・32	9.5	17
142	70		服部与七		知多郡武豊町	M31・32	7.5	13.5
143	70	政七様船	政七		三州碧海郡高浜町	M31・32	6	11
144	70	音治郎様船	音治郎		知多郡日長村	M31・32	9.5	17
145	71	中野源太郎様船	中野源太郎		知多郡武豊町	M31・32	10	18
146	71	与三吉様船	与三吉		知多郡大野町	M31・32	22	9
147	72		杉浦半七		知多郡武豊町	M31・32	8	15
148	72	酒井忠次郎様船	酒井忠次郎		知多郡半田町	M31・32	9	18
149	72	共同社亀吉船	亀吉	共同社	知多郡半田町	M31・32	16	8
150	73	森庄之助様船	森庄之助		知多郡師崎村	M31・32	22.5	9
151	74	加藤勝次郎様船	加藤勝次郎		海東郡蟹江町	M31・32	9.3	17.2
152	74	青木弥助様船	青木弥助		知多郡武豊町	M31・32	12	21
153	74	小栗富次郎様手船栄七船	小栗富次郎・栄七		知多郡半田町	M31・32	10.5	18
154	75	春吉様船	春吉		愛知郡鳴海町	M31・32	9	15.5
155	75		長田久太郎		知多郡武豊町	M31・32	7.5	13.5
156	75		酒井喜代七		愛知郡鳴海町	M31・32	22.5	10
157	76	酒井忠次郎様船	酒井忠次郎		知多郡半田町	M31・32	12	22
158	76	間瀬藤太郎様船	間瀬藤太郎		知多郡半田町	M31・32	7.5	13
159	76	佐藤浦次郎様船	佐藤浦次郎		海東郡蟹江町	M31・32	10.2	18.6
160	77	石川新助様船	石川新助		知多郡中須村	M31・32	27	11
161	78	稲吉仙五郎様船	稲吉仙五郎		三州宝飯郡西浦村	M31・32	28	11.5
162	79	海進丸			知多郡菟屋村	M31・32	31	14
163	79		藤三郎			M31・32	11	20
164	80		加藤松次郎		熱田町	M32/06/01	18	8
165	80		治郎右衛門		知多郡朝倉村	M32/	9	17.5
166	80		権七		知多郡朝倉村	M32/	9	17.5
167	81		仙太郎		名古屋	M32/	9	17
168	81		伊藤久七		勢州四日市北納屋町	M32/	18	8
169	82		清太郎	共同社	知多郡半田町	M32/06/13	8	15
170	82		萬吉		知多郡上野間村	M32/	19	10
171	82		伊藤傳七			M32/	7.5	13.5
172	82	三徳丸	伊藤良右衛門		尾張國中島郡三條村字板倉	M32/	9	15
173	84	幸正丸	花崎富吉		志州志摩郡長岡村字片子	M32/06/16	37.5	17.5
174	84	三徳丸	伊藤良右衛門		尾張國中島郡三條村字板倉	M32/	9	15
175	84		榊原清三郎		三州	M32/06/26	17	27.5
176	85		家田傳次郎		知多郡大井村	M32/	14	25
177	86	仲野丸			知多郡樽水村	M32/08	17	28.5

サイズ		帆 B サイズ				帆 C サイズ				帆 D サイズ				縮尺	備考
(3)	(4)	<1>	<2>	<3>	<4>	[1]	[2]	[3]	[4]	1	2	3	4		
23.5		13.8	24	18.5	30	12.8	25	20.5	32					1/50	
13	20.5	9	16.5	14	21.5									1/50	
13	21.5	9	18	13.5	23									1/50	
23.5	44	19	35.5	27.5	44.5									1/60	
38														1/50	住吉丸は常滑という記載あり
16.7	25.3													1/40	
20.5		13	23	17	29.5	12.5	24	19	30.5					1/45	
19		30	13	25.5		15.5	26.8	18.5	34.2	14	28	22.5	35	1/40	フランジープ
18.6	30													1/50	
17.5	32													1/50	
23.5	44													1/60	
15														1/40	
9.7														1/30	
13	21	9.5	18	14	23									1/45	
13	22	9	18	14	23									1/45	
13.5	23	9	19	14	24									1/45	
27														1/50	
10	16													1/30	
15.5	22.2													1/45	
14.5	22.2													1/45	
13	22	9	18	13.5	23									1/45	
14	23	9	17.5	14	23									1/45	
13	21.5	9	18	13.5	23									1/45	
11	17.3													1/40	
8.5	14.8													1/30	
13	21.5	9	18	13.5	23									1/45	
14	22.5	10	20	15.5	25									1/50	
18		8.5	19	13	23.5	9	20	14	24.7					1/45	
12	19													1/40	
15	22.5													1/45	
12.4		8	15	12	19	8	15	12	19					1/40	
17		26	11	21.5		13.8	23	16.3	29	13	24			30.5	1/40
14.5	22.2													1/45	
17	26.5													1/50	
15.5	23.3	11.5	19	16.5	24.5									1/45	
12	20													1/40	
12	17.5													1/35	
19		11	20	16	25.5	11	21	16.5	26.5					1/50 1/60	
18	27.5													1/50	
10.5	17													1/40	
15.6	22.6	10.2	19.6	16.1	24.6									1/45	
22.5		13	22.5	16.5	28.5	13.5	24	19.5	30.5					1/50	
23.5		13.8	24.5	18.5	30.5	12.8	25.5	20.5	32					1/50	
24.5		14	26.5	19	22.8									1/50	
16	25.5													1/45	
14		9	17.5	13.5	22.5	9.5	18.5	14.5	23.5						45
13.5	22.5														45
13.5	22.5														
13	22	9	18	13.5	23										45
14		10	18.5	14	23.5	9.5	19.5	15.5	24.5						45
12	19	12	18.5	16	24									1/50	
14															
11.5	17.5														
13	19														
31		18	29	21.5	37.5	18.5	31	25	40					1/50	ホーステア
13	19														
24	36														
18	31	13.5	26	20.5	33										
25	36.8	16.5	30	25	38										

帆船番号	ページ番号	船名	人名	会社名	地名	年月日	帆 A	
							(1)	(2)
178	87	仲野丸			知多郡樽水村	M32/	43	25
179	87		杉山七三郎		三州相羽吉田町	M32/	11.2	17.6
180	88		榊原常太郎		知多郡武豊町	M32/07/02	11	19
181	88		宮原鉄造		知多郡常滑町(当町)	M32/07/05	7.5	13.5
182	88		神谷久太郎		知多郡八幡村字平井	M32/07/09	9	17.5
183	88		藤助		三州碧海郡高浜	M32/	20	11
184	90		高橋友三郎		知多郡大井港	M32/	26	11
185	90	亀盃丸			知多郡古場村	M32/08/14	12.5	24
186	91		家田傳次郎・伊六		知多郡大井村	M32/07/12	27.5	11
187	92	共豊丸				M32/08	23.8	44.6
188	93	漁船			勢州四日市	M32/	9.5	16
189	93		平野長右衛門		三州宮	M32/08/27	13	20
190	93		岩太郎		知多郡亀崎町	M32/08/22	35	15.5
191	94		山本鉄五郎		知多郡知多郡	M32/	30	12.5
192	95		水野兼助		知多郡半田町	M32/10/03	11	19
193	95		栄吉		知多郡大谷村	M32/	11	18
194	95		榊原常太郎		知多郡武豊町	M32・33	11	20
195	95		三井金六		知多郡武豊町	M32・33	11	18
196	96		中村弥助		知多郡山海村	M32・33	23	9
197	97		加藤勘太郎		勢州桑名	M32・33	22.5	10
198	98		加藤勘太郎		勢州桑名	M32・33	22.5	10
199	99			新知村回送店	知多郡新知村	M32・33	25	11
200	100		春吉		知多郡若松	M32・33	9.5	16
201	100		沢田傳之助		知多郡半田町	M32・33	10.5	18
202	100		鈴木助太郎		知多郡坂井村	M32・33	8.5	13.5
203	100		神保松兵衛		知多郡若松港	M32・33	21	10.5
204	102		中田斎吉		知多郡内海町	M32・33	22.5	10
205	103	共豊丸	筒井松造			M32・33	50	16.5
206	103	角一宝栄丸	伊藤善造			M32・33	44.5	19.5
207	104		沢田熊四郎		知多郡成岩町	M32・33	11	18.5
208	104			丸西合資会社	知多郡亀崎町	M32・33	12	22
209	104		勝之進		知多郡大谷村	M32・33	6	11
210	104		家田傳次郎		知多郡大井村	M32・33	30	11.9
211	104		伊藤作次郎			M32・33	22	12.5
212	105		直七		尾根	M32・33	8	13.5
213	105		杉浦岩松		三州渥美郡	M32・33	9.5	15
214	105		榊原常太郎		知多郡武豊町	M32・33	20	9.5
215	105	杉浦嘉造様手船	杉浦嘉造		知多郡半田町	M32・33	10	18
216	106		杉浦嘉造		知多郡半田町	M32・33	10	18
217	106	丸中 順勢丸			知多郡常滑	M32・33	7.5	14
218	106		杉浦才吉		三州碧海郡相見村	M32・33	25	11
219	107	林右衛門様船	林右衛門		知多郡大谷村	M32・33	12.5	21.5
220	108		鬼頭久九郎		勢州桑名	M32・33	10	18
221	108	喜興丸	孫七			M32・33	37.5	16
222	110		間瀬栄太郎		知多郡古場村	M32・33	40	15
223	112		大井弥三郎		知多郡大井?	M32・33	16.3	29.2
224	112		水野兼助		知多郡半田町	M32・33	11	18
225	112		粕谷萬助		三州碧海郡新川湊	M32・33	31	12.5
226	113		水野安太郎		知多郡日長村	M32・33	10	17
227	113		間瀬清太郎		知多郡半田町	M32・33	11	18
228	114		尾崎喜次郎		三州	M32・33	13	21
229	114		清水四郎吉		勢州一志郡六軒	M32・33	8	13.2
230	115		角四郎			M32・33	10	17
231	115		岡本伴右衛門		知多郡小野浦村	M32・33	25	10
232	115		梶田甚右衛門		知多郡上野間	M32・33	22.5	9.5
233	115		坂太平治		知多郡横須賀町	M32・33	9.5	16
234	117		鈴木岩太郎		豊橋下地町	M32・33	31	13
235	117		西山兼太郎			M32・33	30	13
236	117	共豊丸	筒井松造			M32・33	8.5	15

サイズ		帆 B サイズ				帆 C サイズ				帆 D サイズ				縮尺	備考
(3)	(4)	<1>	<2>	<3>	<4>	[1]	[2]	[3]	[4]	1	2	3	4		
31															
14.5	22.6														
15.5	24.5														
10.5	17.5														
13.5	22.5														
15.5															
20.5		32	13	27.5		14.5	27	19	34.5	14	28.5	21	35.5		
19	30														
23		13.3	24.3	16.3	30.8	13	24.8	18.8	31.3						注文伊六様 皆委宛ラップ付
34.4	57.4														
13	20.5														
17.5	25.5														
30															
25.75		14.3	24.8	18.3	30.8	13.3	25.5	20.5	32					1/50	
15.5	24.5														地名記載なし
15	23														
16.5	25.5														地名の記載なし88頁に同姓同名あり
15	23														
18		27.5	11	23		13.7	24.7	17.7	31	13.2	26.2	22.2	32.2	1/50	
18		11	18.5	15.5	23.8	12	21	19	27					1/50	
18		11	18.5	15.5	23.8	12	21	19	27					1/50	数字の記載法が97頁と異なるのみ
20.5		13	21	17.5	27.1	12	22	18.5	28.2					1/50	
13	21													1/40	
15.5	23.5													1/50	
12	18													1/35	
17.5															
19		12	22	16.5	27.5	12	23	16.5	29					1/50	
40															
34.7		20	38	29.5	47										
16	24.2														
17	28														
7.5	14														
23.1															地名記載なし
16															
11	17.5														
14	20														
15.5															
15	23.5	10	18	15	23.5									1/45	
15	23.5	10	18	15	23.5									1/45	
10.8	16.5													1/35	地名記載なし
20.7														1/40	
17	27	11.5	22.5	19	28									1/40	
14	23													1/40	
32.5														1/40	
32		41.5	19	35		21	33	35	45.5						シグ・ホーステイ
21.3	36.8														表テ帆
16.5	23														
28															
13	22	10.5	18	15	23.5										ホー・メン
15.5	23.5													1/50	地名記載なし
16.7	26	12	21	18	26										ホーセール・メンセール
12.5	17.7													1/50	
15	22.5														
19.8															地名記載なし
18.5															地名記載なし
13	20.8														
26		14.6	26	18.5	32.8	14.6	28	24.5	35.6						
23															
12	19														人名記載なし

帆 番号	ページ 番号	船 名	人 名	会 社 名	地 名	年 月 日	帆 A	
							(1)	(2)
237	118		岡本伊兵衛			M32・33	25	12.5
238	118		佐造			M32・33	10	17.5
239	118		森田亀太郎			M32・33	11	19.5
240	118	栄寿丸				M32・33	8.5	15
241	119	幡豆船		西浦商会		M32・33	38	15
242	119	角久 清栄丸				M32・33	24	11.8
243	119		岩松		三州渥美郡	M32・33	25	13
244	120		鈴木芳造			M32・33	13.9	26.8
245	120		加藤松太郎			M32・33	10	17.5
246	121		小塚八五郎		三州宮崎町	M32・33	37.5	17.5
247	122		山田作右衛門		海東郡蟹江町	M32・33	9.7	17.5
248	122		森田孫助		知多郡大谷村	M32・33	43	19
249	123		稲吉仙五郎		三州幡豆郡西浦村	M32・33	32.5	13
250	124		西山菊太郎			M32・33	30.4	14
251	124		長田久太郎		知多郡武豊町	M32・33	9.5	17
252	124	清吉丸	春吉		知多郡半田町	M32・33	11.5	19.6
253	124		中川長七		知多郡半田町	M32・33	10.7	17.5
254	125	若松漁船			知多郡若松	M32・33	10	18
255	125		石倉信次郎			M32・33	30	12
256	125		杉浦久吉			M32・33	29	11.5
257	125					M32・33	20	9
258	126	住吉丸	庄造		知多郡常滑町	M32・33	21	34.5
259	127		太田喜次右衛門		三州幡豆郡	M32・33	12.5	25
260	127		阪安右衛門			M32・33	20	10.5
261	127		国松			M32・33	20	10.5
262	127		石原文吉		知多郡半田町	M32・33	11.5	19
263	128		金作		知多郡坂井村	M32・33	27.5	10.5
264	129		中川与七		知多郡半田町	M32・33	11	19
265	129	富栄丸	庄助			M32・33	22.5	11.5
266	129		松本新太郎		知多郡成岩町	M32・33	8.5	15
267	130		安藤民次郎		岐阜市長良	M32・33	17.5	9.5
268	130	清吉丸	春吉		知多郡半田町	M32・33	12.5	22
269	130		藤井美吉			M32・33	5.5	10
270	131			愛知県水産試験場		M32・33	25	11
271	132		渡辺藤太郎		尾州海西郡両国村大字三稲新田	M32・33	27.5	12.5
272	133		林惣七		知多郡亀崎町	M32・33	27.5	13
273	133		阪太平治		知多郡横須賀町	M32・33	16	9.5
274	133		早川長三郎			M32・33	8.7	13.6
275	134	御手船喜興?丸	高瀬善太郎			M32・33	24	37
276	135		大葉伊吉		三州幡豆郡佐久之島村	M32・33	30	12.5
277	136		石川吉松		三州幡豆郡	M32・33	29	12.3
278	137		石原又吉		知多郡半田町	M32・33	12	20
279	137		稲垣金造		三州幡豆郡一色町	M32・33	15	26.5
280	137		板倉伊松		三州碧海郡新川町	M32・33	18	9
281	138		中川忠八		知多郡小野浦村	M32・33	—	—
282	139		間瀬宇之助		知多郡亀崎町	M32・33	13	22
283	139		杉浦鶴吉		知多郡乙川町	M32・33	9	16.8
284	139		石黒萬吉		知多郡須佐村	M32・33	9.5	16.5
285	140		小林源九郎		三州幡豆郡東幡豆村	M32・33	—	—
286	141		浅田岩吉		知多郡大高町	M32・33	31	13.5
287	142		杉山茂七		三州相羽吉田	M32・33	25	10.5
288	143		林惣七		知多郡亀崎町	M32・33	12.5	23
289	143		杉浦吉三郎		知多郡乙川町	M32・33	10.5	18.5
290	144	第三号八幡丸		高木回漕店	横浜市元浜町二	M32・33	35	15
291	145	八幡丸		高木回漕店	横浜市元浜町二	M32・33	14	18
292	145		青木市太郎		知多郡武豊町	M32・33	11	20
293	145			山泉	知多郡小鈴谷村	M32・33	9.5	16.6
294	146	神風丸				M32・33	34	15
295	146		阪田弥三郎		知多郡常滑町	M32・33	8	14

サイズ		帆 B サイズ				帆 C サイズ				帆 D サイズ				縮尺	備考
(3)	(4)	<1>	<2>	<3>	<4>	[1]	[2]	[3]	[4]	1	2	3	4		
19															
13.5	22.5														
16	25														
12	19														
27.5															
18.8															
20															
16.7	33.3														
13.5	22.5														
32		16.5	29	20	37.5										
15.3	22.5	10	18.5	15.7	20										1/45
36															1/50
27.5		16.8	27	21	36	16	27.5	22	35						1/50
23.9															1/50
13.5	22														1/45
16	25.1														1/45
15.2	23														
14.5	23														1/45
25.5															1/50
24.5															
16.8		10	18	12.5	23	10.5	19	15	24.5						人名なし。若松漁船と同寸
29.5	44.7														地名記載なし
20	31														1/45 四方アテラップ
14.5															1/50
14.5															
16	24.5														1/45
22		31	12.5	26.5		15	26.5	20.5	33	14	28	22.5	34.5		1/50
16	24.5														
16.5		7.5	14	11	18										
13	19.3														地名記載なし
13		9	15	13	19.5										1/35
18.5	28.2														1/45
7.5	14														1/45
19		13	20.5	15.5	26.5	15	24	18	30.5						此寸法ニ出来上り
22.5		12	21	16	26.3	12.5	22.5	21.5	28						出来上り
23		13	25	20	31										
20.2															町名記載なし
11.6	19.6														
26.1	48.5														
25.7		14.5	24	18.8	30	14	25	20.5	31.5						
24.8		13.7	22	17.6	28.5	13	23.6	21	30.1						
17	26														
19	32.8														
13.5															
-		-	-	-		13.5	24.5	16.5	31	14	26	21.5	33.5		A・Bはサイズの記入なし。
18.5	27.5	20.5	23	20	29										ホール・メン 記号あり
14	21.8														
13.5	21.5														
-		30	12	25.6		15	26	18.5	32.5	14	27.5	21.5	34.5		
26		14	26.5	19	33.2	14.5	28	23.5	35.5						
21		13	21	18	27.5	12.5	22	19	28.3						
15	28.6														
14	23	10	19	16	24.5										
29.5		19	26	21.5	34	17	-	25	36.5						手船図面
18	24.5	15.5	20	23	28.5										会社名、地名記載なし。矢帆
16	26														
14	21.6														
27.5															
10.5	19.5														

帆船番号	ページ番号	船名	人名	会社名	地名	年月日	帆 A	
							(1)	(2)
296	146		石川安吉		知多郡武豊町	M32・33	10.5	17.5
297	147		小川忠造		勢州一色	M32・33	26.5	10.5
298	147		榊原八三郎		知多郡武豊町	M32・33	10.8	18
299	148	杉江丸	杉江久(九)兵衛		三州幡豆郡幡豆村	M33/07/03	14.5	27
300	149		山本文三郎		三州碧海郡新川町	M33/	31.5	14
301	150		永田文吉		知多郡坂井村	M33/	30	12
302	151		青木忠六		知多郡武豊町	M33/	18	19
303	151		柳原八三郎		知多郡武豊町	M33/	23.5	10
304	151		石川安吉		知多郡武豊町	M33/	23.5	10
305	152		斎藤兼重		三州幡豆郡寺津村	M33/10/02	12.6	20.5
306	153		小久保利兵衛		勢州神島村	M33・34	25.5	10
307	154	栄福丸	森吉		三州幡豆郡	M33・34	18.9	32.5
308	155		角谷広吉		三州大浜町	M33・34	9	15
309	155		平松栄太郎		知多郡朝倉町	M33・34	22.5	10
310	156		近藤為吉		知多郡	M33・34	27	10.6
311	157		喜三兵衛		知多郡常滑町	M33・34	27	10.6
312	158		成田梅次郎		海東郡	M33・34	9.5	17
313	158			豊田屋		M33・34	17.5	7.5
314	159		渡邊国太郎		知多郡大井港	M33・34	12.5	22
315	159		直七		知多郡八幡村	M33・34	9.5	16.5
316	160		杉浦熊太郎		知多郡成岩町	M33・34	12	20
317	160		清水四郎吉		勢州一志郡六軒	M33・34	21.5	11
318	161		仲茂左衛門		海東郡小野山新田	M33・34	12	21
319	161		加藤政左衛門		加呂登	M33・34	10	18.6
320	161		三五郎		知多郡常滑町	M33・34	13.5	23.5
321	162		大岩甚三郎		知多郡内海町	M33・34	25.5	10.5
322	163		鯉江角之助		知多郡半田町	M33・34	25	10
323	164		夏目芳太郎		知多郡野間村	M33・34	13	24
324	164		稲垣金蔵		三州幡豆郡一色	M33・34	11	18.5
325	164		音吉(三浦)		知多郡常滑町?	M33・34	25	11
326	165		平阪清九郎		知多郡武豊町	M33・34	11	18.8
327	165		柏谷萬助		三州碧海郡新川湊	M33・34	31	12.5
328	166		竹内福次郎		知多郡乙川	M33・34	9	15
329	166	山卜船				M33・34	17	22.5
330	167		沖茂左衛門		海東郡小野山新田	M33・34	12	21
331	167		五右衛門			M33・34	25.5	13
332	167		小川忠蔵		勢州富田一色	M33・34	11.5	17.5
333	167		大井弥三郎			M33・34	17.8	13.6
334	168		吉田秀次郎		海東郡蟹江町	M33・34	9	17.2
335	168		早川光太郎		知多郡古見町	M33・34	12.6	21
336	168		加藤常右衛門		名古屋	M33・34	22.5	9
337	169		黒野弥助		三州相羽吉田	M33・34	26	10.5
338	170		川村与三松	米藤回漕店	勢州桑名片町	M33・34	25	10
339	172		竹内新三郎		勢州一志郡六軒	M33・34	32.5	14.5
340	172		金沢新太郎		知多郡成岩町	M33・34	12	18
341	173	丸中 伊勢丸			知多郡常滑町	M33・34	24.8	41
342	174		後藤柳五郎		海東郡蟹江町	M33・34	10	17.5
343	174		伊藤文三郎		知多郡大高町字高見	M33・34	22	9.8
344	175		森下久右衛門		知多郡熊野村	M33・34	11	17.8
345	175		出口庄太郎		知多郡半田町	M33・34	11.8	20
346	176		片山駒吉		志州志摩郡千賀	M33・34	25	10
347	177		間瀬新三郎		知多郡亀崎町	M33・34	13.8	25.8
348	178		浅野安太郎		知多郡内海町	M33・34	27	12.5
349	180		山下梅吉		知多郡須佐村	M33・34	28	15.5
350	180	丸中 順勢丸	長次郎		知多郡常滑町	M33・34	49	17.5
351	181		渡辺忠五郎		海西郡両国村三稲	M34/08/09	29	13
352	182		佐藤安次郎		勢州アマガスカ	M34・35	10	8.5
353	182	小栗参郎様手船	小栗参郎		知多郡半田町	M34・35	11.5	19
354	183		辰之助		愛知郡柴田村	M34・35	26	12

サイズ		帆 B サイズ				帆 C サイズ				帆 D サイズ				縮尺	備考
(3)	(4)	<1>	<2>	<3>	<4>	(1)	(2)	(3)	(4)	1	2	3	4		
14	22.5														
21.5		14	21	18.9	28										立切
14.5	23	10.5	19	16.5	24.5										
18	34	15	27.5	22.2	35										
27		16	26	18.5	34	15	27	23.5	35						
25.5?		14	25	17.5	31.5	13	26	20	32.5						
16.8	24.8														立切
19.5															立切
19.5															立切
17.3	26	12.6	21	17.85	27.8										外寸之立切、内寸之出来
21.5		13	21	16.5	27	12.5	22	18	28.5					1/50	
22	41.4	18.2	33.5	27.5	43.5										
12	20	9	15	12	20										立切
18.5		10	19	13.5	24	9.5	20	14.5	25						
23		13	21.2	16.5	27.2	12.5	22.5	18.5	29						書き方が変わる
23		13	21.5	17	27.5	12.5	22.5	18.5	29						
14.5	22.5	10.5	18	15	23.5										書き方もどる
14.6		8	17.2	10	22	8	18.5	11	23.2						
15	28.2	12	23	17.6	29.2										
13.5	21.8														
16.5	26	12	21	17.5	27										
16.5															姓、国名記載なし
16.8	27														地名記載なし
15.4	24.1														
18.5	30														
21.5		13	20.5	16	26.5	13	21.5	19	27.5						
21.3		12.8	21	17.5	27	12.5	22	18.5	28						
17	30														
15	23.5														
19.5															姓、地名記載なし
15.3	24	11	—	17	25.3										
27															
13	20	9	16.8	14	21.8										
20		17	25.5	19											ホール・メン。異形
16.8	27														
19.5															
15.6	23.3														
13.6															異形
14	21.9														
16.6	27														
18.5		10.5	18.5	14.5	23.5	10	19.5	15	24.5						
22.5		13	21	16	27.5	12.5	22	18	28.3					1/50	
21.2		13.1	20.5	16.8	26.2	12.6	21.5	18.9	27.8						
28		15.5	26.5	18	34.3	15	27.5	23.5	35.5						地名記載なし
15.5	24	12	20	16.5	26.5										
34.7	51.5														地名記載なし
16	22.5														
18		10.5	19	14	24	11	20	15.5	25.8						
14.5	22.8	10	19	15.5	24.5										地名記載なし
16	25.5	11.8	21	16.5	26.5										
20		30	12.5	26		12.5	22.5	16	28.5	13.5	24.5	21	32		
19.8	32.3	13.5	25.8	20	32.3										
23		13.5	21.5	17	27.5	13	22.5	19.5	29						
22.5		32.5	12.5	28.5		16	27.5	18.8	35	16	28	22.5	37.5		
35.5															地名記載なし
24.5		12.5	23	17	29.5	13	24	22	31						
15		15	18	14	23	10	19	15.5	24.5						
16	24.5	11	20	17	25.5										
22		13	23.5	20	30.5										

帆 番号	ページ 番号	船 名	人 名	会 社 名	地 名	年 月 日	帆 A	
							(1)	(2)
355	183	杉浦宇作船	杉浦宇作		三州渥美郡	M34・35	15	27
356	184		高橋和二郎		三州渥美郡	M34・35	29	11.5
357	186		森喜六		勢州四日市南大井川	M34・35	28	10.5
358	186		小林仙吉		三州幡豆郡松木島	M34・35	13	21
359	187	源助船	源助		知多郡大谷村	M34・35	27.8	11.3
360	188		岩間米治郎			M34・35	22.5	10
361	188		高山藤太郎		知多郡半田町	M34・35	16	30
362	189		杉江弥太郎		愛知郡(本郡)柴田村	M34・35	11	19
363	190		永田藤助		三州大浜町	M34・35	31	13.5
364	191		井上半兵衛		知多郡多屋村	M34・35	30	12
365	192	宝光丸	伊之吉		知多郡亀崎町	M34・35	31	14
366	193		谷川重太郎		知多郡常滑町中戸	M34・35	27	10.5
367	194		岩田豊三郎		知多郡刈屋村	M34・35	12	22.5
368	194		柳原房次郎		知多郡成岩町	M34・35	10.5	18
369	194		春吉		知多郡半田町	M34・35	11	18
370	195		伊藤庄兵衛		勢州桑名	M34・35	7.5	12
371	195		森下久右衛門		知多郡熊野村	M34・35	22	9
372	195	九十 住吉丸	庄造		知多郡常滑町	M34・35	48	19.5
373	196	旭丸	常五郎		知多郡大谷村	M34・35	33.7	15.5
374	196		成田梅治郎		海東郡蟹江町	M34・35	11	19
375	197	九十 住吉丸	庄造		知多郡常滑町	M34・35	24.5	43
376	198		三浦音吉		知多郡常滑町	M34・35	25.5	10.5
377	200		伊藤清造		勢州桑名	M34・35	36	16
378	201		川合常治郎		知多郡内海町	M34・35	25.5	13
379	201		小栗重太郎		知多郡半田町	M34・35	24	11
380	202		石川種吉		勢州雲津	M34・35	12.5	25
381	202		間瀬勇作		知多郡亀崎町	M34・35	13.3	21
382	202		岩瀬忠造			M34・35	13	22
383	203		柴春彦助		志摩濱島港	M34・35	33.5	14.5
384	203		杉浦熊太郎		知多郡成岩町	M34・35	—	—
385	204		岩瀬忠造			M34・35	20.5	23
386	204		小林仙吉			M34・35	12.5	23
387	204		直七		知多郡八幡村	M34・35	7.5	13
388	204		彦重			M34・35	17	12.5
389	204					M34・35	25	12.5
390	206	徳吉丸	弥左衛門		志州志摩郡千賀村	M34・35	35.5	15
391	206		水野千代太郎			M34・35	11.5	19
392	207		内田梅吉		知多郡内海町	M34・35	25.5	10.5
393	208		原田七松		三州刈谷町字緒川	M34・35	27	11
394	209		間瀬栄次郎		知多郡古場村	M34・35	40.5	14.5
395	209		杉浦久吉			M34・35	31.5	13.3
396	209		鈴木七松			M34・35	25	12.5
397	209		岩間末?次郎			M34・35	11.5	20
398	210	勢生丸	岩次郎			M34・35	11	20
399	210		時次郎		知多郡武豊町	M34・35	13	22
400	210		勝崎鯉之助		知多郡日長村	M34・35	11	18
401	211		富田嘉六		三州渥美郡	M34・35	33	14
402	212	秀吉丸	秀次郎		海東郡蟹江町	M34・35	26	11
403	213			大栄社	知多郡武豊町	M34・35	13	20
404	213		山本時次郎		三州渥美郡	M34・35	14	27.5
405	214		深見甚七		三州松木島村	M34・35	13.8	23
406	215		楠次郎		知多郡半田町	M34・35	13	21
407	216	勢生丸	岩次郎			M34・35	24	9.5
408	216		松本岩太郎		知多郡常滑町	M34・35	27	11
409	216		竹内庄太郎		知多郡乙川	M34・35	10	16.8
410	216		竹内安次郎		知多郡乙川	M34・35	9	1丈5尺
411	217		小島音次郎		知多郡日長村	M34・35	24	10
412	218		角谷由造		三州碧海郡新川	M34・35	12	19
413	218		金作		知多郡古場村	M34・35	11.5	18.5

サイズ		帆 B サイズ				帆 C サイズ				帆 D サイズ				縮尺	備考
(3)	(4)	<1>	<2>	<3>	<4>	[1]	[2]	[3]	[4]	1	2	3	4		
19	34														
24.5		13.5	24	16.5	30.5	13.5	25	20	31.8						
23		32	14	27.5		16	26	21	33	16	28	25	36		
18.5	27														
23.1		13.2	22.8	17.3	29	12.6	23.8	19	30						
18.5		11.5	18	16	23.8									1/45	
25	38														
15	24.5	11	19.5	16.5	25.8										
27		15.5	26.5	19.5	33.8	15	27.3	21	35.3						
26		14.5	23	18	29.5	14	25	21	32						B、C帆の上書き込みあり
27		15.5	26.5	17.8	33.5	15	27.5	23.5	36						
23		13	21.5	17	27.5	13	23	19	30						
16	29														
13	23														
16	23.5														
9	16	9	15	12.5	20										
18														1/40	地名記載なし
42.5															地名記載なし
28.7		17	28	22	36.5										
15	24.5														
36	56														
21.5		12.5	20.5	15.5	26.5	12	21.5	17.5	27.5						
30.5		17.5	28.5	18.8	36.5	18	30	28	40.5						
19		7	13	11	17.3										
20															
17	31.5														
20	28														
16	28														
28		16	27	24.5	37										
—															
19	29.5														
19	29.5														
10	17.5														
10	17														
19															客之? 写し印
30		17.5	28	18.5	36	17.5	29	25	39						
15.5	24.8	12	20	17	26										
21.5		13	20.5	16	26.5	12	21.5	18	28						
23		13	22	17.5	28	12.5	23	19	29.5						知多郡? 姓記載なし
32.5															
27															
19															
17	26.3														名は未次郎か?
16	26														
17.5	28														
14	23.5	11	19	15.5	25										
28.5		16.5	26.5	18.5	34.5	16	27.5	23.5	36.5						
22		13	21	17.5	27.3	13	22	19	29						
16	26.5	13	21	19	28.5										
21.5	35														友、写しの印
18.5	29.8	13	24	20	31.5										写しの印
17	27.5	12.5	22.5	18	29										写しの印
20															写しの印
22.8															写しの印
15	22.3														写しの印
13	20														写しの印
20		10.5	19	13	—	10.5	20	16	26						写しの印
16	25	12.5	21	17.5	28										写しの印
14	24.5														写しの印

帆船番号	ページ番号	船名	人名	会社名	地名	年月日	帆 A	
							(1)	(2)
414	219		金沢新太郎		知多郡成岩町	M34・35	27	11.5
415	219		古川文次郎		知多郡苅屋村	M34・35	10	17.5
416	219		鈴木嘉重			M34・35	14	24
417	220		西本定次郎		知多郡大野町	M34・35	25	10
418	221		荒川安次郎		三州幡豆郡西崎村	M34・35	30	12
419	222		内田茂助		知多郡内海町	M34・35	27.5	11
420	223		城山金之助		志州志摩郡長岡村大字千賀	M34・35	35	12
421	224		大泊亀吉		知多郡大泊	M35/03	11	18.5
422	224		山本彦八		知多郡須佐村	M35	13	23
423	225		折戸長助		知多郡篠島	M35	30	12
424	226		橋本小六		知多郡大井	M35	13.5	25.5
425	226		本田未吉		知多郡成岩町字北荒	M35	9	15
426	226		森本助右衛門			M35	17.5	14.5
427	227		阪井増吉		知多郡朝倉村	M35	22.5	10
428	227		金兵衛	日東	知多郡朝倉村	M35	22.5	10
429	228		青木市太郎		知多郡武豊町	M35	11.5	20
430	228		加藤照吉		三州碧海郡高浜	M35	13	19.5
431	228		服部周吉		海東郡蟹江町船入	M35	10.7	18.9
432	229		井上勘次郎		知多郡多屋村	M35/04	27.5	11
433	230		間瀬勇作			M35・36	12.5	20
434	230		鯉江小太郎			M35・36	12	19.5
435	231		天木長助			M35・36	24	10
436	232		榊原又兵衛		知多郡常滑町北条	M35・36	25	9
437	233		山本亀吉		三州碧海郡高浜	M35・36	36	17.5
438	233		神谷初太郎		三州碧海郡相見村	M35・36	9	15
439	233		小山冷太郎		知多郡大野町	M35・36	22	9
440	234		青山由太郎		三州碧海郡高浜	M35・36	9	15
441	234			桑名回送合資会社	勢州桑名	M35・36	10.5	16.5
442	235		酒井喜代七		愛知郡鳴海村	M35・36	28.5	12.5
443	236		家田藤九郎		知多郡豊浜村	M35・36	25.5	11
444	237		杉浦久吉		三州渥美郡清田村	M35・36	14.5	26.5
445	237		伊藤勝造		三州渥美郡	M35・36	13.5	26
446	238		大岩甚三郎		知多郡内海町	M35・36	27	11.5
447	239		梅倉伊松		三州碧海郡大浜	M35・36	12.5	21
448	240		小林弥右衛門		三州幡豆郡衣崎村松木嶋	M35・36	13.5	22
449	240		小林金四郎		三州幡豆郡衣崎村松木嶋	M35・36	11.5	19
450	241		小林金四郎		三州幡豆郡衣崎村松木嶋	M35・36	12.5	20
451	241		小栗和三郎		知多郡半田湊	M35・36	11.5	19
452	243		角谷平造		三州碧海郡新川町	M35・36	34	13
453	243		神谷初太郎		三州碧海郡相見村	M35・36	9.5	16
454	244		角豊松		知多郡内海町	M35・36	15.5	26
455	245		山下梅吉		知多郡中須村	M35・36	13	23
456	245		山本傳造		勢州富田	M35・36	8	14
457	245		水野兼助		知多郡半田町	M35・36	12.3	21.5
458	256		永田金兵衛		知多郡大谷村	M35・36	8.5	16.5
459	256		山本忠作		三州宝飯郡三谷村	M35・36	37.5	16
460	256		小林弥右衛門		三州幡豆郡衣崎村	M35・36	15.5	26
461	258		蟹江伊之助		知多郡荒尾村	M35・36	30	11
462	258		鈴木藤重		三州幡豆郡衣崎村字千間	M35・36	12	22.5
463	259		岩田甚作		知多郡苅屋	M35・36	9	15
464	259		青木幸治郎		知多郡日長村	M35・36	8.5	15.5
465	259		国太郎		知多郡大井湊	M35・36	12.5	25
466	260		平松品吉		三州碧海郡新川	M35・36	25	1丈
467	261	益吉丸	弥兵衛		知多郡大高	M35・36	31.5	13.5
468	262		吉川房治郎		知多郡半田町	M35・36	12.6	21
469	262				三州渥美郡清田村	M35・36	13	25.5
470	263		林曾市		知多郡亀崎町	M35・36	12.5	23
471	264		沢田忠右衛門		知多郡樽水村	M35・36	12.5	22
472	266		新居菊三郎		知多郡樽水村	M35・36	27.5	11

サイズ		帆 B サイズ				帆 C サイズ				帆 D サイズ				縮尺	備考
(3)	(4)	<1>	<2>	<3>	<4>	[1]	[2]	[3]	[4]	1	2	3	4		
23															写しの印、地名記載なし
13.5	23														写しの印
19	31.4														写しの印
20		30	12	26		14	24.5	18	—	14	25	23	32.5		写しの印
26		14.8	25.5	19	32.6	14.5	26.5	20.5	34.4						荒川安武郎
23.5		13.5	22.5	18	29.5	13.5	23.5	20	31						
29		37.5	17.5	31.5		18.5	30	30	41.5						
15	24	12	19.5	16	26										大泊は地名か?
17.5	29.8														写しの印
26		14	25	17.5	31.5	13	25.5	20	32.5						写しの印
20	32.5														写しの印
13	19.5														写しの印
14.5															異形
18.5		9.5	19	13.5	24	9.5	20	15	25						写しの印
18.5		9.5	19	13.5	24	9.5	20	15	25						写しの印
16.5	26.5														写しの印
16.5	26														写しの印
24.5															写しの印
23.5		13	21.5	16	27.5	13.5	22.5	19.5	30						写しの印
17	26.5														写しの印・ホーセール
15.6	25.8	12	20.5	17	27.2										写しの印
20															写しの印
20		29	12	25		14.5	24	18	31	14	25	20	32.5		
30		17	27	25.5	39										
12	20														
18															
13	23	10	17	15	22.8										
14	22	11	18	16	24										地名記載なし
24.5		13.5	24	18.5	31	13.5	25	20	30.5						
21.5		12.8	20.5	16	26.5	12.2	21.5	18	28.3						
18.5	33.5														
20	33.5														
22.5		13	21.5	16.5	27.8	13	22.5	19.5	30						
16.3	27.3	12.5	22	18	29.3										梅倉?
18.5	26														
15	24.5														地名は、右同所と記載
17.5	26														
16	24.5														
27		37	15	30.5		17.3	28.8	21	37.8	17.5	30	26	40		
14	21.5														地名記載なし
20	33	16.5	27	26	37										
19	30.5														
12	19														
18.3	28.8														
12	22														
33															
24	35														
34		34.5	15.5	29		17	27.8	21.5	35.8	16.5	29.2	25	39		
16	29														
12	20														
12.5	20.5														
15	31														
20.5		12.5	21	16	27.5	12.5	22	17.5	29						
26.5		14.5	24.5	18	31	14.3	25.5	21	33.5						
18.8	28.3														
16.5	32														
16.5	29	12.5	24	18.5	31										
16.5	28.5	12.5	22	17	29										
23.5		13.5	22	16.5	28	13.5	22.5	19.5	30						

帆船番号	ページ番号	船名	人名	会社名	地名	年月日	帆 A	
							(1)	(2)
473	267	式号	間瀬栄太郎		知多郡古場村	M35・36	21	33
474	268		石川兵作		三州碧海郡新川町	M35・36	13.8	23
475	269		浅井重太郎		知多郡八幡村	M35・36	22.5	10
476	270		水谷徳松		勢州桑名	M35・36	26	10.5
477	270		稲生利助		知多郡富貴村	M35・36	9.5	16
478	270		阿部惣十郎		海西郡十四山村字カメ岸寺	M35・36	22	9
479	271		榎山角太郎		三州碧海郡新川町	M35・36	27.5	11
480	272		杉浦岩松		三州渥美郡	M35・36	14.5	25
481	272		平野文太郎		知多郡半田町	M35・36	12.5	21
482	273		山本竹治郎		知多郡新知村	M35・36	24.5	10.2
483	273		角谷由造		三州碧海郡新川	M35・36	11	19
484	274		高橋忠造		海西郡十四山村字白部	M35・36	11	19
485	275		石川喜之助		三州碧海郡大浜	M35・36	9	17
486	275		大塚庄六		三州平坂	M35・36	11	18
487	276		浅次郎		三州碧海郡吉浜村	M35・36	9?	15.8
488	276		平松品吉		三州碧海郡新川町	M35・36	9	15
489	276	美濃船				M35・36	7	10
490	277		村田長太郎		知多郡常滑町北条	M35・36	20.7	30
491	278		松本新太郎		知多郡成岩町	M35・36	35	22
492	279		杉浦岩松		三州渥美郡	M35・36	14	26
493	279		岡田平右衛門		三州幡豆郡吉田村字高瓦	M35・36	24	10
494	280		早川清九郎		勢州富田	M35・36	25	10
495	281		杉浦才吉		三州渥美郡清田村字折立	M35・36	30	12
496	282	角一 宝栄丸			知多郡常滑町	M35・36	59	21
497	282	壱号	出口庄太郎		知多郡半田町	M35・36	13.5	19
498	283		細川捨松		知多郡日長村	M35・36	22	9
499	283		三井金六		知多郡武豊町	M35・36	11.5	20
500	283		出口庄太郎		知多郡半田町	M35・36	12	18.5
501	284		河合常治郎		知多郡内海町	M35・36	35	15
502	284		柴田竹松		三州幡豆郡一色町	M35・36	13	22
503	286		谷川重太郎		知多郡常滑町中戸	M35・36	30	11
504	286		犬塚庄六			M35・36	22	9
505	286		中川六郎左衛門		三州幡豆郡衣崎村松木嶋	M35・36	8.2	16.5
506	286		悦治郎		知多郡八幡村	M35・36	9	16
507	287		谷川重太郎		知多郡常滑町中戸	M35・36	17.5	28
508	288		永井勇太郎		知多郡緒川村	M35・36	11	20
509	288		伊東柳五郎		海西郡両国村	M35・36	11.5	19
510	289			桑名回漕合資会社	勢州桑名	M35・36	24	11.5
511	290		出口庄太郎		知多郡半田町	M35・36	13.5	20
512	290		山口利助		知多郡朝倉村	M35・36	22.5	10
513	291		内田利吉		知多郡内海町	M35・36	33	12.5
514	291		生田清治郎		三州碧海郡棚尾村	M35・36	10.5	17
515	291		春吉		知多郡半田町	M35・36	12.5	21
516	293		井上三右衛門		知多郡大野町	M35・36	10.5	19
517	293		平松品吉		三州碧海郡新川町	M35・36	9.5	14.5
518	293		八三郎		知多郡樽水村	M35・36	14	25
519	294		加藤兼吉			M35・36	12	19
520	294		永井勇太郎		知多郡緒川村	M35・36	12	20
521	295		杉浦岩松		三州渥美郡	M35・36	27.5	9.6
522	295		花内若太郎			M35・36	8	11
523	295		生田清治郎		三州碧海郡棚尾村	M35・36	11	18
524	295		青木三作		三州渥美郡福江町	M35・36	14.5	26
525	296		出口庄太郎		知多郡半田町	M35・36	23	10
526	296		角谷広吉		三州碧海郡新川	M35・36	26	10
527	296		杉浦嘉造		知多郡半田町	M35・36	12	20.5
528	297		内田梅吉		三州宝飯郡蒲郡字府相	M35・36	21.5	34
529	297		平松品吉		三州碧海郡新川町	M35・36	14.5	25
530	298		孫三郎		知多郡朝倉	M35・36	9	13
531	298		沢田孫八		知多郡成岩町	M35・36	12	20

サイズ		帆 B サイズ				帆 C サイズ				帆 D サイズ				縮尺	備考
(3)	(4)	<1>	<2>	<3>	<4>	(1)	(2)	(3)	(4)	1	2	3	4		
35	45.5														
18	29.5	13.3	24	19	31.5										
18.5		9.5	19	13.5	24	9.5	20	15	25.5						
22.5		13	21	16	27.8	12.5	22	18	30						
14.5	21.5														
18		9.5	17	14.5	22.5	9.5	18.5	15	24						
23		13.8	23	18	29.5	13.3	24	19	31						
19.5	31.5														
16	27.5	13	21.5	19	28.7										
20		10	19.5	15.5	25	11	21	16	27.5						
15.5	25	11	18	15	24										
15.5	20.5	11	20	18.5	27										
11.5	22	9	17.5	12.5	23										
15	24	11	19	16	25.5										
12.5?	21	9.5?	16.8	14.5	22.8										二段・二段
12	20														地名記載なし
8.5	14														
23	38.8	21.5	34.5	30	47.5									1/60	地名は北条村と記載
30		12	26	16	20										異形
21.5	34														
19.5		12	19	15.5	25	12	20	17	27						
20.5		11	22	18	29.5										
25.5		14.5	24.5	18	31	13.5	25.5	20.5	33						
46															
18	25.5	13.5	20	—	27.8										地名記載なし
18		11	18	14	23.5	11	19	15.5	25						
17	26.5														式段リフ
16.5	24.5														
30		18	28	21.5	37.5	18.5	29	28	40						
18	28.5	12.8	23	19	30										
23.5		34.5	15	29											
18															
13.5	17.5														
13	20.5														
21.5	36	16	30	25	39.8										
16	26	11	20	16	26.5										
17	25	12	20	18.5	27										
19.5		12	19	16	24.8	12	22	20	29.5						桑名の地名記載なし
18.5	26.5	13	20	19	27.5										
18.5		9.5	18.5	13.5	23.5	9.5	20	15	25.5						
27		35	15	30		18	29.5	21	38.5	19	30.5	28.5	42.3		
14.5	22.5														
17.5	27.8														
16	24.8														
11.5	18.5														
19.3	32.5														
16	25	12.5	20	17.5	26.5										
18	26.5	12.5	21	18.5	28.5										
22.5															
9	15														
16	23.2														
18	33														
19		12.5	18	17.5	24.5	12	19	18	26						
22		13.5	22	18	28.3	13	23	19	30.3						地名記載なし
18	25														
25.5	42.5														
17.5	31														
10.5															
15	25														

帆 番号	ページ 番号	船 名	人 名	会 社 名	地 名	年 月 日	帆 A	
							(1)	(2)
532	298		奥田音吉		知多郡豊浜村	M35・36	13.5	24
533	299		加藤辰治郎		勢州桑名郡長島村字大嶋	M35・36	26	11.5
534	300		稲吉仙五郎		三州幡豆郡西浦村	M35・36	17.2	16.2
535	300		市川安太郎			M36/05/20	15	26
536	301		杉浦仙松		知多郡半田町	M36	31	13
537	302		黒柳與平		三州碧海郡新川町	M36/06/05	27.5	11
538	303		杉山七三郎		三州幡豆郡吉田村	M36/06/05	14	22.5
539	304		吉川春之助		知多郡日長村	M36	27.5	11
540	304		河合常治郎		知多郡内海町	M36	30	11
541	306		角谷安太郎		三州碧海郡大浜町	M36/06/19	31	11.5
542	307		鈴木六太郎		三州田原町	M36/06/21	29.5	14.5
543	307		杉本七之助		知多郡小鈴谷村	M36	—	12.5
544	308		加藤作太郎		三州幡豆郡吉田村	M36	11.5	20
545	308		安田栄吉		勢州桑名	M36	9	15.5
546	309		平松彦兵衛		知多郡八幡村	M36	9	16.5
547	311		岡本伴右衛門		知多郡小野浦村	M36	33	12.5
548	311		石原文吉		知多郡半田町	M36	28	10
549	312		庄七		前田一色	M36/07/08	32.5	13
550	312		天木長助			M36	12.5	20
551	312	旭丸	常五郎		知多郡大谷村	M36	34.5	13.5
552	312	豊倉屋手船		豊倉屋	知多郡成岩町	M36	26	13
553	313		山下清太郎		知多郡大井村	M36	27	11
554	314			桶金廻漕点	勢州桑名片町	M36	11.5	19
555	314		森友吉		愛知郡鳴尾村字伝馬	M36	11.5	19.5
556	315		杉山七三郎		三州相羽吉田村	M36	12.5	23.5
557	315		城重太郎		海東郡?村?町	M36/07/30	12	19
558	316		出口庄太郎		知多郡半田町	M36/08/05	25	11
559	317		中村五三郎		知多郡中須村	M36	12	20
560	317		田中作太郎		知多郡富貴村	M36	12	18
561	318		家田国太郎		知多郡大井村	M36/08/28	29	10.3
562	319		竹内紋之助		知多郡緒川村	M36	9.5	15.8
563	319		古川権兵衛		知多郡刈屋村	M36	15	28.5
564	320		鈴木伊助		知多郡小鈴谷村	M36	30	12
565	321		家田傳治郎			M36	13.5	24.5
566	322		田中吉平		三州渥美郡田原町	M36	32.5	14
567	323		間瀬新三郎		知多郡亀崎町	M36	14	24
568	324		山下藤造		知多郡豊浜村	M36	14	23
569	324		服部作市		勢州桑名郡木曾崎村字福崎新田	M36	22.5	9.5
570	325		平松品吉		三州碧海郡新川町	M36	13.3	24.5
571	325		竹内庄吉		知多郡大谷村	M36	37.5	14
572	325		吉之助		志州賀田与?村	M36	30	15
573	326		尾崎幸作		三州宝飯郡西浦村	M36	29	9.5
574	327		長田藤助		三州碧海郡大浜湊	M36	30.5	13
575	328		七兵衛		知多郡大谷村	M36/10/13	10.5	18
576	328		杉浦善造		知多郡亀崎町	M36/10/19	14	24
577	329		樺山高治郎		三州碧海郡新川町	M36/10/23	16	26
578	329		稲吉仙五郎		三州宝飯郡西浦村	M36	11.5	17.5
579	329		尾崎幸作		三州宝飯郡西浦村	M36	10	17
580	330		出口庄太郎		知多郡半田町	M36	25	11
581	331		花井松造		海西郡阿国村末広新田	M36	29	13
582	332		渡辺時次		三州渥美郡	M36/11/08	15	26
583	332		佐藤孫吉		海西郡佐屋村	M36	23.5	8.5
584	333		久田彦市		知多郡西阿野村	M36	25.3	11
585	334		加藤照吉		三州碧海郡半高村	M36/11/02	26.5	11.5
586	336		山本忠作		三州宝飯郡三谷町	M36/11/05	41.5	18
587	336		山本栄太郎		知多郡八幡村	M36	7.5	13
588	336		内山菊次郎		知多郡八幡村	M36	8.5	15
589	336		竹内岩治郎		知多郡亀崎町	M36	32.5	13.5
590	337		李兵衛		愛知郡鳴尾村	M36	21.5	9

サイズ		帆 B サイズ				帆 C サイズ				帆 D サイズ				縮尺	備考
(3)	(4)	<1>	<2>	<3>	<4>	[1]	[2]	[3]	[4]	1	2	3	4		
17.5	30.5														
21		12	20	16	25.8	13	21	20	28.5						
14.5		16.5	27.5	23.5	35.5										異形含む
19.5	33														5/20とあり
26		15	25	19.5	32	15	26	24	34.5						
23		13.5	23	17	29.5	13.3	24	18	31.5						6/5とあり
18	29														6/5とあり
22		31	13	26		15.5	25	19	32	16	26	24	35.5		
23															
26.8		15.5	26	19.5	33.5	15	27	21.5	35						6/19とあり
25.6		17.4	26.6	23	36										6/21とあり
-	-														
17	26														
12	20.5														
12.5	21.3	9	17.5	13.5	22.3										
27		35	15	30		18	28	21.5	36	18	29	27.5	40		
23.5		12.5	21	18.5	27.5										
26.5															
17.5	27														
28															
19															
22		12.5	20	16.2	26	12.9	21	16.2	26						
15	24.5	12	20.5	16.5	26.5										
14.5	24.5	11	20	16	26										
20	31														
16	24	12	20	17.5	26										
20.5		13.5	19.5	19	26	13.5	20.5	20.5	28						
12	25.8	12	21	17.5	27.8										
15	23.5	12	19	17.5	25.5										
25		13.5	24	17.5	30.5	12.5	23	17.5	32						
13.5	21	9	16.8	14.5	22.8										
21.8	36.5														
25		14.5	25	18	32	14	25	20.5	32.5						
17	31.5	13.5	25.5	20	33										
27.5		15.5	26	18.5	33	15.5	27	22	35.5						
17	31	13.5	25	19	32.5										裏綴じ
17	29														裏綴じ
18.5		11.5	18	15.5	24	11.5	19	17	25.5						裏綴じ
18.5	31.5														裏綴じ
31															裏綴じ
25															裏綴じ
25		14.5	24	17.5	30	13	25.5	18.5	32.5						裏綴じ
26		15	25.5	19	32.5	14.5	26.5	21	34.5						裏綴じ
15.5	24														裏綴じ
19	31														裏綴じ
18.5	33														
15	22.5														
13.5	21														
20.5		13.5	19.5	18	26	13.5	20.5	20	28						
24.5		12.5	23	17.5	29.5	13	24	21.5	31						
18.3	32.5														
19.5		12	18.5	16	24	12	19.5	17	26						
21		13	20	16	26	13	22	18.5	29						
22		14	22	19	29	13.5	23	20	30.5						
35		19	35.5	29	46.5										
10	16.8	9	15	12	19										
11	19.5														
25															
17		9	16.5	12	21.2	9	17	13.5	22.6						

帆船 番号	ページ 番号	船名	人名	会社名	地名	年月日	帆 A	
							(1)	(2)
591	337		柴田菊松		知多郡内海町	M36	23.3	10
592	339		忠兵衛		知多郡内海町	M36/11/15	32	12
593	339		大西吉之助		志州長岡村大字賀田平	M36	19	27
594	340		森田吉之助		知多郡半田町	M36	12.5	19
595	340		直八		知多郡亀崎町	M36	37	13.5
596	341		角谷由造		三州碧海郡新川	M36	11.5	20
597	341		角谷由造		三州碧海郡新川	M36	23	9.5
598	342	丸七 神勢丸			知多郡常滑湊	M36	34.8	13.2
599	342		平松治郎右衛門		知多郡朝倉村	M36	7.5	13
600	342		平松悦太郎		知多郡八幡村	M36	7.5	12.5
601	343		水谷甚造		勢州桑名	M36	16.5	26
602	344		水谷甚造		勢州桑名	M36	33	15
603	344		菊治郎		知多郡大野町	M36	22.5	10
604	345		出口庄太郎		知多郡半田町	M36/12/02	25	11
605	346		出口庄太郎		知多郡半田町	M36/12/28	25	11
606	347		中野種吉		知多郡古場村	M37/01/03	11	18.5
607	347		田中愛治郎		知多郡豊浜村	M37	11	18.5
608	347		竹中仁三郎		知多郡大府村	M37/01/13	—	—
609	348		酒井芳兵衛		知多郡緒川村	M37	11	17
610	348			伊東醤油店		M37	13	21
611	348		庄太郎		知多郡亀崎町	M37	12.5	20
612	349			米橋商店		M37/01/25	22.5	10
613	349		山本菊太郎		知多郡朝倉村	M37	25	10
614	350		牧原吉三郎		三州宝飯郡西浦村	M37	27.5	12
615	350		平松品吉		三州碧海郡新川	M37	—	—
616	351		加藤実太郎		知多郡布土村	M37	20.3	9
617	351		井上勝三郎		知多郡多屋村	M37	18	8
618	351		渡辺権吉			M37	26.5	11
619	352		中野種治郎		知多郡古場村	M37	20	7
620	352		長治郎		知多郡大谷村	M37	20	9
621	352		中戸権三			M37	12.5	22
622	352		鈴木音吉		三州宝飯郡蒲郡町字村相	M37	16.5	27
623	353		猶右衛門		知多郡大谷村	M37	12.9	19.5
624	353				知多郡八幡村	M37	24	—
625	354		幸三郎		知多郡大野町	M37	24.5	10
626	354		伊藤彦八		海西郡十四山村押菰	M37	23	10
627	354		浅田半治郎		知多郡大高村	M37	13	21
628	355		柳原房治郎		知多郡成岩町	M37	26	11
629	355		竹内佐治右衛門			M37	12.3	20
630	356		松下半治郎		知多郡半田町濱ヶ	M37	27.5	11
631	357		庄作		三州碧海郡新川町	M37	12	20
632	357		加藤丈造		知多郡朝倉村	M37	22.5	10
633	358		山本勝三郎		三州碧海郡新川町	M37	37.5	—
634	359		平野松治郎		知多郡布土村	M37	24	10
635	360		浅野勝治郎		知多郡内海町	M37	27.5	10
636	361		野口山藤吉			M37	9	15
637	361		伊藤徳右衛門		中嶋郡六輪村	M37	13.5	21
638	362		鈴木惣助		三州幡豆郡西崎村	M37	27.5	11
639	363		近藤甚造		勢州桑名郡赤須賀村	M37	8	14
640	363		鈴木常五郎		知多郡成岩町	M37	11.5	18
641	363		森田孫助		知多郡大谷村	M37	37	15
642	363		平松品吉		三州碧海郡新川町	M37	9.3	13.3
643	364		渡邊権四郎		勢州富田	M37	7	11
644	364		中村倉吉		知多郡半田町	M37	11.6	17.9
645	364	山七 大栄丸	竹治郎			M37	46.5	18.5
646	365		村田長太郎		知多郡常滑町	M37/09/12	21	33
647	366		村田長太郎		知多郡常滑町	M37	35	13
648	367		尾の内権七		知多郡八幡村尾根	M37	8	12
649	367		野々山竹松		三州碧海郡吉浜	M37	9	15

サイズ		帆 B サイズ				帆 C サイズ				帆 D サイズ				縮尺	備考
(3)	(4)	<1>	<2>	<3>	<4>	(1)	(2)	(3)	(4)	1	2	3	4		
19		11	18	14.5	23.5	11	19	15.5	25						
26		33.5	16	28.5		17.5	27	20.5	33.5	17.5	28	25	36.2		
29	38														
17.5	25	12.5	20	18	27										
31															
16.5	27	11.5	20	16.5	27										
18.5		25	10.5	20.5		11	19	15.5	25						
27.8		37.8	16.3	31.8											
10	17	10	16	12.8	21										
10	17														
19.5	33	17	28	26	37										
27.5															
18.5		9.5	19	13.5	24	9.5	12	15	25.5						
20.5		13.5	19.5	19	26	13.5	20.5	20	28					地名記載なし	
20.5		13.5	19.5	19	26	13.5	20.5	20	28					地名記載なし	
15	24	12	19.5	16	26										
15	23.5														
—	—														
16	23	11	18	16	25										
17.8	28														
17	26.5														
18.5		10	19.5	14	24.5	9.5	20	15	25.5						
22		7.5	12.5	10	17										
23		12.5	21.5	15.8	27.5										
—		11	20	14	25.2	11	20	15	25.8						
16.8		10.5	15.8	14.3	20.8	12	17.85	16.6	24						
15.5															
22.5		12.5	21.5	16	27.5										
17															
16.5															
17	29														
25	36.5														
16.75	26	13.8	20	17.8	27.8										
—		7	12.5	10	17.5	7	12.5	10	17.5						
20		10.5	20	16	26										
19		11	19	15.5	25	11.5	19	17	27						
16	27	13	22	18	29.5										
21.5															
16.3	26.3														
23		13.5	22	18	28.5	13.5	23	20	30.5						
16	26	12	21	—	27.5										
18.5		9.5	18.5	14	23.8	9.8	20	15.5	26						
30		17	32.5	24.5	42.5										
20		12.5	20	17.7	26	12.5	21	18.3	27.5						
20.5		14	26	19.5	32.5	14	27	21.5	34.5						
12	20.5	9	—	13.5	21.6										
17.5	27.5	13.5	22.5	21	31										
23		13.5	23	17.5	29.5	13.5	23	18.5	30.5						
11.8	19														
15	23.5														
28															
12.3	17.7														
8.5	15														
17.5	24														
37															
29.5	45.5														
28.5		38.5	18	32		—	—	—	—						
9.5	16.5														
12.5	20	9	16	14	22										

帆船番号	ページ番号	船名	人名	会社名	地名	年月日	帆 A	
							(1)	(2)
650	367			桶金回漕店	勢州桑名	M37	12.3	20
651	368	天神丸	長治郎		知多郡成岩町	M37	42.2	19
652	368		衣川孫右衛門		海西郡十四山村	M37	20	10
653	369		永田国三郎		知多郡上野間村	M37	20	8
654	369		山口岩太郎		知多郡朝倉村	M37	9.5	13.5
655	369		早川忠太郎		知多郡朝倉村	M37	7.5	11
656	369		杉浦嘉蔵		知多郡半田町	M37	14	22.5
657	370		伊沢弥一		三州碧海郡新川町	M37	34	13.5
658	371		間瀬作右衛門		知多郡亀崎町	M37	20	27
659	372		間瀬作右衛門		知多郡亀崎町	M37	34	11
660	372		明壁文左衛門		知多郡大谷村	M37	11.5	18
661	373		杉浦実治郎		三州渥美郡	M37	15	14.5
662	373	共豊丸 手船			知多郡半田町	M37	12	19
663	373		大嶋春吉		知多郡半田町	M37	10	17
664	373		山本菊五郎		知多郡坂井村	M37	9	15
665	374		加藤戸吉		三州碧海郡新川町	M37	25	11
666	374		鈴木音吉		三州宝飯郡蒲郡町字村相	M37	32	14
667	375		仙太郎		知多郡熊野村	M37	18.8	6.3
668	375		南菊松		志州志摩郡千賀湊	M37	19	31
669	376		蛭川竹治郎		知多郡半田町	M37/12/02	32.5	14.5
670	377		近藤藤太郎		三州碧海郡大浜町	M37/38	13	21.5
671	377		山下兵松		知多郡豊浜町	M37/38	13	25
672	377		月東由太郎		知多郡朝倉町	M37/38	7.5	13
673	378		森下伊三郎		知多郡常滑町北条	M37/38	25	11
674	378		小栗重太郎		知多郡半田町	M37/38	12	18
675	379		鈴木松助			M38/02/24	10.5	17.8
676	379		小栗重太郎		知多郡半田町	M38/02/24	5	8
677	379		神谷林松		三州碧海郡元苅谷村	M38/02/24	8	12.5
678	379		神谷林松		三州碧海郡元苅谷村	M38/02/24	8.5	13.5
679	380		横井春吉		愛知郡鳴海町	M38	31	11
680	381		伊藤柳吉		知多郡布土村	M38/02/28	24	10.5
681	382		成田梅治郎		海東郡蟹江町	M38	23	13
682	383		平木松治郎		三州桑名郡七取?村大字番取	M38/04/22	22	10
683	384	竹村丸 手船	竹村仁平		知多郡常滑町	M38/04	18.9	33.6
684	385	竹村丸 手船	竹村仁平		知多郡常滑町	M38/04	18.9	33.6
685	386	竹村丸 手船	竹村仁平		知多郡常滑町	M38/04	18.9	33.6
686	387		三浦徳太郎		三州宝飯郡麻管?村字津田	M38/04/09	28.5	12.5
687	388		杉浦嘉造		知多郡半田町	M38	11	20
688	388		角谷由造		三州碧海郡新川	M38	24	10
689	388		内田熊治郎		知多郡内海町	M38/04/14	37.5	15.5
690	389		倉橋萬造		三州宝飯郡麻管?村字津田	M38	26	11.5
691	390		大岩半蔵		知多郡野間村	M38/05	28	11
692	391		吉三郎		知多郡古場村	M38	20.5	7.5
693	391	丸十 住吉丸			知多郡常滑町	M38	45.7	18
694	392		大竹清作		三州幡豆郡幡豆村	M38	9.5	21
695	393		重兵衛		知多郡武豊町	M38	8.5	14.5
696	393	天津丸	山下長治郎			M38/06/10	28.2	21.7
697	394		竹内松太郎			M38	25	10
698	394		徳蔵		三州田原	M38/06	30	13
699	395		上山七蔵		知多郡内海町	M38	23	9.5
700	395			丸岩 竹内商店	知多郡成岩町	M38/07/23	12	19
701	395		青木弥右衛門		知多郡武豊町大鷲	M38	6.8	11.5
702	396		森富治郎		岐阜県羽島郡下羽栗村大字米野	M38/08/02	11	17.85
703	396		山本利七		知多郡豊浜町	M38/08/18	12.5	22.5
704	396		山本寅吉		知多郡豊浜町	M38	12.5	22.5
705	397		山田熊吉		知多郡豊浜町	M38/08/23	10	17
706	397		柿田友右衛門			M38	8.5	13.5
707	397	旭丸	常五郎		知多郡大谷村	M38	8.5	13
708	397	信吉丸	和助		知多郡亀崎町石橋	M38	33	15

サイズ		帆 B サイズ				帆 C サイズ				帆 D サイズ				縮尺	備考
(3)	(4)	<1>	<2>	<3>	<4>	[1]	[2]	[3]	[4]	1	2	3	4		
17.7	26	12	—	18	27.5										
30.4															
24		11.5	19	16	25	12	20	17	26.8						
16.6															
10.5	17.5														
9	15														
20	30.5														
29		15.5	28	17.5	34.6	16.5	29	25	38.5						
22	35.5	22	—	28.5	40										
27.5		36	15.5	30											
16	—	11.5	18	16	24.8										
12		33.7	13.4	28.7											Aは異形
16	25														
15	22														
12	20.5														
21		12.5	20	17.5	26	12.5	21	18	28						
27															地名記載なし
15.3															
28	42														
26.5		15.5	25	19	32.3	15.5	26	23	35						
17	27.5														
16.5	31.5														
10	17.5														
21		12	20	16	26	11.5	21.5	16.5	28						
18	25														
13.5	22														
6.5	11.5														
10.5	17	8.5	13.5	11.5	18.5										
11.5	18.5														右同人とあり
25.5		31	15.5	25.5		14	25	18.5	32	14	26	23.5	36		
20		12	19	16.5	24.8	12	20	18	27.2						
18		11	19	16.5	24.8	11	21	17	27.5						
18		10.5	18	14.5	23	10.5	19	16.5	25						
29.9	46.9														地名記載なし
29.9	46.9														地名記載なし
29.9	46.9														地名記載なし
24		14	23	19	29.7	14	24	21	32.5						
20	26														
19.8															
32.1															
22		13	21.5	18	27.5	13	22.5	19.5	30						
24		13	23	17	29	13	24	18	31						
17.5		11.5	18.6	14.2	24.1	10.5	19.5	14.7	35.5						
34															出来上り寸法
15	20.3														
11.5	18.8														
															異形、台形。4尺5寸上り。6寸5歩上り。
21		13.5	21	17	27.5	13	22	19	29.5						
25															
18		10.5	17	14	22	10.5	18	15	24						
16	25.3														
8.3	15.2														
14	22.5	11	18.9	16	25.5										
16.3	25														四尺上り
16.3	25														四尺上り
12.5	19														
10.5	17														
10.5	18														
27.5															

帆船番号	ページ番号	船名	人名	会社名	地名	年月日	帆 A	
							(1)	(2)
709	398		渡辺時治		三州渥美郡	M38	32	12.5
710	398		青木市太郎		知多郡武豊町	M38	11.5	18
711	398		石原藤松		知多郡成岩町	M38/09/25	13.5	23
712	398		内藤繁松		三州碧海郡吉浜村	M38/09/30	9	14
713	399		田中吉平		三州渥美郡田原町	M38/10/02	14	24
714	399		山口弥太郎		知多郡朝倉村	M39/02/24	8.5	14
715	399		久野作右衛門			M38・39	7	11.8
716	399		竹内辰次郎		知多郡半田町	M39/02/24	27.5	11.5
717	400		石原藤松		知多郡成岩町	M38・39	27.5	11.5
718	400		大嶋春吉		知多郡半田町	M38/10/28	11	18
719	401		鈴木惣助		三州幡豆郡西崎村巨海	M38/10/27	11	18
720	401		杉浦嘉造		知多郡半田町	M38/10/30	11	20
721	401		新美徳太郎		知多郡亀崎町	M38/11/05	11	18
722	402		久野清左衛門		知多郡名和村	M38/11/05	21	8.5
723	402		三嶋米太郎		三州碧海郡高浜町	M38/11/10	12	20.5
724	403	角一 宝栄丸				M38/11/09	53	19
725	404		阿部惣十		海西郡十四山村大字亀ヶ地	M38/11/07	26	11
726	405		間瀬辰三郎			M38・39	12.5	22
727	406		水野與三松		知多郡緒川村	M38/11/30	20	8
728	407		山本仁左衛門		知多郡豊浜村	M38・39	12.5	25
729	408		作重	米屋作重	知多郡成岩町	M38/01/03	13	21
730	408			萬三商店	知多郡半田町	M39/01/11	12.5	20.5
731	409		松次郎	桶金回漕店	勢州桑名町片町	M38/12/27	25	10
732	410		八三郎		知多郡樽水村	M38・39	33.2	16
733	410		井野坂次郎		三州碧海郡元苧谷村	M38・39	8	12.5
734	410		杉浦音松		三州碧海郡元苧谷村	M39/02/03	8	12.5
735	411	丸寅 船				M39/01/30	33	13.2
736	411		鈴木安吉		三州宝飯郡三谷町	M39/02/04	12	19
737	411		松下治? 太郎		知多郡半田町浜ヶ	M39/02/11	12.5	20.5
738	412		鈴木嘉助		三州幡豆郡一色町	M39/02/10	11	19
739	412		高須武助		三州幡豆郡一色町	M39	11	19
740	412		加藤梅吉		三州幡豆郡一色町	M39	11	19
741	413	天津丸	山下長次郎			M39/02/14	46.8	17.7
742	413		八三郎		知多郡樽水村	M39	17.7	28
743	414		金森		知多郡大谷	M39/03/06	39.5	16.3
744	414		間瀬栄次郎		知多郡古場	M39/03/12	40.5	14.5
745	415		日比広吉		知多郡内海町	M39/03/10	14.5	26
746	417	角二 角三郎船	角三郎			M39	34.5	13.5
747	417		稲葉金三郎		知多郡常滑町	M39/03/13	12.5	18
748	418	丸共 澄吉丸				M39/03/12	23	43.5
749	420		杉江嘉左衛門・柿田喜八		知多郡常滑町	M39/03/13	33	13
750	420		磯村浅吉		三州碧海郡元苧谷村	M39/03/11	8	12.5
751	420		高須彦造		三州幡豆郡一色町	M39	11	19
752	421		大岩文吉		知多郡大谷村	M39/03/21	15.5	26
753	422		家田和三郎		知多郡内海町	M39/01/27	27.5	10.5
754	423		間瀬清? 太郎		知多郡半田町	M39/03/22	11	18
755	423		重兵衛		知多郡武豊町	M39/03/29	9	14
756	423		大形角太郎		知多郡常滑町	M39/04/07	7.5	12
757	424		山口理助		知多郡新知村字朝倉	M39/04/03	28	11.5
758	425	澄吉丸				M39/04/09	24.2	40.5
759	426		大岩文吉		知多郡大谷村	M39	35	13
760	426	澄吉丸				M39	47	18.5
761	426		伊藤柳五郎		海西郡両国村?	M39	24	10
762	427		磯部長太郎		知多郡大府村	M39/04/12	10	16
763	427		高須金太郎・高須也?方		知多郡亀崎町	M39/04/18	14	23
764	428		鈴木弥七		三州大浜町	M39/04/19	13	20
765	428		杉浦藤吉		三州西端	M39/04/22	11.5	20
766	428		松本豊松		三州豊橋	M39/05/21	13	22
767	429		杉浦才吉		三州碧海郡相見村	M39/04/23	39.3	19

サイズ		帆 B サイズ				帆 C サイズ				帆 D サイズ				縮尺	備考
(3)	(4)	<1>	<2>	<3>	<4>	(1)	(2)	(3)	(4)	1	2	3	4		
27															
15.5	23.5														古帆表・地名記載なし
20	30.5														メン
12	18.5														
18	30.5														
11.5	16.5														古
8.5	14.5														
23															後からの書き込みか？
23		12.5	21	18.5	27										古帆
16	24.5														メン
17	24	12	19	18	26										古
19	26.5														表
15	23.5														
17		10.5	17	14	22.5	11	18	14	24						
17	26.5	13	21	20	28.3										
42.5															
21.5		12	21	16	—	13	22	19	29.5						
17	27.5														
16.5		11	17.5	16.5	—	11	18.5	16.5	25						
16.3	27.5														
18	28														反
18	26.5														表
21		12.5	21	16	—	12.5	22	18	29						
26.5															
10.5	17	8.5	13.5	11.5	18.5										
10.5	17	8.5	13.5	11.5	18.5										
26															
15	24.5														
18	26.5														ホール
14	23														
14	23														
14	23														
40															ステー
27	39.3														
31.7		40.3	17.5	33.8		20.5	35	32	46.5						古・ステー・メン・古松江？
31.5															シブ・姓記載なし
19	33.3	15.5	27	23.5	35.8										ホール・メン
27		37.5	17	31.3		18.5	28.5	31.8	37.5	18.5	30	29	41.7		
18	24.5														
36	56														0番・壱番。メンセール
26		36	16	30		17.5	27	20	35.2	18	30	28	40.8		地名記載なし
10.5	17.5	8.5	13.5	11.5	18.5										
14	23														
18.5	33.5	16.5	28.5	24.5	38.5										
23.5		13	22	17	28.2	13	23	18	30.5						古・古メリケン
16	24.5														メン
12	18.5														表
10	16														
23.5		13.5	22.5	18	29	13.5	23.5	20	31.5						
26	50.7														表
29.5															
37															
20															伊東？
14	21.5	10	17	15	23.2										
18	29.5														ホール
16.5	26														ホール
15	25.5														ホール
17	28.3														ホール
31.5		19	30.5	31	43										1/75

帆船番号	ページ番号	船名	人名	会社名	地名	年月日	帆 A	
							(1)	(2)
768	429		永田藤助		三州碧海郡大浜	M39	1丈2尺	17.8
769	430		鯉江角之助	萬三倉庫部		M39/04/24	26	11
770	431	常助船	常助	萬三商店		M39	12.5	20
771	431	天津丸	山下長次郎			M39	32.5	37.5
772	432		間瀬栄次郎		知多郡古場村	M39/04/30	16	27.5
773	433		大岩喜作		知多郡豊浜町須佐	M39		
774	433		内田熊次郎		知多郡内海町	M39/05/20	19	31
775	435		諸戸藤吉		加呂登	M39/05/19	30	12
776	435		杉浦皆蔵		三州碧海郡大浜町	M39/05/21	13	21
777	436			桶金回漕店	勢州桑名郡桑名町	M39/05/21	25	10
778	437		杉浦嘉造		知多郡半田町	M39/06/01	28	10.5
779	438		藤井茂兵衛		紀伊国	M39/06/02	36	16.5
780	438		石川信		三州碧海郡新川町	M39/06/05	12.5	21
781	438		傳七		勢州アカスカ	M39	9	15
782	440		目東鍬次郎		知多郡八幡村字朝倉	M39/06/08	33	13
783	440		江口紋四郎		知多郡野間村	M39/06/08	9	15
784	441		原十		知多郡常滑町	M39	12	21
785	441	手船	加藤久吉・平松太三郎		三州碧海郡新川町千福村	M39/06/14	12.3	21
786	442		権田重吉		知多郡大野町	M39/06/13	25	10
787	443		諸戸久五郎		加呂戸	M39	24	10
788	444		日比良吉		知多郡内海町	M39/06/16	23	8
789	445		石川憑作		三州碧海郡新川町字松江	M39	29	12
790	446		佐藤浦次郎		海東郡蟹江町	M39/07/07	11	19.5
791	446		稲垣岩次郎		三州幡豆郡一色村間浜	M39/07/11	12	19
792	447		石原藤松		知多郡成岩村	M39	29	12
793	448		平松品吉		三州碧海郡新川町	M39/07/14	11.5	19
794	448		古川長右衛門		知多郡刈屋村	M39/07/15	14.5	20
795	448		杉浦嘉蔵		知多郡半田町	M39	22	9.2
796	450		平川嘉一		三州渥美郡田原町	M39/07/17	30.4	10.7
797	450		長阪嘉之助		三州棚尾村	M39/07/25	20	7.5
798	451		石川倉吉		愛知郡笠寺村	M39/07/28	10.5	16
799	451		杉浦夷次郎		三州渥美郡	M39/08/01	14.6	28.5
800	452		鈴木文作		三州幡豆郡東幡豆村字須崎	M39/08/01	31	11.5
801	453		黒宮七次郎	米藤回漕店	勢州桑名片町	M39/07/29	24	10.5
802	454		森下久右衛門		知多郡熊野村	M39/07/30	25.5	9
803	455		角谷由蔵		三州碧海郡新川町	M39/08/01	28	7.5
804	456	住吉丸 御手船	杉江嘉左衛門		知多郡常滑町	M39/10/01	24.5	43
805	458	旭丸	常五郎		知多郡大谷村	M39	40	16.5
806	458		鈴木彦五郎		三州碧海郡元菟谷村	M39/08/15?	8	13.5
807	458		桑モト			M39	29.8	11.8

※このリスト作成は、主に杉江理代が行ったものである。

※帆のサイズで数字のみの場合は単位は尺である。

サイズ		帆 B サイズ				帆 C サイズ				帆 D サイズ				縮尺	備考
(3)	(4)	<1>	<2>	<3>	<4>	[1]	[2]	[3]	[4]	{1}	{2}	{3}	{4}		
14.7															古。異形
23		13	22	19	28.5	13	23	20	31.8						
17	27.5														メン
39.5															異形、台形帆。人名記載なし
22	35.3	17	28.5	26	39.5										
23	40														
25		36	16.5	25.5		17	27.5	20.4	35.3	16.5	28.5	26	39		日付記載なし
18	28														
21		12.5	21	16.5	27	12.5	22	18	29						
24		13	23	19.5	29.8	13	24	20.5	31.5						
28															シブ
16	27														
12	20														
26		36.5	17	30.5		16.5	28.5	21.5	36.5	16.5	30	26	40		日付記載なし
12	—	9	16	13	21.3										
16.5	27														
16	26.8	12.3	21.5	17.5	28										
21		12	20	16	25.8	12	21	17	27.5						
20		11.5	19	15	24.8	11.5	20	16.5	27						
17.7		28.5	13	23.5		14	22.5	18	29	13.5	23.5	21	31.5		古
25		15	24	18	—	14	25	20	32.5						
16	25.3	11	21.5	16.5	28.5										
15	24.5														
25		12	19.5	16.8	25.3	13.6	25	20.8	33						A. B の並び逆
14.7	25														
16	24														地名は苅谷とあり
18															
24.4		34.7	15.5	28.8		16	27.5	20.5	35	15.5	28.5	25	38		
16.5		9.5	16	13	21	10	17	14.5	23						
16.5	23.5														
22	37.5														地名記載なし
24		36	16.5	29		17	28	29	40.5						
20		12.5	20.5	16.5	26.5	12.5	22	18	29						
22		12.5	21.5	16.5	27.5	12	22.5	17.5	29.5						
24		13.8	22	17	28.5	13.5	23	19	30.8						
36	57													1/75	メーンセール。江州錨印一番にて製帆 ホースター
34		20	35	26	44.5										
10.5	17.5	8.5	14	11.5	19										
22.6															



常滑市民俗資料館

研究紀要 VI

二〇〇四

常滑市教育委員会

## はじめに

常滑市民俗資料館の研究紀要は、その名称が示す字義に適せず隔年刊行になっている。小規模館の最少スタッフによってまかなわれている事情が、その背景にはあるのであるが、この第十一集は、その研究というタイトルにも不都合が生じるような内容で、資料集とすべきものになった。

その内容は近代の常滑港に関する資料と常滑陶彫会、そして寺内信一集・茶器図会という常滑の煎茶器についての記録資料である。常滑港に関する資料では、日本福祉大学知多半島総合研究所が精力的に調査された瀧田家文書が近世末から近代初頭の実態を示すものと考えられるが、その詳細は研究所の発表を待つとして、その時期から明治期の常滑港の繁栄を示すと考えられるのが、今回紹介する資料になる。明治六年ころの北条港が、江戸時代の廻船総庄屋であった大野の中村権右衛門の果たした役割を担ったことがうかがえて興味深いものである。また、カネメ船具店の帆の受注簿と考えられる帳面は、その注文主が多種多様で、明治後半期の常滑港の状況を推測する手がかりを与えてくれる。

また、陶彫会についての資料は、片岡静観氏の手元に残った資料である。陶彫という言葉は、文字通り陶器の彫刻であるが、その言葉は決して一般的なものではない。ちなみに『広辞苑』はおろか『原色陶器大辞典』にすら陶彫という項目はないのである。それが、常滑ではごく普通に用いられている。常滑において、この言葉の表れる最も古い事例が、ここに紹介した常滑陶彫会の記録で、その発足からの経緯が示されている。また、陶彫と輸出品生産との関連が明瞭にうかがえる資料でもある。

寺内信一（半月）が常滑滞在中に同僚の内藤陽三（鶴嶺）とともにスケッチした『茶器図会』は、そのうちに平野忠司のコレクションを含んでいて常滑の煎茶器研究には格好の資料となる。これらの資料からさらに新たな研究が立ち上がることを期待したい。

十一集の刊行に際し、資料のご提供をいただいた各位、さらに資料化においてご指導いただいた方々に末文ながら衷心より御礼申し上げる次第であります。

# 目次

寺内信一集 茶器図会	1
常滑陶彫会	21
常滑町史編纂資料(常滑船舶考)	51
北条港船役所文書	64
カネノ船具店	1

## 寺内信一集 茶器図会について

この資料は巻頭文にあるように明治二十二年の夏に書かれたものと思われる。そして、寺内信一と内藤鶴嶺が七年前の明治十六年に常滑に来てから茶器の資料を集め、その後、内藤がベurlリンに渡ってから寺内が補筆したものが原本になっているという。この本を寺内の教え子になる平野霞裳が写しているところを見たのだが、それがちょうど内藤の客死の報告を受けた年であったということである。

内容は「杉江壽門翁 摸写漢製急須」として五十九点の急須と水注・香炉が素描されているのが第一部になる。そして六十番の「蔵六居士」「凌波仙子」から八十番の「儒雅宗伯」までの二十一点は、明治九年に刊行された奥玄寶の『茗壺図録』の一部を写したものである。そして、第三部にあたるのが「平野忠司翁所蔵 常滑焼急須」である。平野忠司は常滑村の医師で急須の収集家であるとともに、初代杉江壽門らを指導して、常滑ではじめて朱泥の煎茶器を作ることに成功した人物とされている。ここに素描された急須には元治壽門とか安政壽門という肩書きを持つ絵がある。壽門が作者で元治や安政は元号と見るべきであろう。白泥・朱泥・烏泥・紫泥・南蛮とあるのは材質で、葉は釉葉が施されていることを示している。第四部は巻末に収められた香炉・茶碗・植木鉢・火鉢・花瓶・德利・水指などが描かれた部分になる。杉江壽門は常滑の急須造りの第一人者であったが、平野忠司というパートナーの急須との関係については判然としないところ

が残っていた。ただ、平野は東京上野公園で明治十四年に開催された第二回内国勸業博覧会に急須を出品し褒状を受けていることが知られていた。彼は所蔵の急須を年代ごとに分類して展示したとされる。この茶器図会の第三部にある元号や年号、作者を注記した急須は、平野忠司のコレクションが、そうした情報とともに整理されていたことを示しており、博覧会への出品は、こうした情報をもとに構成されたのであろう。第一部の壽門が写した漢製急須も平野のコレクションをモデルとしたのではないかと思われる。

第四部に収録されている百八十番以降の図では、龍巻の大型植木鉢の年代に根拠を与え、備前の布袋徳利を常滑で写したことも実物の傍証となりえよう。庭園に置く陶製椅子が二点描かれている。実物が伝存しており、この資料から明治二十二年には常滑に存在したことを示している。

この茶器図会の第一部からは、すでに多くの中国産の茗壺が常滑にあり、それを壽門堂が写していた事、そして、その中には宜興の製品とは考えにくい横手の南蛮風のものも含まれていることがうかがえる。第三部は、もつとも重要な資料で、常滑で写された足利家茶瓶四十三品図録関係の製品や南蛮写の製品、そして宜興写と思われる後手の茗壺などが、いつごろ誰によつて作られているのかを知ることができるのである。さらに、近年発見された壽門堂の土型によつて制作されたと考えられるものもあり、その年代が慶応三年とあるのは、常滑の煎茶器制作技法の研究をする上で重要な情報になると考える。

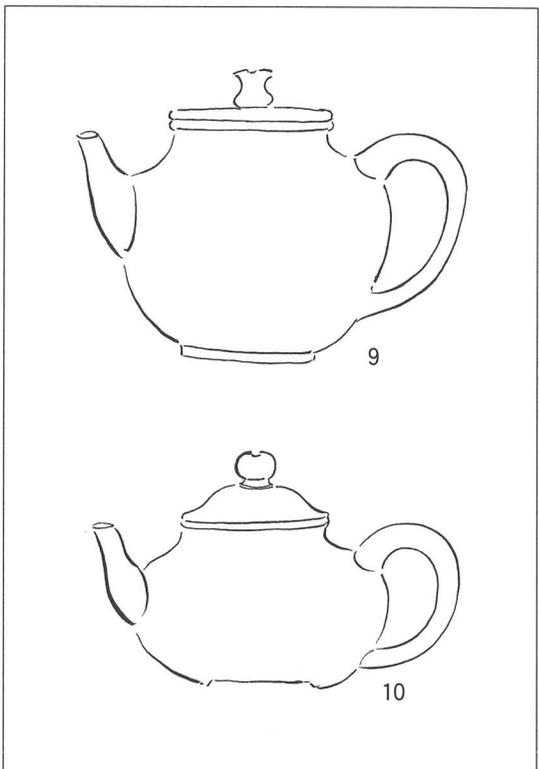
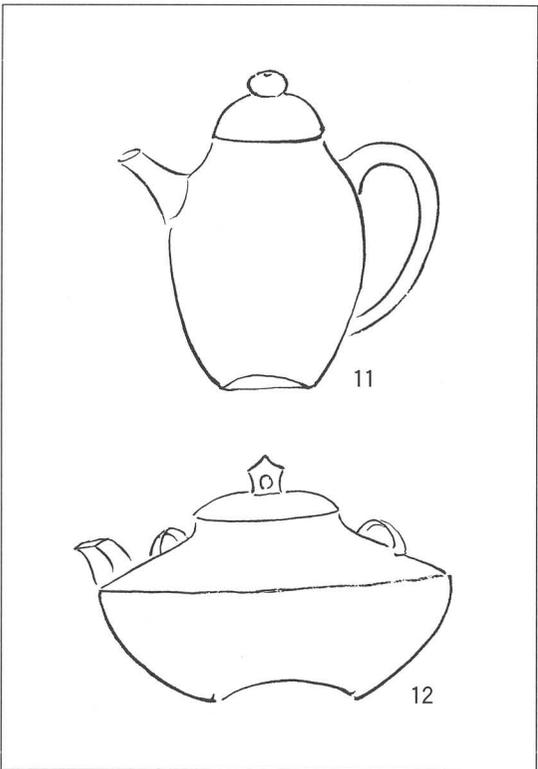
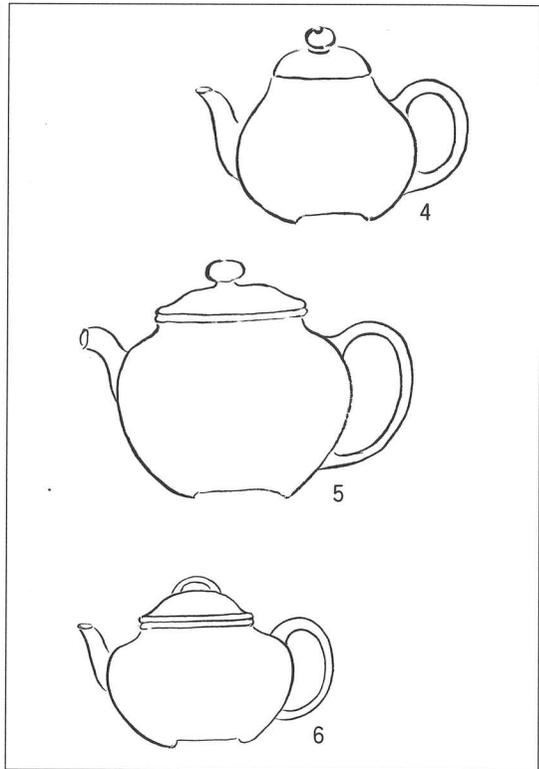
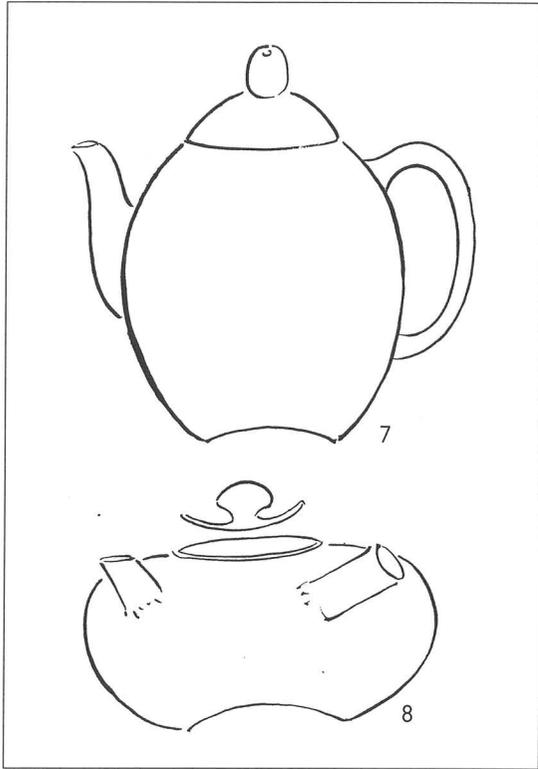
寺内信一集  
茶器圖會

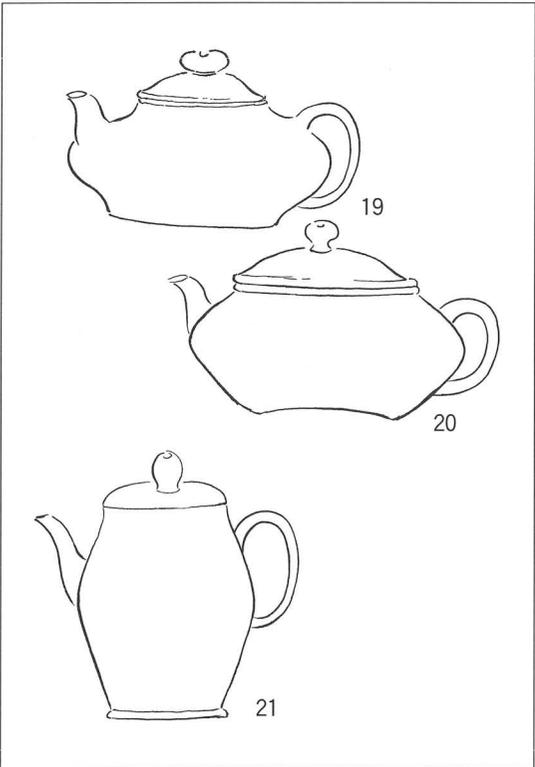
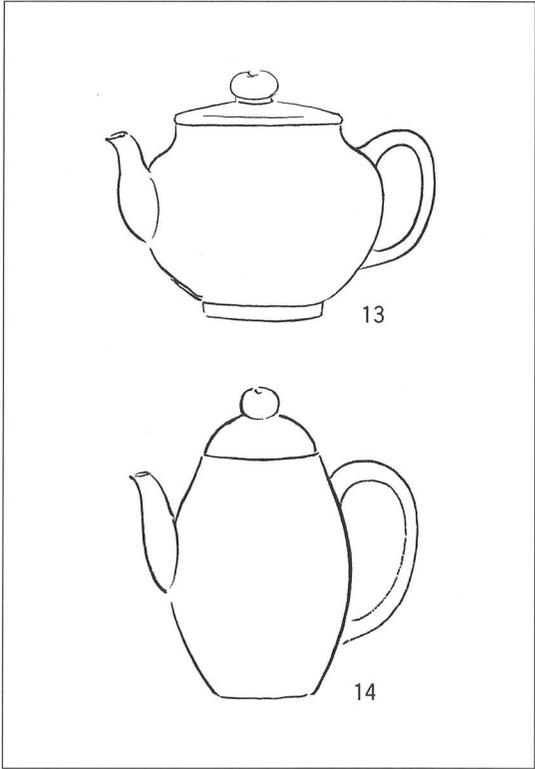
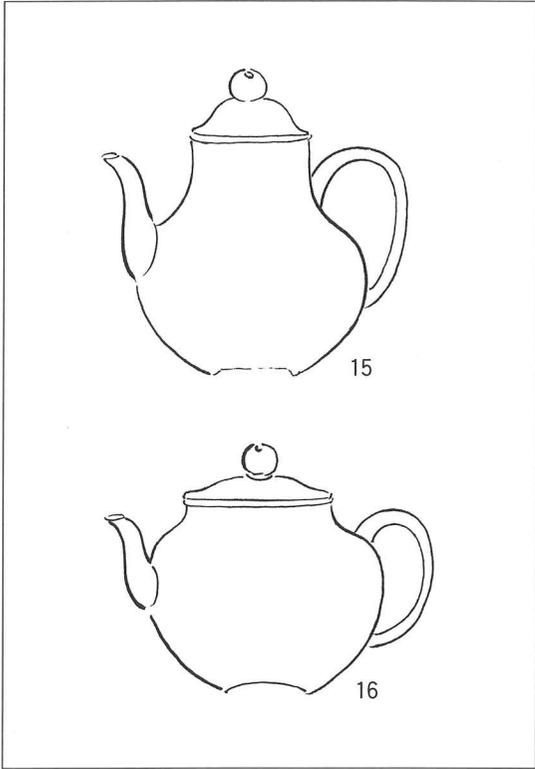
余曠兩孫鶴嶺菟集茶器距今七  
 年矣鶴嶺航行於獨逸伯林後余補  
 格藏之今年孟夏鶴嶺歸航之途  
 死於支那海上計達其家而妻子歸與不堪  
 慘情也偶觀霞裳所寫此書實是鶴  
 嶺之子跡而余之所共  
 明治廿二年夏夜書於燈下不覺故於子腕



杉江壽門翁  
 摹寫漢製急須

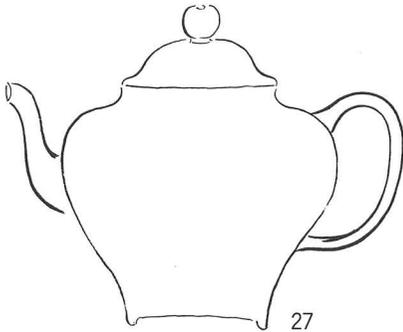
鳩城六  
 本月所士







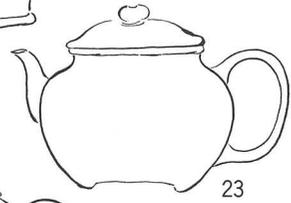
26



27



22



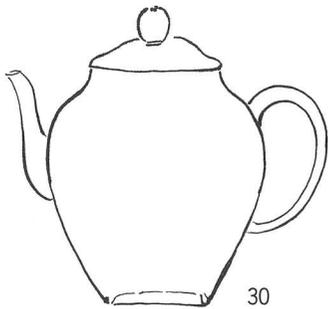
23



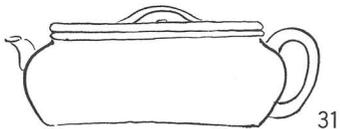
24



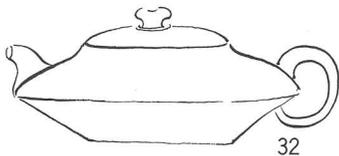
25



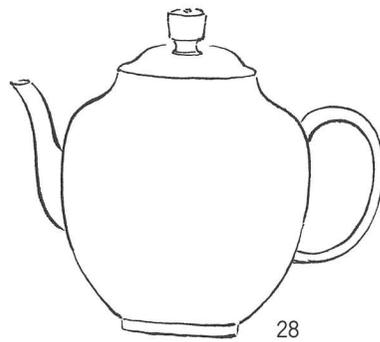
30



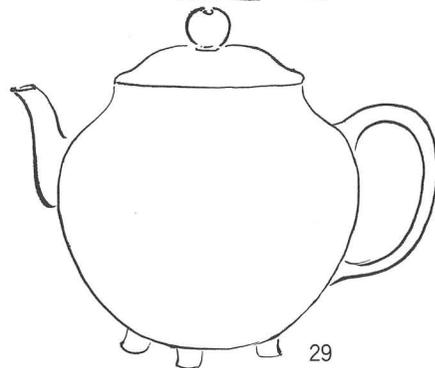
31



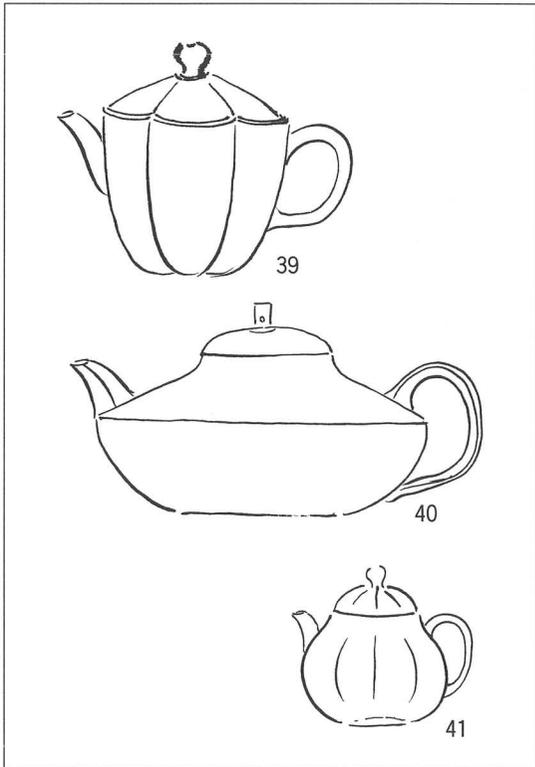
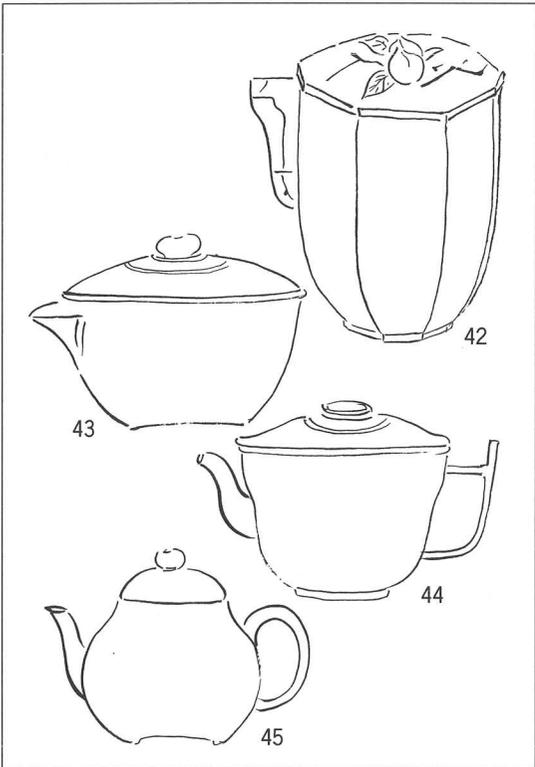
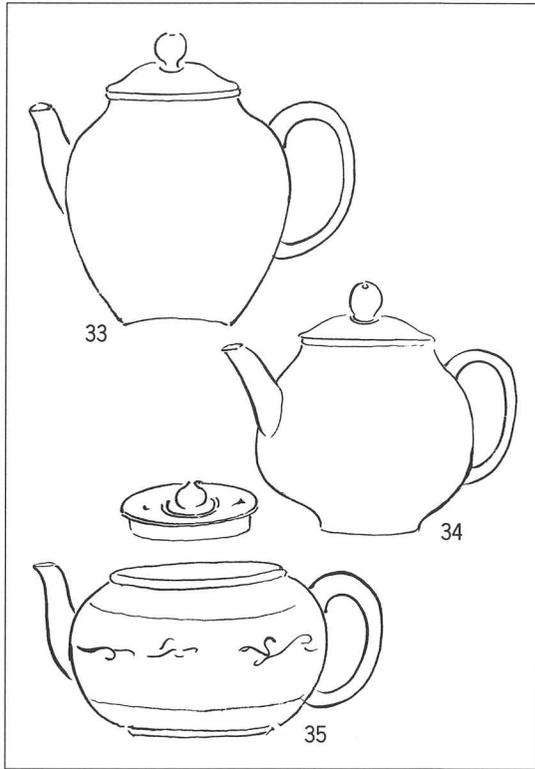
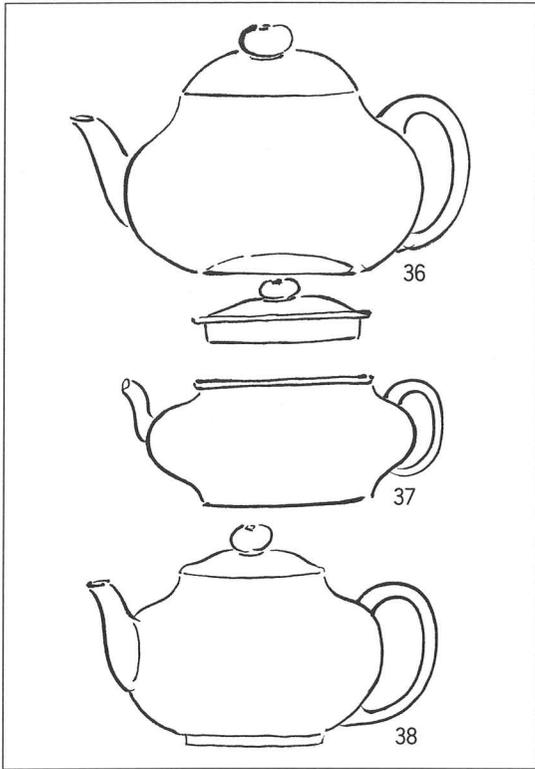
32

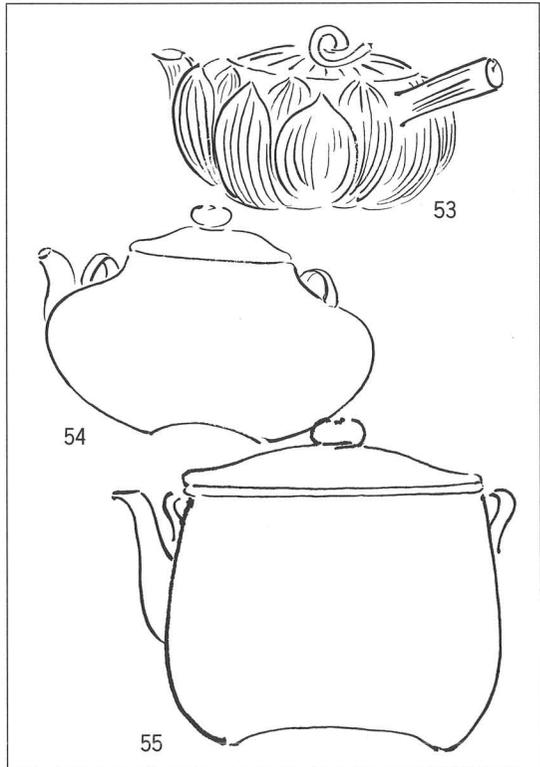
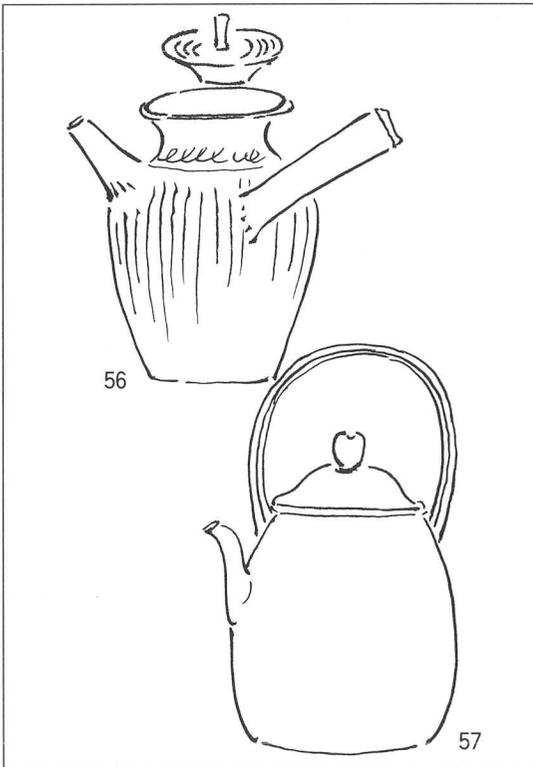
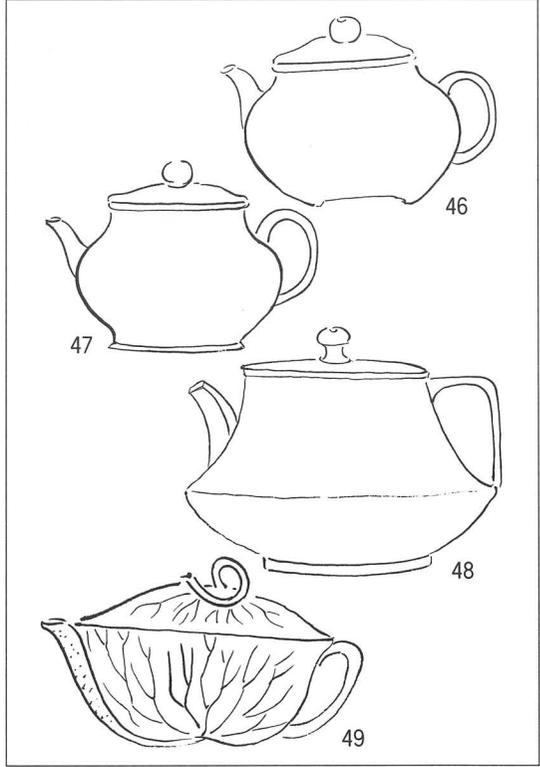
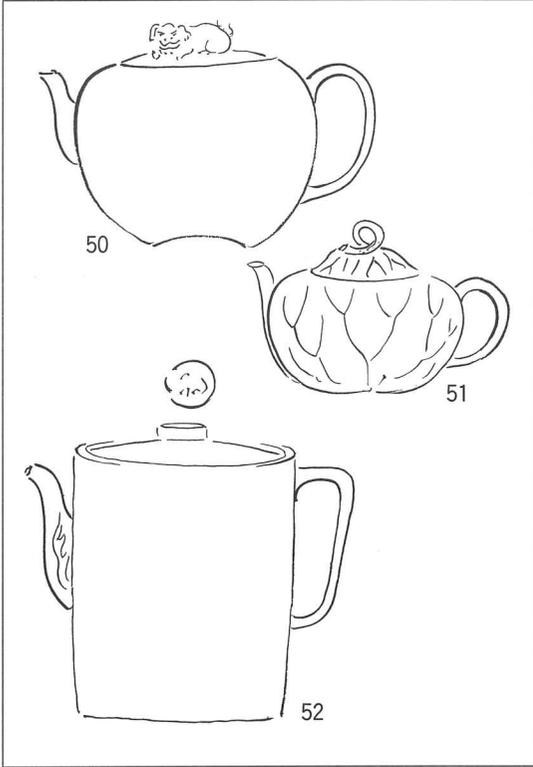


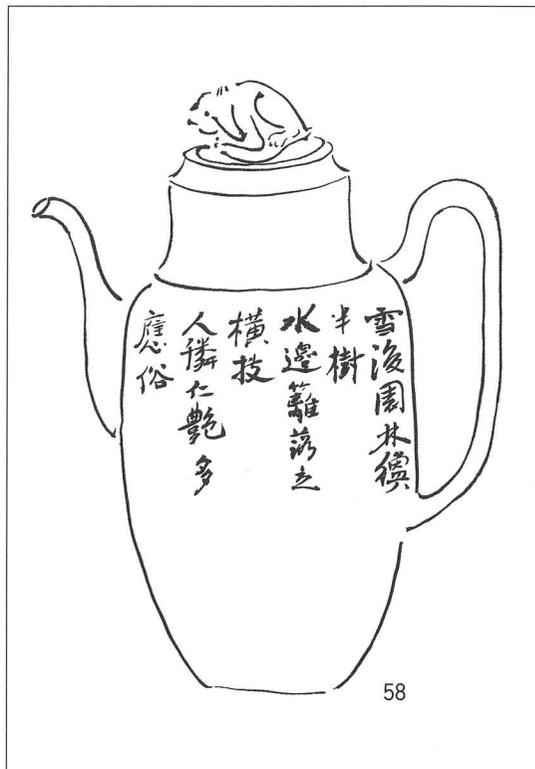
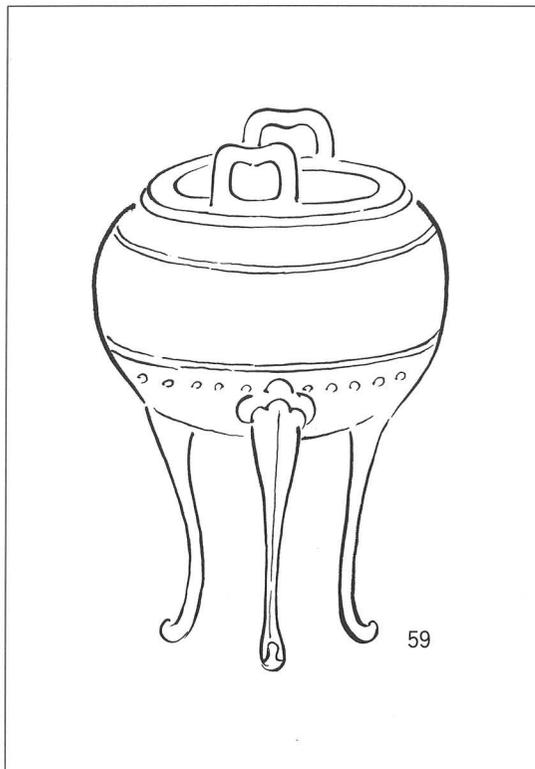
28

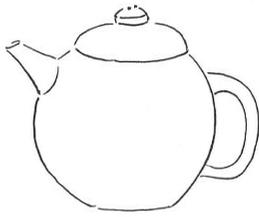


29



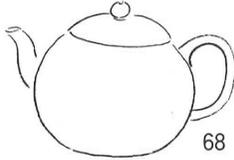






老槽敬人

67



68

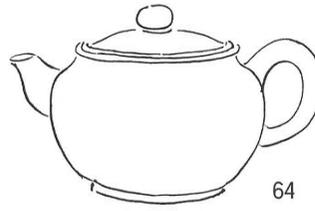


69

紅顏少年



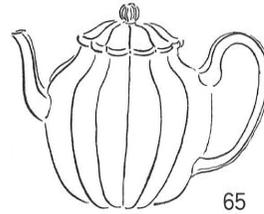
70



鉄名丈夫

64

銀臺醉客



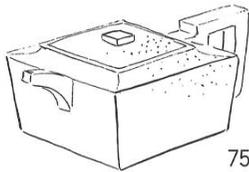
65

繡水御史



66

中有智珠  
使人不  
枯列仙  
之倚  
憂告銘



75



76

筆在陰  
賜茶  
玄濁  
是之  
是我  
無說



71



72



73

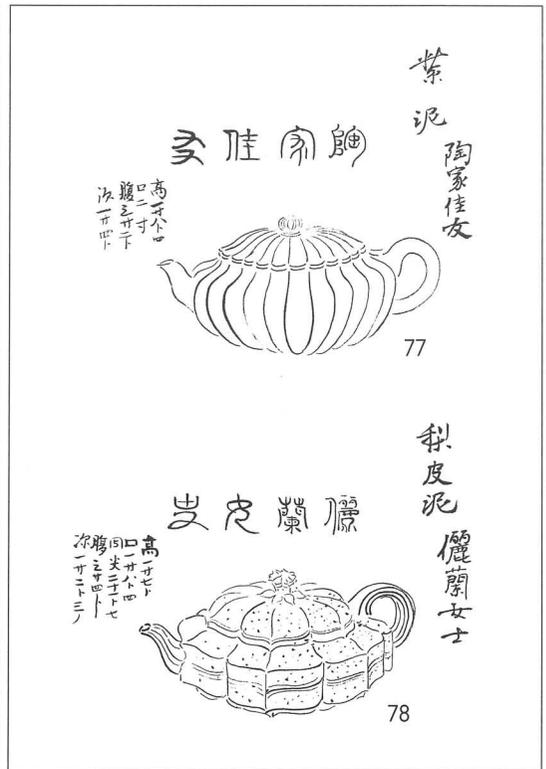
紫泥

練少陽錄

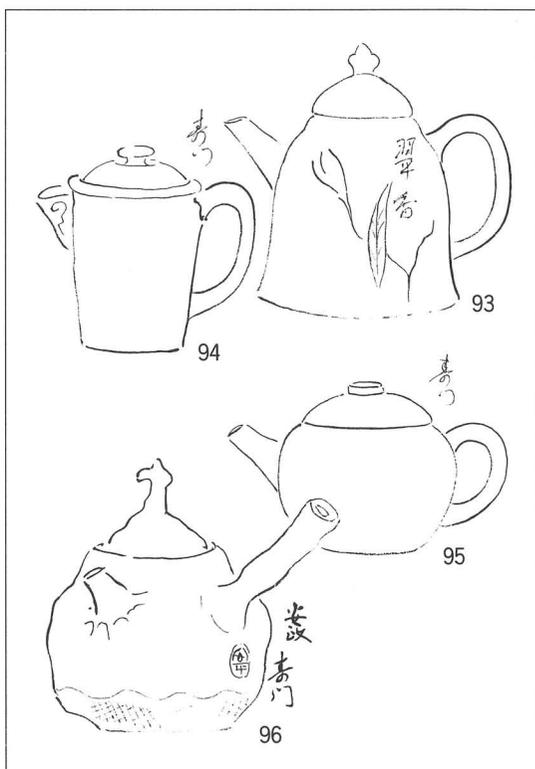
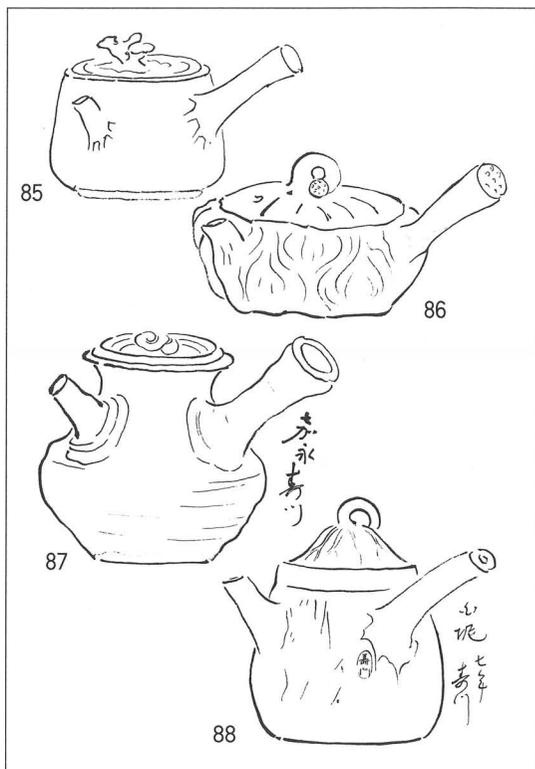
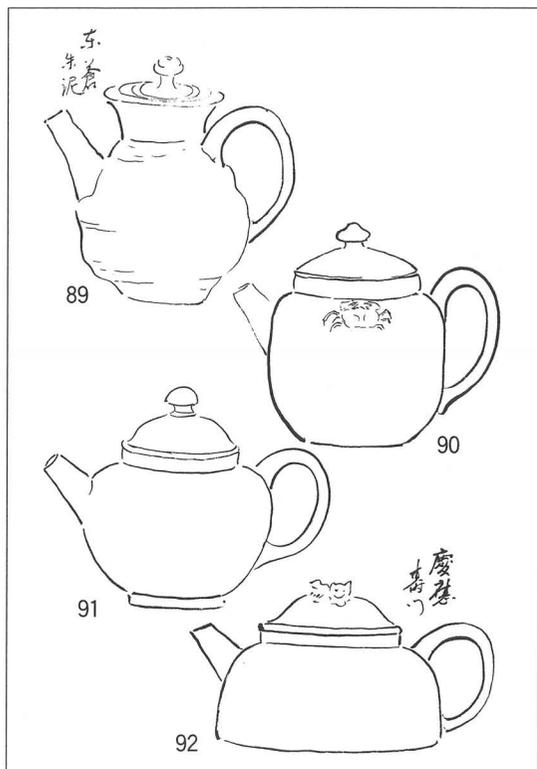
斷腸少師

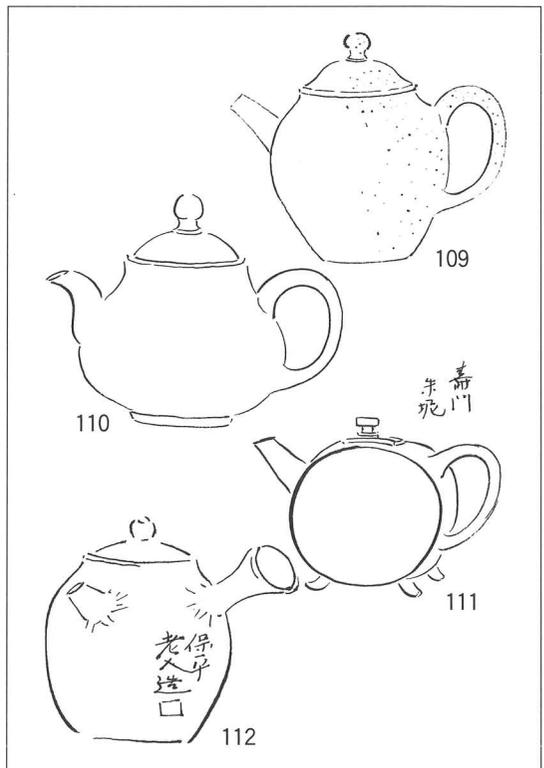
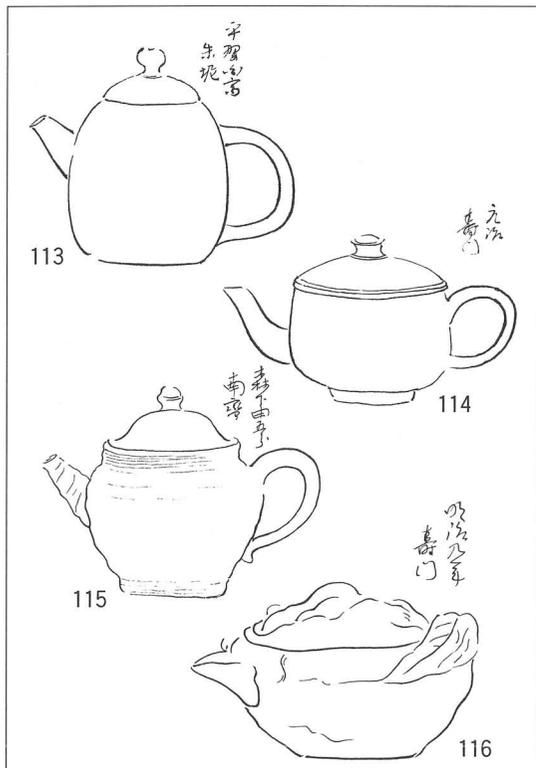
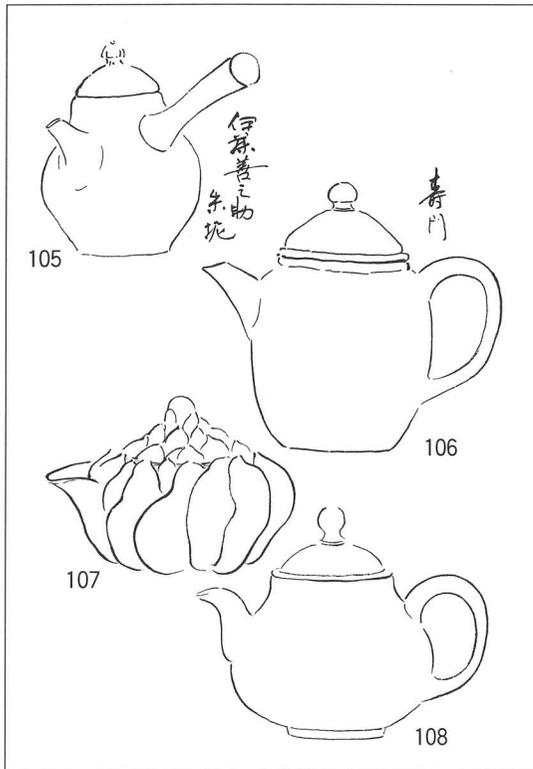


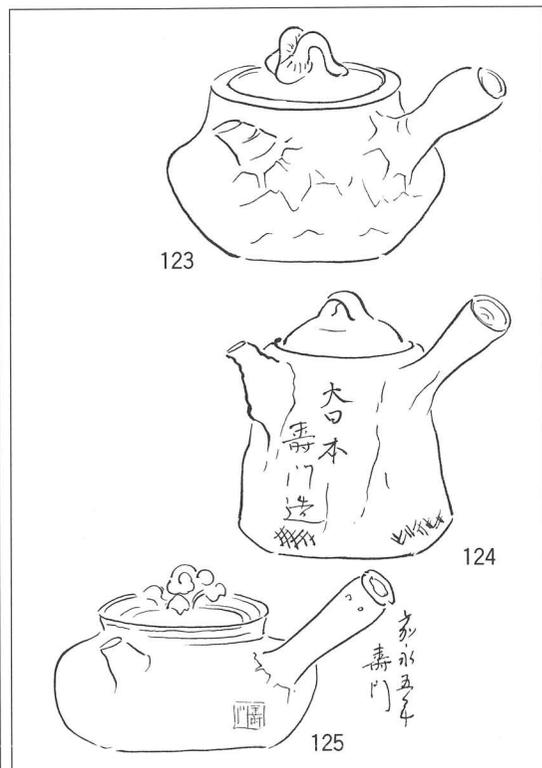
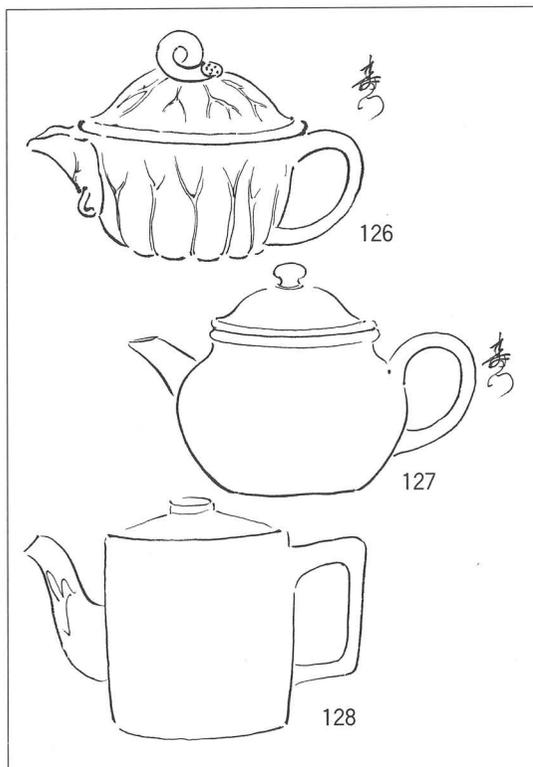
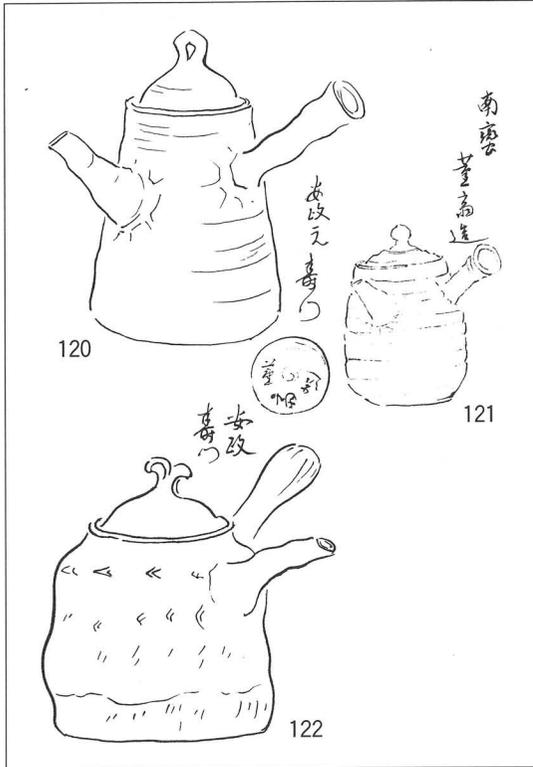
74

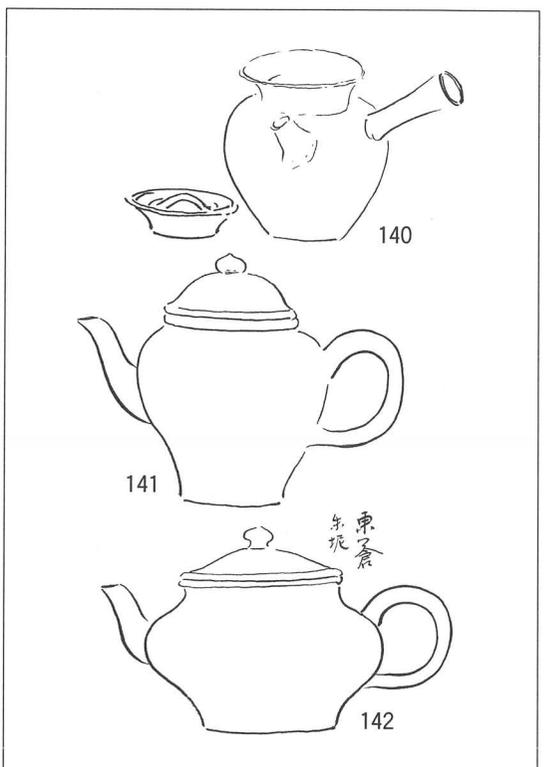
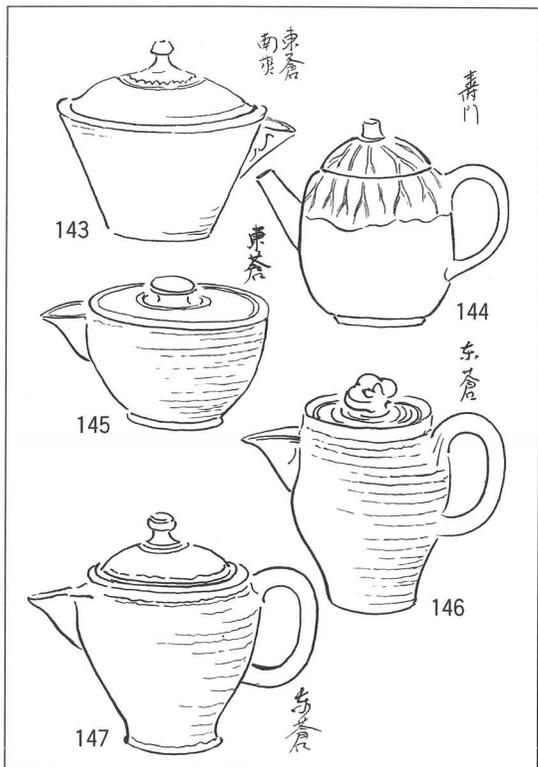


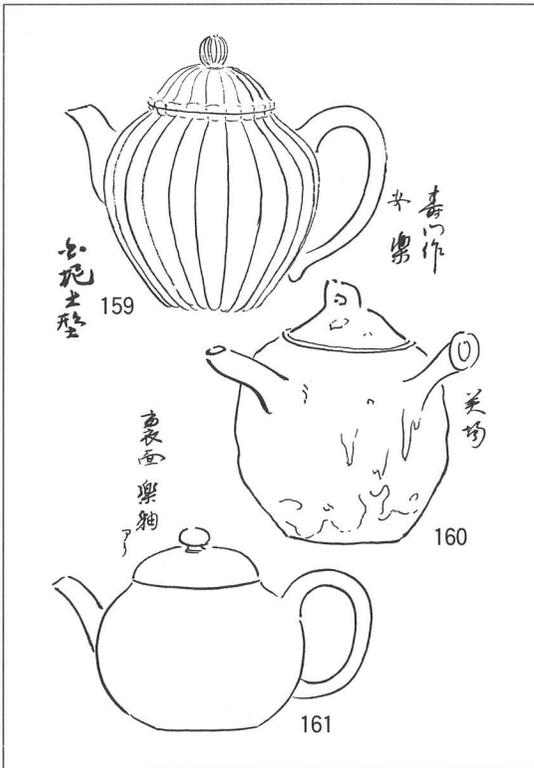
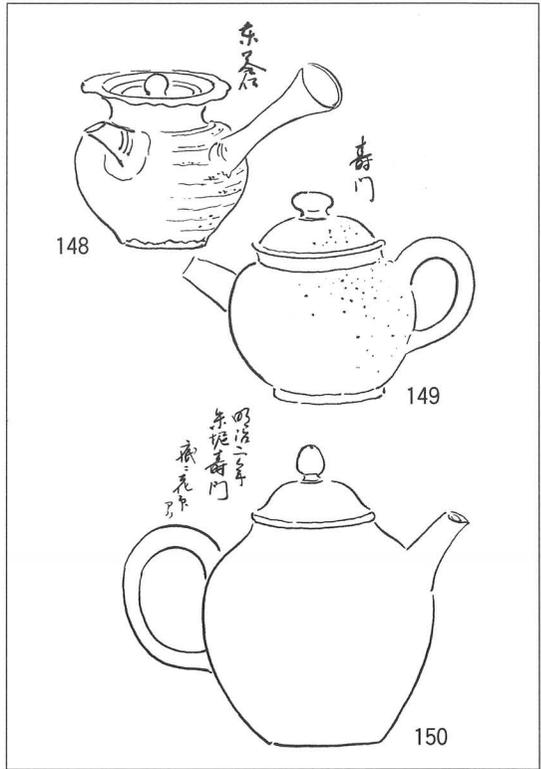
平野忠司翁所藏  
常滑燒急須

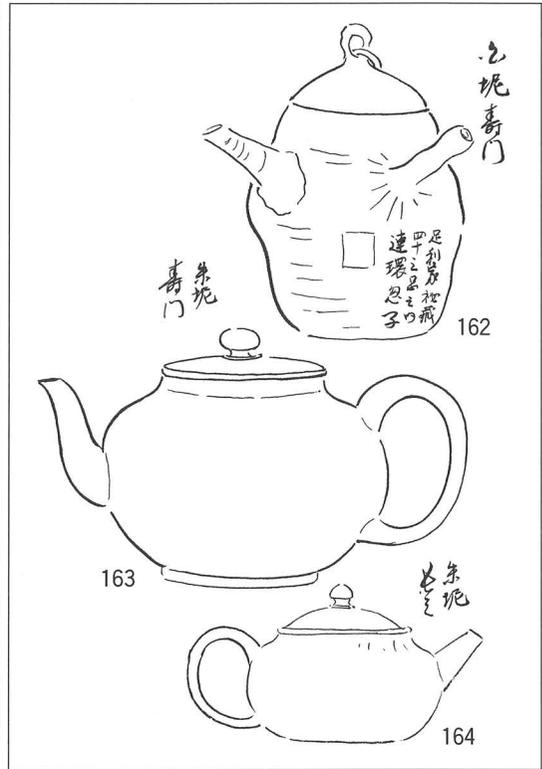


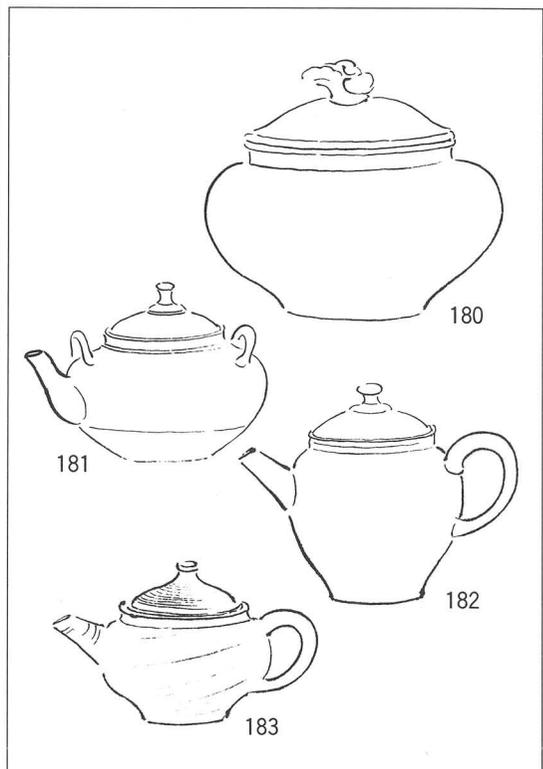
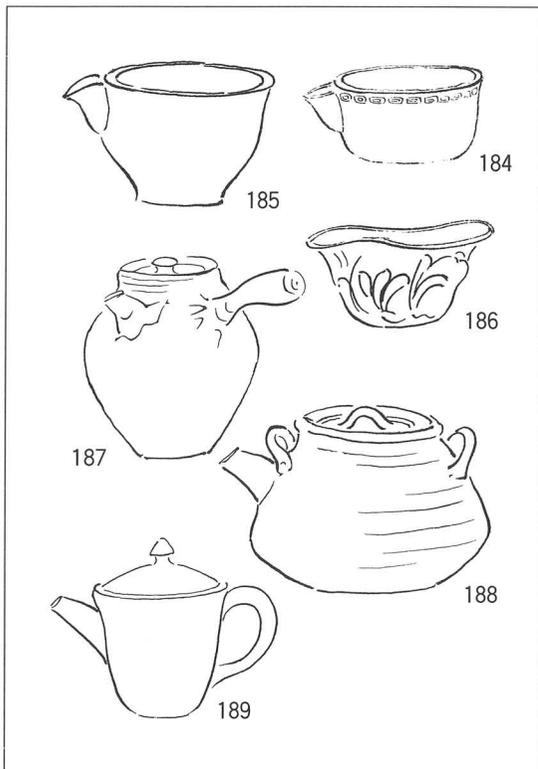
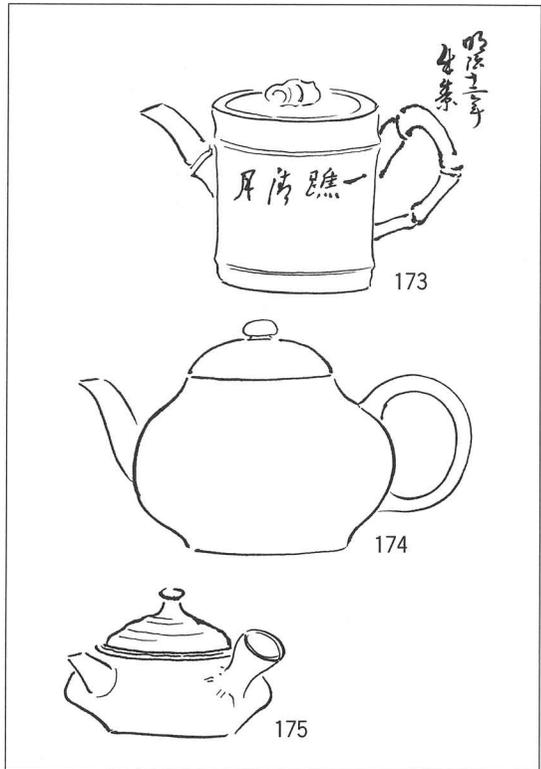
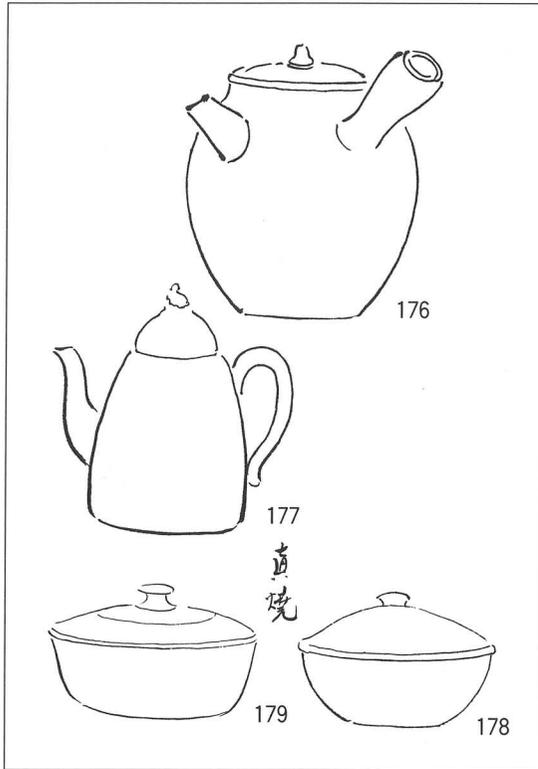


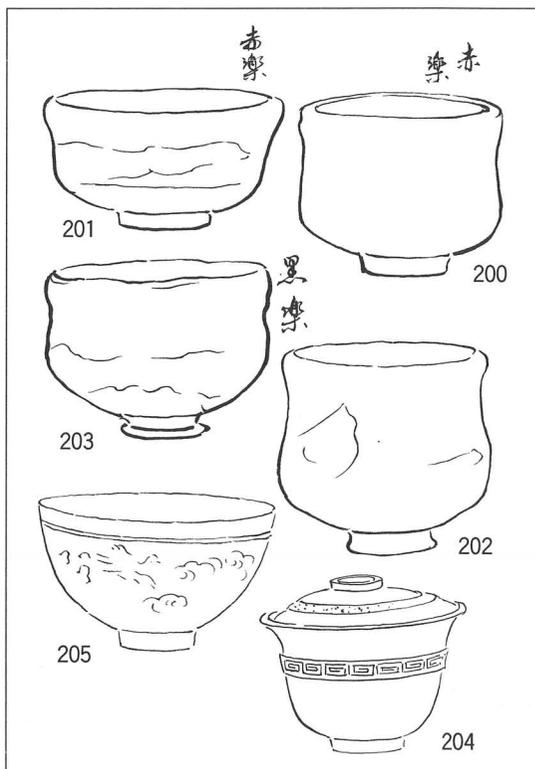
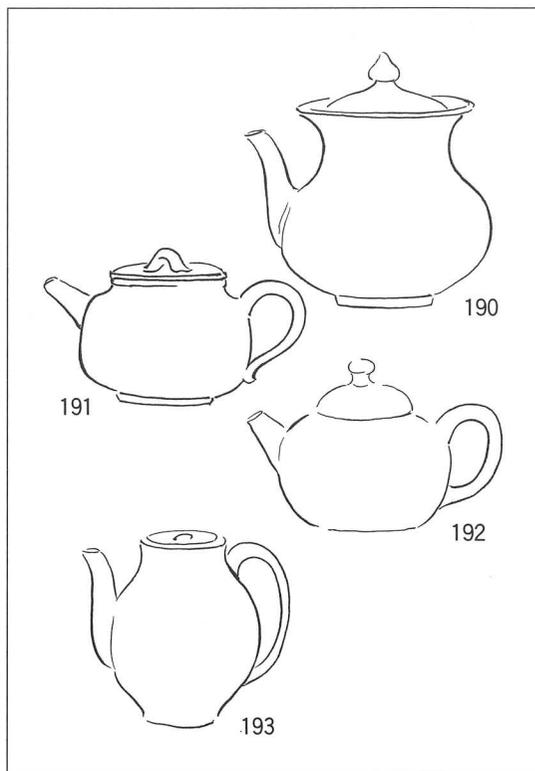
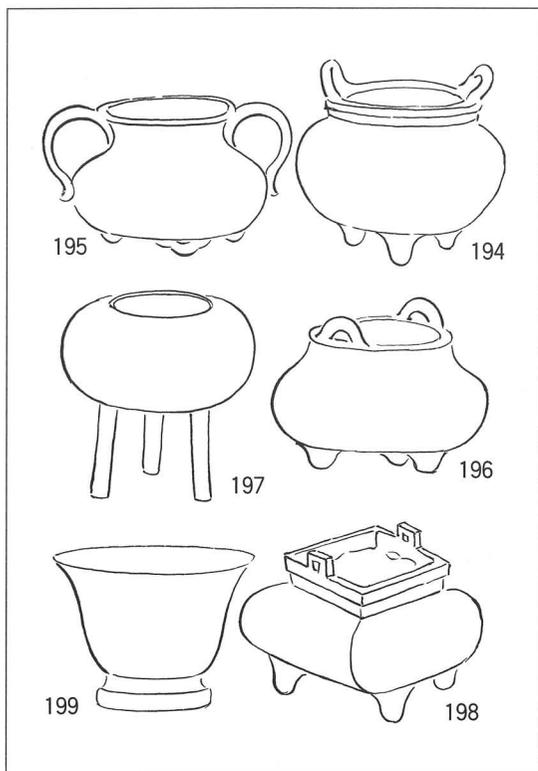


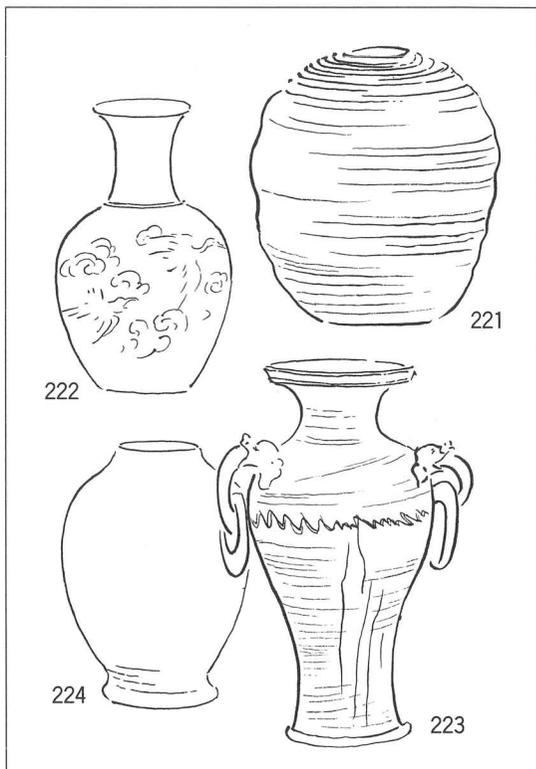
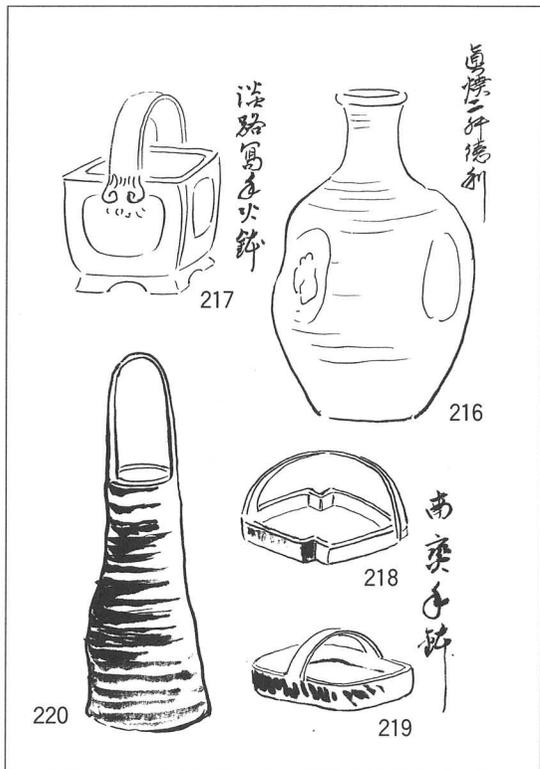


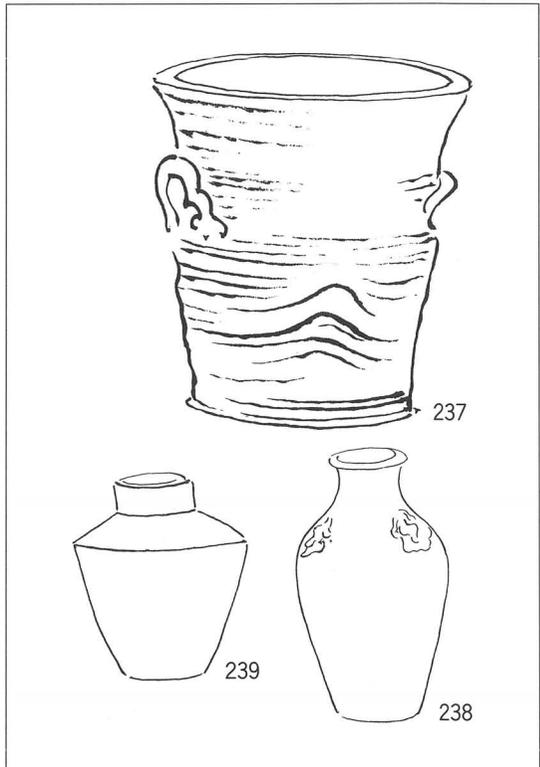
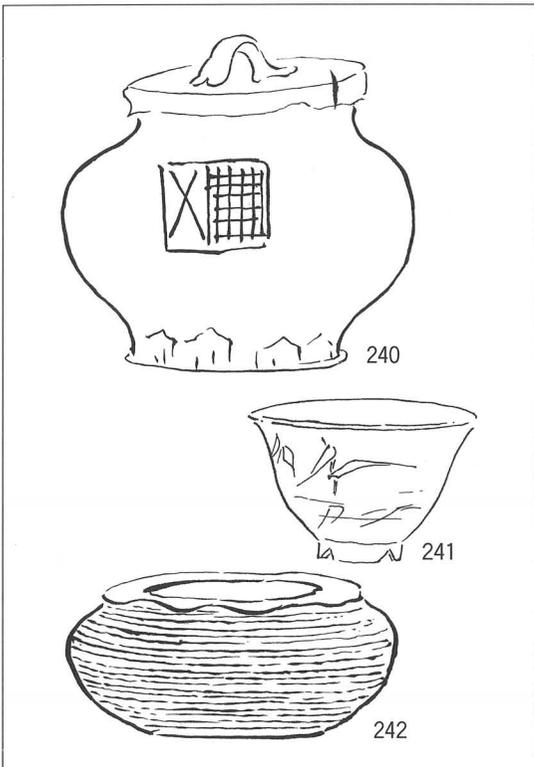
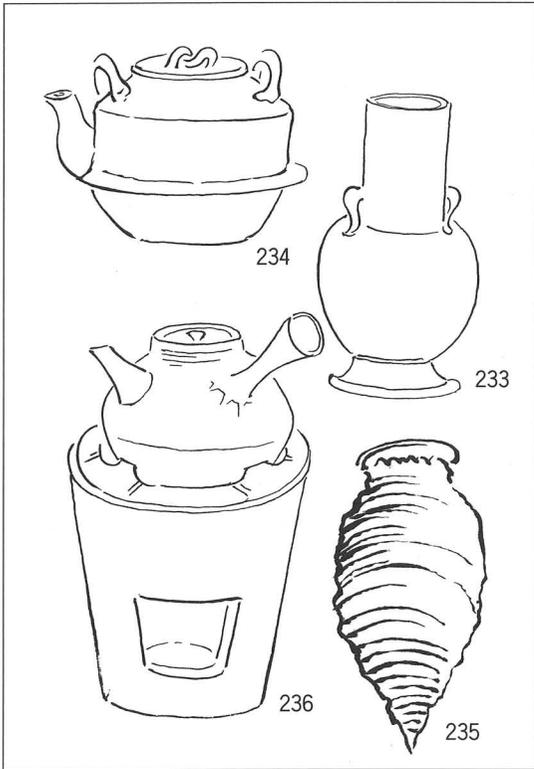


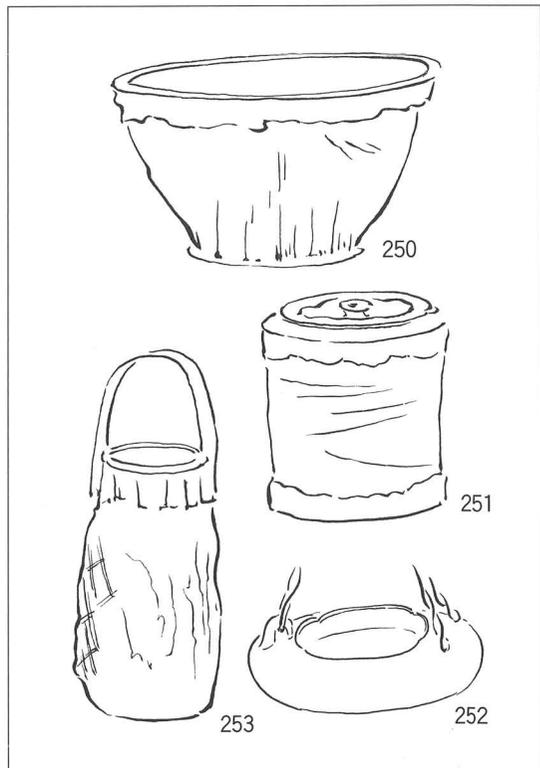
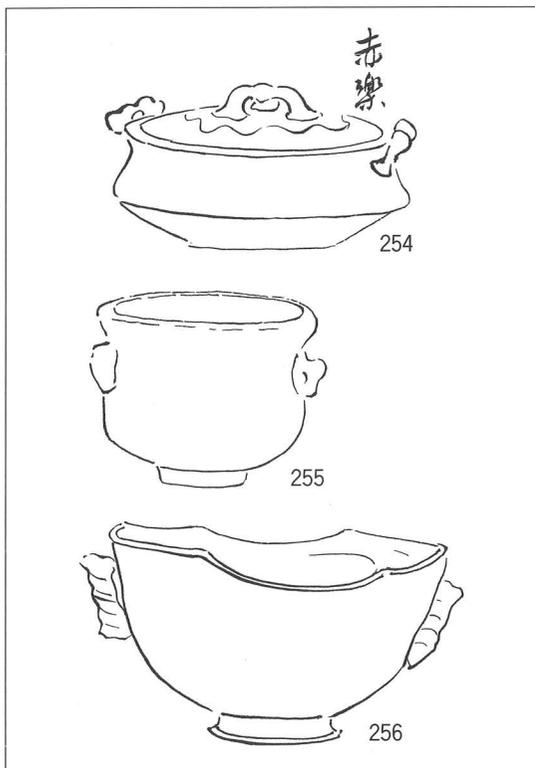
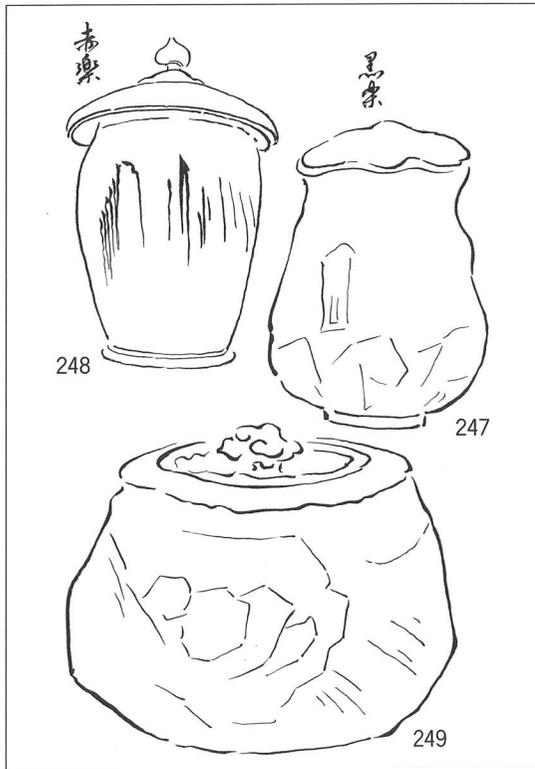


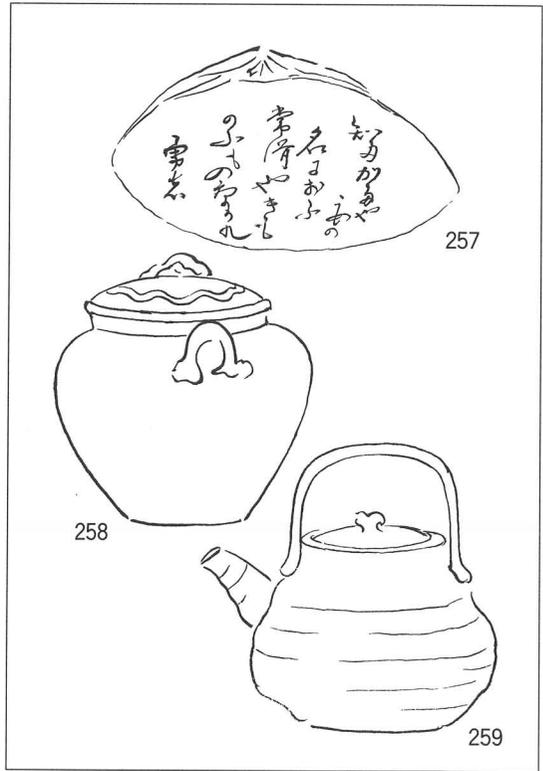
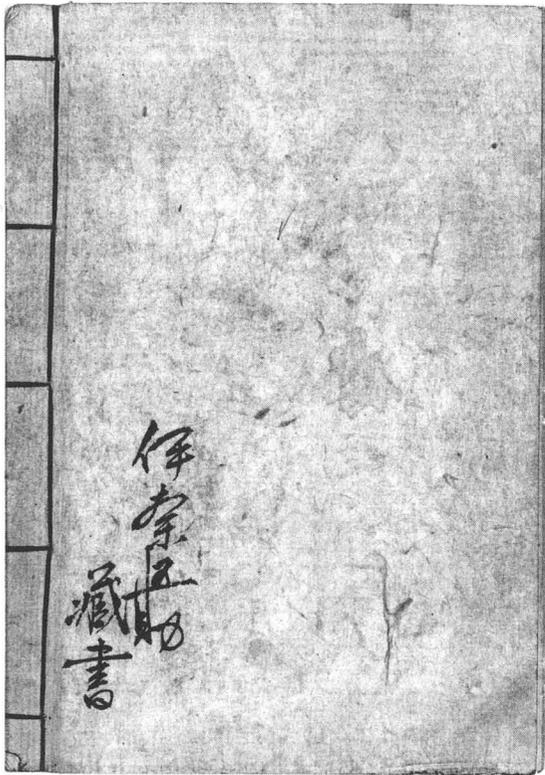












※連番は、本書作成時に入れたものである。写本のコピーをもとに作成したため、順番が元本と多少異なっている場合がある。

## 常滑陶彫会について

常滑の陶芸界では陶彫という言葉が、ごく普通の言葉として使われ続けている。それは陶器で作った彫刻の意味であるが、多くは具象彫刻を指し、前衛陶芸で多く制作される抽象的作品は陶彫の中に含めない事のほうが多い。

常滑においては西洋彫刻をラグーザに学んだ内藤鶴嶺・寺内信一が明治十六年以降に陶製の塑像を制作している。ただ、それを陶彫という形で特化させているような資料には接していない。この陶彫という言葉は国語辞書などにはなく、陶器辞典の部類にも掲載されていない言葉である。もともと大正期にフランスのセーブル陶磁器製造所に学んだ沼田一雅は、帰国後に陶彫作品を中央で発表し、日本陶彫会を戦前に組織している。常滑における陶彫の確立は、そうした沼田一雅らの動きに連動していると思われる。

ここに紹介する『常滑陶彫会記録』は常滑の陶彫会の設立状況を具体的に知ることができる資料である。片岡静観氏が保管していた資料で昭和二十六年十月と表紙にあるものである。

常滑陶彫会は昭和二十六年の十月一日に常滑陶磁器協同組合の二階で出席者四十名をもって懇談会兼発会を開催し、名称を常滑陶彫会とし、会長に坂田芳信を選出、会長を含む八名の委員と六名の幹事、さらに一名の会計書記を選出し、文化の日に展覧会を開くことを決めている。その後、同年十月六日には顧問として伊奈長三郎、富浦長雄、八木虎雄、柴山三郎の四名の

名を挙げている。富浦・八木がその当時の輸出用陶磁器工場の経営者であったことは注目するべきであろう。また同年十月十七日には伊奈辰次郎、水野由吉、伊奈四郎、小出弘、小島貞一郎を参与に内定している。

昭和二十六年十一月二十日の役員会では日本陶彫会の古賀忠雄氏を迎える議題が出ており、会長と柴山委員がアトリエを訪問して常滑での指導を依頼した様子をうかがうことができる。

古賀氏は佐賀県の出身で、有田の学校で陶磁器の知識を得た後に東京美術学校で彫刻を学んだ人物で日展の審査員を務め、日本陶彫会の委員長という肩書きを持つ、その当時の最有力者ということになる。その年の十二月に古賀氏来常で常滑陶彫会を会をあげて歓迎の宴をはった。古賀氏は常滑の状況に満足したようで翌年六月には常滑で作品を制作することになっている。

昭和二十七年の十一月になると坂田会長の辞意を受けて杉江滄軒氏が二代目会長となり、役員も大きく変わっている。そして、同年暮れには輸出陶磁器原型展への出品が会に要請されているところに会を取り巻く状況を見ることができるといえる。

会の活動の中心は秋の作品展にあり、また研修会などを活発に企画して昭和三十年まで続いている。三十年一月五日新年懇親会の記録のあと記載が途切れ、昭和三十九年一月二十四日に改めて記載が始まるが、前会長である片岡武正氏の永眠を記録する内容で、二月九日には片岡静観会長、井上美邦副会長の決定が記録されている。そして、昭和四十四年三月十三日の春の総会で記述が終わっている。

昭和二十六年十月一日

# 常滑陶彫會記録

昭和二十六年十月一日

## 懇談会兼発会

出席者 四十名

於常滑陶磁器工業協同組合二階

開 午後八時  
閉 午後十時四十五分

發起人を代表して杉江湊軒氏陶彫の必要性を説き、次を坂田芳信氏抱負を述べ、満場の賛同を得て仮称常滑陶彫会の発会に移り、会長を委する。幹事の会計書記を夫々選任、会則案を提出し、之を審議決定し、第一回展覧会の開催について多数あるべき存打合せして散会す。

決意の項

昭和二十六年十月一日

## 常滑陶彫會記録

### §

昭和二十六年十月一日

### 懇談会兼発会

出席者四十名

於常滑陶磁器工業協同組合二階

開 午後八時

閉 午後十時四十五分

發起人を代表して杉江湊軒氏陶彫の必要性を説き、次いで坂田芳信氏抱負を述べ、満場の賛同を得て仮称常滑陶彫会の発会に移り、会長委員、幹事、会計書記を夫々選任、会則案を提出し、之を審議決定し、第一回展覧会の開催について多数出品される様打合せして散会す

### 決定事項

### §

- 一、名称 常滑陶彫會
  - 一、会長 坂田芳信氏 (委員互選)
  - 一、委員 坂田芳信氏、杉江湊軒氏、水上水玉氏、柴山清風氏、伊奈重孝氏、片岡静観氏、石川秋之助氏、井上美邦氏 以上八名
- (議長杉江湊軒氏指名)
- 一、幹事 前川實氏、桑山護朗氏、堀田三郎氏

大西元勝氏、伊藤高夫氏、鯉江七太郎氏

(以上六名 会長氏名)

- 一、会計書記 杉江弘一氏(会長指名)

§

- 一、会則 会員名簿を印刷配布

- 一、文化の日(十一月三日) 展覧会を開催する

以上

昭和廿六年十月六日

役員会

出席者十四名 杉江瀚軒氏 病欠

於石川秋之助委員宅 開午後七時三十分 閉午後十時

陶彫会の相談役依頼の件、展覧会作品の範囲搬入日及常滑陶彫会正式発表及文化部及文化協会への連絡交渉等協議し散会す

決定事項

§

- 一、相談役の人選を富浦長雄氏に依頼する。

- 一、常滑タイムズ社・中部新聞社に展覧会(発会記念第一回) 及入会案内の紙面発表を依頼する。

- 一、会員名簿の作成を急ぐ(幹事地区割分担) 入会の意志を確める。

- 一、展覧会作品の範囲は自由、点数無制限、搬入十一月二日 午前中

以上

昭和廿六年十月九日

緊急委員会

全員出席

§

於石川委員宅

開午後七時

閉午後十時五十分

回章にて緊急招集す

議題

- 一、十一月文化祭の件十月十一日常滑町役場に於て委員会を開くため出席の件

- 一、顧問、賛助員決定の件

- 一、展覧会の件

原案を修正顧問四名、賛助員六十二名を決定

- 一、顧問 伊奈長三郎氏、富浦長雄氏 八木

§

虎雄氏、柴山三郎氏 以上四名

- 一、賛助員 船井末吉氏以下六十二名に依頼文を添え顧問、委員連名にてお願する。

- 顧問の承諾には坂田、杉江、水上の三委員之に当る
- 一、委員会で弐万円を農協より借入を決定、総会に図りたる

後実行する。

昭和廿六年十月十七日

以上

§

臨時総会

出席者 二十九名

於工協二階

開午後七時 閉午後十時

議題

- 一、事業計画について
- 一、顧問、賛助員決定について
- 一、展覧会には奮って出品する様申合せ作品の搬入は十一月二日午前中、会期は三日、四日とし四日午後鑑賞会を催し終了後搬出全員で後始末する。
- 四日午後七時より顧問、参与を招いて懇談会を

§

開催する。

展覧会場用布は町が購入する旨と助成金として金伍仟圓也を支出される旨会長より報告。

展覧会場の生花及会場係、ポスター係を決定

会場係（会長）ポスター係（石川委員）会期中に於ける会場当番は案を作成し連絡する。

- 一、事業計画は役員会に於て立案する。
  - 一、顧問、参与を置く件会員全員の諒解を得た。
  - 一、展覧会場当番の了解を得た。
- 以上

昭和廿六年十月十八日

§

委員会

全員出席

於石川秋之助委員宅

開七時 閉十時三十分

展覧会及顧問、賛助員再検討の件

顧問を再検討の結果、伊奈長三郎氏、富浦長雄氏、八木虎雄氏、柴山三郎氏の四氏とすることを確認し参与を依頼することとし左の五氏を内定す

伊奈辰次郎氏、水野由吉氏、伊奈四郎氏、小出弘氏  
小島貞一郎氏

展覧会に於ける役割を次の如く決定す。

§

一、展覧会場係（接待）

イ、三日午前 伊奈委員、杉江委員、片岡委員

堀田幹事 桑山幹事

福田健治氏、森田正治氏

ロ、三日午後 柴山委員、水上委員、井上委員、大西幹事、

鯉江幹事、柴山庄三氏、澤田豊男氏

ハ、四日午前 坂田会長、石川委員、前川幹事

伊藤幹事、杉江木仙氏、井上裕二氏

ニ、搬入 二日午前中 会場は全員にて設営する

§

三、鑑賞会は午後から行い搬出後始末を全員にて行う

四、湯茶は柴山清風委員宅にてお願する

五、ポスターは石川委員宅にて作成する。(手伝い得る役員は出て協同作成に当る)

六、展覧会開催案内状は顧問、参与、賛助員、縣會議員、(郡内)半田市長、代議士、県庁、瀬戸市、縣商工館に發送する。  
七、賛助員依頼状を印刷する

昭和廿六年十月三十日

§

役員会

欠 前川幹事

於石川委員宅 開 午後七時三十分 閉午後十一時

展覧会案内状(賛助員)への發送は各役員に於て夫々分担届けることとしポスター掲示と共に配付す

会場陳列用布は陶彫会独自で作ることとし西浦町久田慶三氏、

久田仁一郎氏の両氏に寄附をお願することとし委員杉江、片岡両氏外数有志が当ることに決す

町よりの助成金については諸般の情勢を研究するため静観することに決す

§

昭和廿六年十一月二日(旧女学校二階東一室)

展覧会場準備 二日午前八時三十分

三日午前一時三十分(ママ)

会場は陳列用台(机)の配置を終り午後より搬入品の展示を始め飾付けを終了せるも花の生けられるのが遅れ之を終るを待ち散会す

○注 会場用白布は左の寄附を受ける

久田慶三氏 四〇ヤール

久田仁一郎氏 二〇ヤール 以上

昭和二十六年十一月三日

展覧会(第一日) 開場 午前八時 閉場午後五時

§

展覧会場は午前より午後に至り観展者の数は激増し非常な賑いを呈す、会場の陳列その他についても纏りよく好評あり

顧問、参与、賛助員の大半が観展せられ茶菓の接待をなす。

出品点数 五十五点 以上

昭和二十六年十一月四日

展覧会及観賞会 於旧女学校会場

懇談会 於工協組二階

展覧会(第二日)この日名陶凶案部長堀口氏の観展

§

批評あり会場は前日に比し観展者は少なかった。

午後三時閉会し、会長、諸委員を囲んで各作品について観賞批評を行う

懇談会は午後七時より十時までで行う

顧問伊奈長三郎氏、富浦長雄氏、柴山三郎氏

参与伊奈辰次郎氏、水野由吉氏、小島貞一郎氏、小出弘氏

来賓 堀口氏 全員出席者二十三名

堀口氏から内外の諸情勢について聞き更に作家の目標について話され会員に深い感銘を与えた

§

伊奈顧問からは

陶器の産地として常滑は彫刻が取入れられている方であるがその必要性は大きいから更に努力されて展覧会などにはどしどし出品し中央の水準に達してほしい町として輸送その他について援助することも考えている。但し彫刻家となつて上京する様になつてもらいたくない水準に達した腕でもって産業のために尽してもらいたいとの挨拶があり富浦顧問からは昨年の彫刻技術伝習講習会生の行った展覧会

§

より低調だから更に努力される様激励の言葉があり続いて柴山顧問・伊奈参与、水野参与からも種々の話があり懇談会を終る尚この後会として日展入選者の祝賀会を催す旨を図り全員の承諾を得 散会す

昭和二十六年十一月八日

以上

役員会 開 午後七時 閉 午後十一時三十分

於柴山清風委員宅

§

議題

一、日展入選者祝賀の件

一、水野由吉氏返金の件

一、春期展覧会開催の件

右議案を審議し

1、日展入選者祝賀懇談会の件は片岡、伊奈両委員及伊藤幹事から辞退する旨申出あり

協議の結果申出を了として一応取止めることとす

2、水野由吉氏よりの寄附金參阡圓也は同氏が文化委員長であり諸般の情勢からして一応お返しするのが至当である旨会長より説明 これを妥当

§

として会長及片岡委員の両氏が返金に当ることに決す

3、春期展覧会（第二回）を三、四、五月の間に開催することに決す

4、陶彫の基礎教育及技法の研究会を開催する必要性を認めこれを計画実行に移す

昭和二十六年十一月二十日

以上

役員会

開午後七時 閉午後十二時

於石川委員宅

§

- 一、会員名簿作成の件
  - 一、祝賀会の件
  - 一、古賀忠雄先生を迎える件
- 右議案に対し

一、日本陶彫会古賀忠雄先生本月末乃至来月初めに來常されるものと見て会員には事前に案内を配りこの徹底を図り尚緊急なる場合に対する

案内状も案を作成し井上委員に印刷方依頼し二様に方法とし急なる場合の用意をなす

古賀先生來常に伴う行事予定は

§

- 1、先生を囲む座談会 夜 組合二階
- 2、〃 懇談会（食事付）〃

（会員有志、顧問、参与）

古賀先生の希望により來常後直ちに常滑の状況を視察願うべく会長が之に當る

先生を出迎すること及び受入準備金は特志（ママ）寄附を仰ぐこととし具体的には決定せず 但し謝礼、車馬賃、宿泊料等合せて壹万円位要するものとの見解に達す

（註）古賀先生が名実共に日本の最も有力な

§

彫刻家であり陶彫についての面ではこれ以上の人はないと會長と行を共にして古賀先生のアトリエを訪れた柴山委員の感想あり。

二、会員名簿作成の件

会員名簿（規約刷込）作成に当り会員の氏名住所の的確を期するための幹事は分担して連絡に当り結果を書記まで通知する。書記は全部を取纏め印刷の手配をする。

三、祝賀会の件

入選者に対する祝賀会は杉江木仙氏、浅井樂然

§

氏等の白日会入選等もあつてこれも入れるべきだとの声あり、再検討を加えたが結局入選者の辞退により祝賀会は取止めることとし懇談会の席に於て披露祝辞に止めることに決定。

以上

昭和廿六年十二月二日

古賀忠雄先生を囲む懇談会

開会 六時 閉会 七時半

常滑陶磁器工業協同組合二階 出席者四十名

日展審査員（芸術院賞受賞者）美術作家連盟常任委員、日本彫刻家連盟委員、日本陶彫会委員長

§

古賀先生を囲む座談会を開催す

古賀先生は九州からの帰途来常するとの電報を会長宛に発したので十二月一日午前九時名古屋着の古賀先生を会長が出迎え正午常滑着直ちに会長宅に入り少憩の後富浦、日本陶業、秘色焼を視察し同夜泉屋に宿泊す 二日午前中各委員を訪問 午後六時懇談会に臨む

この日正午杉江委員宅に全委員会合し先生と会食す。

以上

§

右同日

歓迎会

午後八時 午後十一時

於泉屋

出席者二十八名

先生を囲む懇談会を終り席を泉屋に移し歓迎会を催す出席者二十八名 費百五十圓

顧問富浦、八木、参与伊奈四郎（伊奈辰次郎氏急用の為欠席）の各氏が出席歓迎はすみ各氏の寄書をして閉会す

以上

古賀先生見送り

§

古賀先生予定を延し四日帰京す委員外駅まで見送る会を代表

して会長及柴山委員名古屋駅まで送る。尚三日夜は富浦顧問が丸久に招き食事（会食）及宿泊料を負担す 謝礼及車馬賃を先生に会より賜る

以上

昭和二十六年十二月六日

役員会

午後七時 午後十二時

於 石川委員宅

出席者 十一名

一、古賀忠雄先生に関わる経費の件

§

一、新年懇親会の件

古賀忠雄先生に要したる費用の会計報告をなす（約壹萬伍仟圓）これが捻出方法は顧問及参与に寄附を御願することとし委員夫々分担して訪問することに決す（寄附帳石川委員寄附） 新年懇親会を明春一月五日に開催することに決す 今後の事業計画については時間の関係上持越す 事業経費の捻出については会員より集め足らざる分を対外的に求めるべきだとの意見が出たが会員から求むるは無理だとし取敢ず顧問及参与

§

の内許される方々より寄附を仰ぐことに落着す 会費の増額及び手持金の経費充当は今後に持越すことに意見の一致を見る

会としてその運営に支障を来さない程度の補充は必要なりとの意見が多数。

◎ 古賀先生の希望により同先生に送る土は陶彫会の名に於て一箱送ることに決定す。

以上

昭和二十七年一月十二日

新年懇親会

開会午後六時 閉会午後十一時

§

於 柴山委員宅 出席者 十三名

陶彫会本年の事業計画について検討しながら顧問、参与を混えての新年懇親会を開く出席者富浦顧問、八木顧問、伊奈辰次郎、水野由吉、小島三参与、委員坂田、柴山、石川、井上、水上、鯉江幹事 大西幹事及杉江書記の十三名なり

以上

昭和二十七年一月二十四日

委員会 開会 午後七時 閉会 午後十一時

於片岡静観委員宅

§

議題 一、古賀忠雄先生来常の件

二、展覧会の件

三、総会開催の件

右議題を審議したる結果次の如く決定す

一、春期総会を二月十日頃開催する

二、古賀先生制作の為来常の希望ありお待ちすると返事を出す(会長通信) 先生来常の折は会長宅に落付き宿所及制作所の希望を聞き乍役員会食し相談する

四、展覧会は五月十五日前後に開催すべく総会に図

§

るこの出品物はなるべく完成品とする

以上

昭和二十七年四月五日

役員会 開会 七時半 閉会 十一時

於 水上委員宅

春期総会延々となりたるため総会の件、展覧会の件及東京の日本陶彫展出品の件に関する事項に付上京せし柴山清風委員より説明あり次の如く諸事項を決定して散会す

一、展覧会は六月十日頃開催する

§

二、春期総会を四月十一日午後七時半より常滑陶磁器工業協同組合二階に於て開催する。

三、東京三越に於ける日本陶彫展は本会展覧会開催後推薦出品とする。

四、春期総会開催案内状に次期会費五ヶ月分を納入せられる

様刷込むこと

昭和二十七年四月十一日

以上

春期総会

開会 午後七時半 閉会 午後十時

於 工業協同組合二階

出席者 二十六名

§

展覽会の件外を協議し次の諸事項を決定す

- 一、第二回陶彫展を六月中旬開催することに万場(ママ)一致決定す会場時日については決定次第通知する。
- 二、日本陶彫展推薦出品は出来得る限り多くすることとし推薦に關しては会長に一任する。
- 三、モデルその他を使用する研究会は展覽會後に行うこととし具体的な計画は役員會に於て立案の上実行に移す
- 四、新會員に會長より山田嘉一郎氏の入會を發表す
- 五、古賀先生が日本陶彫展出品作品制作の爲五月に

§

來常したい希望ある爲先生來常の折に於ける制作見學その他については會員の希望を入れていただくべく願する。

- 六、陶器館主事竹内俊成氏より岐阜笠松刑務所の前に建てる噴水塔について依頼する旨の書簡を陶彫會に於て納められないかとの相談あり協議せる結果桑山護朗氏に納入方を依頼することにする

昭和二十七年五月十四日

以上

役員會

出席者八名

§

於伊奈重孝委員宅

展覽會期日決定の件及実施方法について協議し左の事項を決定す

- 一、展覽會は工芸會(六月二十八、九日開催予定)と連絡し了解を得れば合同展を開催する。この際主催は合同とし搬入日時は展覽會前日午後一時より受付ける。場所は出品点数余り多くないとの予想にて陶器館にて可なりとの見解に一致す

工芸會との交渉には會長が當ることとし開催について諸事項決定せば案内狀を會員に出し(案内狀

§

には出品点数記入欄を設く)幹事は出品点数を分担区分により取纏めこれを集計して出品点数を把握する。

- 二、展覽會期日前に役員會を開く この役員會に於て賛助員その他に發する案内狀及目錄その他を作成準備する。
- 三、陶彫會定例役員會を毎月開くべく杉江瀟軒委員より發言あり協議せるも結論を得ず次回に持ち越すことになり

以上

§

昭和二十七年五月二十三日

役員会

於 柴山清風委員宅

展覧会開催について工芸会長（本会顧問）八木虎雄氏との交渉について会長より発表あり尚モデルを使用する研究会の主旨と同じく高等学校に於て成人講座が開講される可能性があるので陶彫会では之れに参加するか否かを協議す。

一、合同試作展の件円満了解に達す（会期予定通り）

二、成人講座の開講を促進すべく協力する。

§

三、会の補助金交附申請手続をとる。

以上

昭和二十七年六月九日

緊急役員会

於 杉江瀚軒委員宅

出席者八名

古賀忠雄先生より来常する旨の書簡（坂田、杉江瀚軒、柴山清風三氏宛）に接し出発日十日とありたる為受入態勢協議のため緊急役員会を招集

一、古賀先生来着後希望される場所に於て制作願う旨を再確認

した

二、古賀先生に要する費用の準備金として壹萬圓

§

を伴うこと。

一、古賀先生及展覧会費用に充当するため臨時会費

一人当壹百圓也を徴集する。

一、古賀先生に会員の作品批評及制作見学をお願いする。

一、第二回陶彫展は工芸会と合同して七月十三、十四日の二日間陶器館二階に於て開催する。

一、作品搬入は十二日午後一時より受け付ける（場所会場）

一、顧問及参与に依頼する寄附は会長、杉江、水上、柴山、

片岡、井上の六委員が当る依頼先は柴山

§

顧問、八木顧問、水野参与、小島参与の四氏とする

一、古賀先生来常後折を見て賛助員及会員有志を以て懇談会を開催する（会費貳百五十拾圓にて折詰及酒一本）

一、会員の古賀先生を囲む座談会を開催する

一、成人講座を七月展覧会後に開講する。

寄附 柴山委員 金四百圓也（古賀先生送付粘土代）  
杉江委員 親子井拾杯（緊急役員会夕食代）

出席者 杉江、坂田、柴山各委員。大西、桑山幹事

杉江書記

以上

§

昭和二十七年六月十八日

役員会 出席者 九名

於 片岡静観委員宅

坂田、伊奈、片岡、石川、井上、柴山各委員

大西、桑山各幹事、杉江書記

古賀先生に関する諸問題を協議し左の如く決定

- 一、謝礼の意味で先生制作中に要した費用は好意を謝し金貳円圓也(自動車、電車、汽車賃)の寄附を亨く
- 一、会の基金を作る為八木、柴山顧問、小島、水野参与

§

に寄附願方実行に移す

- 一、会員に対しても別の寄附帳を廻し応分の寄附を募る
- この使途は古賀先生及展覽会費に充当する

以上

古賀先生来常中に於ける行事

昭和二十七年六月十四日午後七時—午後十時

- 一、古賀忠雄先生を囲む座談会

於工業協同組合二階

昭和二十七年六月十七日午後一時より

- 二、古賀先生制作中を見学

於柴山清風委員宅

- 七、古賀先生を囲む懇談会

(会費二百五十圓也夕食酒付)

賛助員及会員有志 四十四名

於工業協同組合二階

以上

昭和二十七年七月四日

役員会

於 片岡静観委員宅

§

合同試作展諸問題を協議す

八木工芸会会長より連絡ありたる七月十日合同試作展打合せについて会より提案する案の作成に当る

案

- 一、試作展に要する経費は工芸会と半々とする
- 二、試作展の後援を町及工業協同組合に依頼する
- 三、案内状発送先の重複を避けるため打合せをする
- 四、賞はつけないこととする。
- 五、審査員は依頼しない。
- 六、会場の生花を依頼する。

§

- 七、作品の搬入は七月十二日午後一時よりとしこれに四名出席

する。

八、搬出は七月十四日午後四時からとする。

九、会期中の開閉場時間を十三日午前九時より午後六時とし十

四日午前九時より午後四時までとする

以上

昭和二十七年七月十日

合同打合せ

於聚彩倶楽部 出席者 七名

杉江、柴山、片岡、石川、井上各委員

伊藤幹事、杉江書記

§

合同試作展開催の為の諸事項を協議し次のことを決定す

一、会期 七月十三日 午前九時—午後六時

七月十四日 午前九時—午後四時—搬出

二、搬出 七月十二日午後一時より各四名出席受付及会場設営

する。

三、花 八—十杯の生花を片岡委員より竹内礼氏に依頼する。

四、会場 陶器館二階及陶管組合も借用する

五、案内状 十一日中印刷終り十二日発送到着する如く投函す

る 印刷は平和堂に依頼する（私製はがき）

六、当番 会期中各一名宛出席半日交替とする。

§

七、呈茶 冷茶、菓子の準備をする。菓子は五百圓也

八、ポスター 本打合会場に於て合同製作し分担して持帰り貼

ることとした。

以上

陶彫陶芸試作展

会期 昭和二十七年七月十三日・十四日 於陶器館二階

会場当番 坂田、石川、杉江、水上、伊奈、片岡、井上

柴山各委員 大西幹事 杉江書記

出品物の陳列は工芸会と合併配列し観覧者も予想以上で盛  
会であった。

§

以上

昭和二十七年七月三十一日

役員会

於片岡静観委員宅

委員 坂田、杉江、柴山、井上、片岡、石川

幹事 鯉江、桑山、前川、杉江書記

一、本会運営の円滑明朗化を図るため過去を省み今後に対処  
する方針を協議す

二、古賀先生に関する経費の捻出方を検討し今回は他に依存す  
ることなく不足分を役員にて負担することとする 但し

伊藤幹事は対照外とする

§

今席に於て

- 一、金參阡圓也 杉江瀚軒委員
- 一、金貳阡圓也 石川秋之助委員
- 一、金五百圓也 井上美邦委員

以上の寄附金申出を深謝し受入れることに決議余の不  
 足額を残りの役員に振割りたる結果一人當一金三百五拾  
 圓也宛となる

昭和二十七年八月十日

緊急役員会

出席拾名

§

於杉江瀚軒委員宅

- 委員 杉江、石川、片岡、伊奈、井上
- 幹事 前川、桑山、大西、鯉江、杉江書記

坂田会長より会長の辞意表明ありたるため前後策(ママ)を協議  
 す。

この結果会長留任方を懇請することに一決、この交渉には石川、  
 片岡、井上各委員及前川幹事の四氏が当ることに決す

注 この結果辞意撤回す

昭和二十七年九月二十七日

以上

§

役員会

出席者拾名

於水上水玉委員宅

- 委員 坂田、片岡、水上、井上、柴山、杉江
- 幹事 大西、鯉江、前川、杉江書記

町文化祭協賛会長より文化祭協賛展に関する打合せ会出席の依  
 頼ありたるため 役員会を招集す

陶彫会としては第三回陶彫展を文化祭に協賛し行うことを申合  
 せ 打合会には坂田会長出席することとし散会す

以上

§

昭和廿七年十月拾日

役員会

出席者 拾名

於 柴山清風委員宅

- 坂田、杉江、水上、柴山、井上、片岡委員
- 大西、鯉江、前川、桑山幹事 杉江書記

先に町役場に於て打合せせるも組合の運動により縣主催による  
 常滑陶業振興展を開催することになりたるため、会長組合に招  
 かれ縣及各組合工芸会、陶彫会と合同協議の結果左の諸事項を  
 決定したにて会長より発表す。

一、振興展には名古屋通産局長賞、知事賞、縣

§

議会議長賞、窯業協議会々々長賞、常滑町長賞  
振興賞等の褒賞がある。

一、第一部 一般の部、第二部 衛生建陶部 第三部

工芸部、第四部 陶彫部

一、出品目録作成提出（組合）

一、会期十一月一、二、三日

一、会場 常滑小学校（旧女学校階下）

右の如くなりたるため本陶彫会は左に準じ

一、搬入日時 十月三十日午後一時―四時

一、審査 十月三十一日午後（午前陳列）

§

一、懇談会 十一月五日午後七時より組合二階

尚展覽会諸準備として陳列用幕を役場より借用する（七〇ヤ-

ル）

装飾用テープ、万国旗の購入

会場用生花 拾杯を交渉する 大西、片岡担任

湯茶及菓子 昨年同様

ポスター 用紙を購入し石川委員に依頼

以上

昭和二十七年十月二十五日

役員会 出席者

§

於杉江瀚軒委員宅

展覽会も迫り最後の打合せを行う

一、ポスターを各役員に割当て貼付を依頼す

一、展覽会役割

三十日 搬入受付、設営には全役員出席

三十一日 陳列 午前九時までに委員出席

一日 午前当番 杉江委員、杉江書記

午後当番 水上委員 桑山幹事

二日 午前当番 石川委員 鯉江委員

午後当番 坂田委員 森田正次氏

§

三日 午前当番 片岡委員 井上裕二氏

二、宿直の件 貴重品は毎日持帰ること

宿直は行わない

三、出品目録 二十八日迄に組合参事小出氏まで提出する如く

要請されているが三十日午後五時までに提出す

る如く交渉する。

四、生花 片岡社中拾杯、竹内社中五杯依頼

謝礼は一杯五拾圓とする。

五、会賞 会賞を出したらとの案により（努力賞）につい

て会長に任せる

§

審査の内審についても会長一任

以上

昭和二十七年十一月一、二、三日

文化祭 常滑陶業振興展 第三回陶彫展 於小学校

展覧会は文化祭の諸行事就中学校体育館の落成式など行われ

参観者も多く予想以上の成果を収めて終る

参観者芳名簿作成保管す

以上

昭和二十七年十一月五日

懇談会

出席者 五名

§

於工業組合二階

本懇談会の案内状は展覧会作品搬入案内に刷込んだため早きに失したるに合せ天候頗る悪く出席者は僅かに五名のため懇談会は流会となる

以上

昭和二十七年

役員会

於杉江湊軒委員宅

定期総会開催するにつき原案を練る

一 事業報告(会計報告)

二 会則一部変更の件(副会長を一名置く)

三 委員改選の件

四 会長互選の件

五 幹事選出の件

六 参与に刑部武雄高校長推薦の件

尚総会に於て次期展覧会を公募展とするかどうかを問る

伊奈伍助氏を会に何かの名に於て御協力願うこととする意見

が述べられたが杉江、水上両委員に一任する

以上

§

昭和廿七年十一月二十一日

定期総会

於工業組合二階

一 事業報告 会長より

二 会計報告

三 会則一部変更の件 副会長一名 会計一名 書記一名

四 参与刑部武雄を加うを満場一致

五 委員は留任とし今後委員会の推薦する委員を認める。

六 伊奈伍助氏の件につきては結論を得ず再び杉江

§

水上両委員に一任する。

七 会員整理案出するも当分見送ることとする。

八 会長は委員会の互選に依り杉江委員と決定

九 副会長は委員会の互選の結果伊奈委員と決定

以上

(投票結果は同数となるも年長をとるとの交渉先に

決めありたるため片岡委員を下位とした)

十 幹事は会長の指名に依り決することとなり

幹事、井上裕二、前川実、大西元勝、鯉江七太郎

渡辺純治、福田健治、森田正次

会計 武山忠資

§

書記 杉江弘一

右諸事項を決定散会す

以上

昭和二十七年十二月二十五日

新旧役員会

於 杉江会長宅 出席者十六名 欠席桑山、前川氏

新旧役員会を行い会長一期の労を謝する意味にて忘年会を兼ね

夕食付(会費二百圓)にて役員会を開催す

旧会長坂田委員に菓子一箱を贈り御礼の証

§

とした。

桑山幹事(旧)より忌により出席出来ない為に欠席する旨連絡

ありカマボコを贈らる同席に於て一同賞味す。

この日は種々座談し散会す

昭和二十八年一月二十日

以上

役員会

出席者 十三名

於 杉江会長宅

委員杉江、伊奈、坂田、水上、片岡、柴山、井上

幹事渡辺、大西、福田、井上、武山、杉江

§

春期総会の件及第三回輸出陶磁器原型展について協議せる結

果左の諸事項を決める

一、春期定期総会を一月二十六日頃開催する

右総会に次の催しをする。

1 トーキョー幻灯(アンデルセンの瓶の旅行)

2 フランス風俗服飾図譜の展示(商工館所蔵)

一、第三回輸出陶磁器原型募集並に展示会の件について総会

に於て発表すると共に要領について印刷配付する。

一、参考となる図書をアメリカ図書館より借入る。

§

一、本年度の春の展覧会を五―六月中に開催する如く

総会に図る。

一、四月中に東山動物園に写生に行く。

以上

昭和廿八年一月二十六日

春期定期総会

出席者 二十九名

小島、伊奈参与出席

於工協組合二階

一、輸出原型展作品応募の要請についてその製作を依頼す

一、東山動物園写真会については四月中に行うこととし日取決定次第通知する。

定次第通知する。

§

一、春期展覧会を「第四会陶彫展」行うことを申合せ

この日フランス服飾図譜の回覧及トーキー幻灯を観賞した後散会す。

以上

昭和二十八年二月二十二日

役員会

於杉江会長宅

輸出原型展作品取纏めの方法及東山写真会、三・四月行事予定を協議す

一、文化団体報告の件について役場より要請あり報告する。

一、原型展出品申込書（配付済）を各幹部が集めて会長まで

§

報告する。

一、柴山委員より提案せられたる着想の心身を養う見地より三

月に短歌の話を小泉頼二氏に依頼す日時十五日頃四月に健

康の話を中野景德氏にお願する予定とす。

一、東山写真会を四月六日に行うことに決定

出席者 委員 杉江、水上、柴山、井上

幹事 大西、井上、武山、杉江

以上

昭和二十八年三月十六日

役員会 於会長宅

出席者 杉江、片岡、井上、伊奈委員

渡辺、鯉江、森田、福田、杉江

§

会員の着想心を養う行事の瀬踏として小泉頼二氏の短歌の話を聴く会を開く

小泉氏より齊藤茂吉氏の短歌について幾句かが聞かれ何にしても作る動機と着想について特に技巧をこらしたら良い感じのものは作れない。素直に正確にものをつかむことが必要だとのことであった。

この後役員会は試験場より話のあった場費残金でモデル写真会を催したらとの話は確認に上方法を講ずることとする。東山動物園写真会を四月六日行うため朝駅前集合とし雨天の場合は中止することを再確認する。

§

以上

昭和二十八年四月六日

東山動物園写生会

参加者 会長外一名、塚越、武山、福田、岩橋

森田、水野、杉江、渡辺

午前七時半常滑駅に集合し東山に向う。動物園事務所に於て製作台を借用、写真帳をもらって出席者に分つ。この日天候は曇後雨となり作るには悪条件となったが全員熱心に写生を行い午後三時半出園す。

会員外参加者として富浦製陶所より山中、鈴木両君が参加せられた。

以上

§

昭和二十八年五月八日

役員会 於会長宅

四 第四回陶彫試作展について協議せる結果

一、日時 六月十四・十五日

一、搬入 六月十三日午後一―五時

一、会場 陶器館二階 一、搬出 六月十五日午後四―五時

出品作品は出来得る限り完成（焼成）品にて出す様会員に徹底するため案内状に刷り込む展覽会案内状を刷り発送すること  
と

以上

昭和二十八年六月四日

§

役員会

於いとや画廊

欠席者 坂田委員

第四回陶彫試作展と打合せを行う

一 搬入会場設営 十三日午後一時 全員出席のこと

二 当番 十四日午前 井上、水上、柴山委員

〃 午後 石川、渡辺、杉江

十五日午前 片岡、武山、福田

〃 午後 伊奈、杉江、前川、大西

三 茶菓 第三回と同程度準備する。

四 生花 竹内社中に於て十三日準備下さる運び

五 案内状 顧問、参与、賛助員及有名人名人に出す

§

六 ポスター作成 九日午後七時より石川委員宅に於て作成する役員全部出席のこと

七 臨時総会 十四日午後七時より組合二階において開催

八 成人講座開講 許可のありたるため計画実施す会費については本年は昨年の余剰金あるため半額にて

実施す。

九 方寿翁陶像修理費の件 片岡武正氏に問合せ請求する。

以上

昭和二十八年六月十四日

午後七時半より

臨時総会

於工協組合二階

§

会長より今後の会運営について活発な意見の開陳を要望し試作展の開催するを得たる会員の協力を謝し意見交換となる。

一、会員の出席率の少ない点を検討したる結果会員を整理する問題も出たがその手を引いてやるとゆう親心の気持でもつて種々の有意義なる催し等を行つて出席之足を向ける様にすることゝ落付く。

一、成人開放講座を一回（初回）に全員に対し会費無料として出席を要請する。

一、右講座に関し井上委員より講師坂田委員及モデルの都合

§

を問合せ上早急に具体化する。との申出あり

以上

昭和二十八年六月十四・五日

第四回 陶彫試作展

於陶器館階上

時機的に参観者の数も制約されるかと按じたるも参観者は相当数に達し予想外の盛況であつた。

（出品目録、芳名録保管）

以上

昭和二十八年七月十一日 午後一時より五時まで

成人開放講座無料公開

於常高模型室

臨時総会の決定に従い会員に対し無料にて成人開放講座を行うこととし常滑高校に於て本年講座の初回に行つた。

昭和二十八年七月二十八日 正午

以上

富浦顧問渡米見送り

本会顧問富浦量祐氏米国市場視察のため渡米の途につかれるため本会は役員全員陶器館前に集合し御見送りする。

以上

昭和二十八年八月十三日

§

役員会 於伊奈副会長宅

出席者 杉江、伊奈、柴山、石川、井上、片岡委員

福田、渡辺、鯉江、武山、杉江

会長の案になる内藤、平野両先生追悼及井上楊南先生の長寿を祝う展覧会及追悼会を行つてはどうかに対して

一、内藤、平野先生追悼会及展覧会は平野先生の十七回忌が明年であるため明年度の事業計画とすることとし保留

一、井上楊南先生の喜寿会はその性質が工芸会に属するので会単独でなく工芸会にはかり決することとした。

一、第五回陶彫展の督促状を九月初めに会員に発送する

以上

§

昭和二十八年九月二十一日

役員会 於杉江会長宅

議題

出席者 杉江、柴山、井上、水上委員

鯉江、大西、武山、杉江

- 一、富浦氏出迎及歓迎会の件
- 二、富浦氏に米国事情を聴く会の件
- 三、伊奈副会長母堂逝去の件
- 四、展覧会の件
- 五、展覧会の件
- 六、陶器館出品物搬入の件

§

右を協議した結果左の諸事項を決定す

- 一、富浦顧問出迎九月二十三日午後八時役員全員陶磁器工業協同組合前に集合して待つ
- 二、富浦氏歓迎会は九月二十七日午前十一時より組合二階に於て行う会費三百円二十五日までに申込むこと 陶彫会は有志参加として井上、柴山、杉江、水上、の各委員及大西幹事申込みす。

- 一、伊奈副会長母堂葬儀日取りが決定したので役員は参加することとし 三日夜 通夜 八時までに水上委員宅に集合

四日告別式 午前十時 陶器館に集合

§

同葬儀に青果一盛を贈る。

一、展覧会出品製作を督促する。

一、陶器館出品者は 作者名、売非買、価格表示して出品する。

一、アメリカ事情を聞く会 早急に会長より申込みを行う。

以上

昭和二十八年十月八日

役員会

於 杉江会長宅

欠席者 森田、前川幹事

九月二十五日の第十三号台風により富浦氏の歓迎会及アメリカ事情を聞く会も延引したるも水害の後始末の漸く終りたるに

§

依り歓迎会も日取決定したので役員会招集す

一、歓迎会は十月十一日に決定 富浦氏の要望により小学校講堂の会場を組合二階に変更 出席者を確める。

一、十月十二日午後七時組合二階に於て富浦氏の「アメリカ事情」を聞く会を開催する 早急に案内状を出す

一、文化祭協賛第五回陶彫展は本年は振興展とはならない模様であり審査方法について種々議論が出るも結論を得ず

尚展覧会について会場準備及当番制は全会員に対して割当てることによつて決す。

一、展覧会出品について大体その数を問合せた結果確實

§

二十六点となる。

一、花は竹内れい女史に片岡委員交渉方依頼 以上  
昭和二十八年十月十二日

富浦顧問にアメリカ事情を聞く会

於工業協同組合二階

会長より挨拶があり富浦氏から話が初められる。

富浦氏より五十八日間を見た通り聞いた通り主観なしにお話ししますから話の下手ではありませんが聞き上手で話を聞いてもらいたいと前置して経路の説明から初められ現在のアメリカ景気は相場で云う天上突横這だと話し最近の流行色は白と黒の

§

取合せで殊更新しいものではないが取合せが妙を得ている。

女物では赤茶に黒の線がよく調和されている。

○焼物の高級品では英、伊、佛、独などで英の手工芸は美しく三〇〇ドルから千ドル以上のものもある。

○碗皿は実用ばかりではなく部屋の装飾として用いられ値は七、八円程度である。

○日本品も市場に散見する。

○市場を賑しているもので陶器（花器、置物、食器）等で食器に応用されたロッキン系にエンゴベ、釉の応用が小気味が良いデザインがよくこなされている。

§

○アメリカの陶器工場数 加州が一番多く次いでオハイオで

ある。工場数は大体三千位で大工場は少ないが極めて小さい工場で二、三百人の工員だとのことだからその設備の点に於て日本の約千人位に匹敵するのではないかと思うと説明あり

○アイデアの豊さを盛った作品を親切に送るならば先方市場に於ける日本品は今後も相当有望であろう。

○対日感情は自分の見たところ非常によく好意的である。

○時間の約束については十五分前から十五分過ぎを破らない。

○ひげそりは毎日で紳士は手にひげのふれないことが条件である。

○飛行機代約五十萬圓、宿泊料一流八ドル程度である。

§

出席者 参与 伊奈辰次郎、刑部、小島 三氏

森下才一郎氏、常滑タイムズ社 伊奈續氏

杉江、坂田、水上、石川、井上、大西、渡辺、

鯉江、井上裕、福田、前川、柴山清風、武山、

杉江弘一、片岡初造、片岡秋次、久田芳次、山

田嘉一郎、水野隆夫、水野秀雄、柴山庄三

富浦氏の話が終了したる後会長より展覧会出品の督促を行い合せて展覧会に於ける番割に御協力願いたい旨述べて散会す。

以上

昭和二十八年十月二十六日

常滑陶業振興会会場打合せ会 於常滑役場

右打合せ会に会長及副会長出席し陶彫会々場は小学校

§

旧女学校階下向って左より二・三室の決定を見た。

以上

昭和二十八年十月二十八日

役員会 於杉江会長宅

会長役場に於ける打合せ及それより先に組合の於ける縣側との交渉の結果を報告、本陶彫会も第四部として昨年同様文化祭及常滑陶業振興展に協賛することとし次の諸事項を決定し会員に通知することとした。

- 一、文化祭 陶業振興展協賛 第五回陶彫展
- 一、会期 十一月二・三日 午前九時―午後四時

§

一、会場 常滑小学校（旧女学校）

一、搬入 十月三十一日午前九時より会場設営

一、審査 十月三十一日午後一時

一、審査員 杉江、伊奈、坂田、水上、柴山、石川、片岡、井上 以上八名各委員

一、褒賞 知事賞、町長賞、中部日本、毎日、朝日、中部経

済、名古屋タイムス各新聞社賞、東海銀行賞、陶

彫会長、賞、振興賞、その他

一、褒賞授与式 十一月二日午後

一、搬出 十一月三日午後四時より（会場後始末）

§

一、当番割 全会員に割る

昨年問題となった審査について本年は会に於て審査し会員の作意を促進すべく委員の合同審査とし委員は審査外とし陶彫会長賞を附することとし副賞として五〇〇円也を附けることに決す。

○ 幕の不足分三枚は役場から借用する。

○ ポスター作成は石川委員に依頼し片岡、渡辺、杉江手伝い

石川委員宅に於て作成 杉江配付す。

○ 生花は大西氏の依頼により片岡社中の承諾を得る。

○ 茶菓の接待は前回展同様とする。

§

○ 賛助員案内状に賛助費参百円を御願する旨刷込み幹事は近日中に御願に廻ることにする。

○ 坂田委員より提案ありたる高等学校生徒展に陶彫会長賞を

出す件については財源に乏しき会とて寄附を仰ぐ顧問参与等の関係もあり事情よろしからずとして見送ることとした。

○ 会員の出席を促すため案内状に設営・搬出の方を協力してもらうべく刷込む

（案内状及当番割保管）

以上

昭和二十八年十一月二・三日

§

文化祭・陶業振興展協賛 第五回陶彫展 於小学校

出点四十一一点二教室に陳列し開く審査の結果

知事賞 武山忠資氏、常滑町長賞 古川秀夫氏

東海銀行賞 森田正次氏、中日賞 杉江木仙氏 朝日賞 浅

井楽然氏、毎日賞 齊田直保氏、中経賞 水野秀雄氏、名

タイ賞 鯉江七太郎氏、会長賞 渡辺純治氏、振興賞 山田

輝治氏、同 山田嘉一郎氏、同 桑山護朗氏

一人一賞としたため賞の重複する分はさけた。

会期中は高・中・小学校展及町民運動会、方寿祭

§

等多彩な行事ありためか地元の参観者が多く両日共に参観者は後を絶たず盛会裡に三日午後四時メ切り展覧会を終了した。

(芳名簿、作品目録 保管)

以上

昭和二十八年十一月五日

役員懇談会(会長要請)

於 伊奈副会長宅

欠席者 坂田、柴山、井上、鯉江

会長の要請により懇談会を開催す 準備せる夕食代及酒、菓子  
は会長個人の全額寄附により行われた。

§

会長より展覧会の役員の労を謝し今後の協力を依頼し会食となり、今後の会事業について委員持廻り指導(種目委員撰択)を行っていただく様に御願ひして散会す。

以上

昭和二十八年十一月十六日

役員会 於杉江会長宅

出席者 杉江、片岡、井上委員 森田、福田、前川

大西、杉江 欠届 伊奈、石川、柴山、武山

定期総会開催の件、委員増加の件、坂田委員会指導員依頼の件外を協議し散会す。

§

決定事項

一、定期総会を十一月二十五日頃開催する。

一、右総会の催物として藤井洋々星に幻燈を依頼する。

一、委員に片岡武正、萩原信次、山田嘉一郎三氏追加を総会に  
囑る。

一、坂田委員に会の指導員として就任していただく様に依頼する  
件、総会に囑る。

一、顧問、参与、賛助員の寄附を幹事分担して廻り  
之が終った後総会を開くことにする。

(賛助員の寄附は一時中止)

以上

§

昭和二十九年一月十五日

新年懇親会（新委員参会）於伊奈副会長宅

欠席者

新委員を加えて新年懇親会を催す 新委員より金参阡圓也の寄附金あり当日の会費は各委員夫々負担し酒及茶菓は会長負担によりなされ各役員よりは老いたりといえど益々勉強せねはならぬとの意見に全員同感し今後会員の育成にも何らかの方針を樹てるべきだとの結論に達す

以上

§

昭和二十九年二月十八日

役員会

於会長宅

出席者 杉江、伊奈、水上、片岡静、井上、萩原、山田

渡辺、森田、井上、杉江

春期展覧会開催の件及追悼会の件を協議す

展覧会は五月一・二・三日の三日間、陶器館に於て行い平野・内藤両先生追悼第六回陶彫展とし追悼会に關しては旧陶友会と合同して行うこととし小島貞一郎氏山田一雄氏に対しては会長より交渉することと決定

この結果陶彫展については早速印刷物を作成し会員に周知徹底せしめることにした。

以上

§

初和二十九年三月十八日

役員会 於会長宅

出席者 杉江滄軒、伊奈重、水上、片岡武、山田、

井上、大西、鯉江、杉江弘

会員の追悼展出品作品督促に關する件外左の諸事項を協議し散会す 決議事項

一、本人の父母及妻に対する（同居者に限る）慶弔については籠盛一個又は五百圓以内を贈る

一、瀬戸作家で運営されている春陶会の有志が三月二十七日に常滑見学に來られたとき泉屋に於て懇談会（会費五百圓也）を開催するから有志は参会されるように会長より要望あり

§

一、古賀先生下旬に來常される由その折を利用して懇談会を行う

一、追悼展作品督促を行う（印刷発送）

一、追悼会の会場は宝樹院とし五月二日午後十時より行う 会費参百圓也（酒二合瓶及折詰）

以上

昭和二十九年四月二十日

役員会 於会長宅

一、追悼展に於ける諸先生の遺作展を併設する為作品の借用先

を調査する様各役員に依頼す

§

一、追悼展会場設営は四月三十日午後一時より行うこととし合せて遺作品の借出しを行う（役員全員出席のこと）

一、陶友会と合同発起人名による案内状の印刷を依頼すること

以上

昭和二十九年四月二十五日

案内状発送 於会長宅

会長 井上委員、杉江書記

追悼会に案内状 参百六拾五通 作成発送す

昭和二十九年五月一・二・三日

追悼展及遺作展 於 陶器館

§

追悼会 於宝樹院 五月二日午前十時より

追悼会及展覧会共会期中好天気恵まれて盛会裡に終る。

追悼会に陶彫会より金参阡圓也を寄附す。

この参会者及会計明細は杉江会長保管す。

以上

昭和二十九年五月十六日

役員会 於会長宅

追悼会及展覧会会計報告及之について会長より協力に対して謝

意を表された。尚秋には市制祝賀展

§

となる模様であるから今から制作に努力されたい旨要望あり

以上

昭和二十九年六月八日

役員会 於会長宅

出席者 会長、水上、山田、萩原、柴山、伊奈重、

片岡武、大西、福田、杉江

一、犬山成田山別院招待参拝の件

名鉄常滑駅長森部氏より成田山別院に役員を招待したい旨の申出あり之には何か要求あるものと予想されるが好意を受けることとし日時を決定通知する。

六月二十七日成田山参拝 八名

杉江、水上、伊奈、井上、山田、前川、大西

以上

§

昭和二十九年七月二十三日

役員会 於会長宅

出席者 杉江、水上、伊奈、片岡静、柴山、山田、

井上、大西、渡辺、福田、杉江

一、古賀先生制作場所 片岡静観氏アトリエの件

一、成田山奉納コマ犬の件

古賀先生制作のため来常されたが今回は静観氏アトリエを利

用される様にと申出あり右にお願いする。

森部氏より要求ありし成田山別院に奉納するコマ犬を陶彫会で制作することとし、その代金は金壹拾五萬圓也を要求することに決す作者は追つて決定する。

以上

§

昭和二十九年七月二十七日

古賀先生を囲む懇談会 於 組合二階

古賀先生を迎えてお話しを聞く 先生お話しの要旨は産業陶彫の位置を再認して会員諸氏の団結による量の一粒を図つていただきたい。造形は空間に人間が作る秩序の表れであるが造形は日進月歩しつある。作る物は心の画くものを型と材質にマッチさせることが大切である。日本の彫塑今後の課題もこれである。

尚先生と会顧問、参与、及会員による会食を会費參百圓に於て行った。

§

参加者 杉江瀚軒、水上水玉、伊奈重孝、片岡静観、片岡武

先生 正、井上美邦、石川秋之助、柴山清風、山田嘉一郎、

渡辺純治、鯉江七太郎、杉江弘一、伊奈伍助、富浦

量祐、小島貞一郎、八木虎雄、水野由吉、杉江木仙、

渡辺洋明、沢田重雄、坂田芳信、古川秀夫、伊奈績、

平野邦夫

昭和二十九年八月二十六日

役員会 於 会長宅

出席者 杉江瀚軒、水上、伊奈、石川、片岡静、萩原

大西、森田、杉江

一、市制祝賀展の件

一、成田山コマ犬の件

§

市制祝賀展に会員の制作督励すべく通知を出す

成田山奉納のコマ犬は常滑駅長森部氏の要望により制作者は

会長杉江瀚軒氏及水上水玉氏と決定

以上

昭和二十九年十月六日

役員会 於会長宅

一、展覧会期切迫せる為再度作品督促状を出す。

一、下旬にポスター作成及下準備役員会を行う

以上

昭和二十九年十月二十五日

§

役員会 於会長宅

一、ポスター作成 各役員分配

一、会場設営には（十月三十日）役員全員出席

一、当番割及茶菓及生花等の打合せを行う

昭和二十九年十一月一日、二日、三日

以上

市制祝賀協賛 第七回陶彫展 於小学校北館二階

市制祝賀諸行事もあり連日会場は賑う。出品点数は二十九点但し委員作品を除くにて委員審査の結果次の諸氏に賞がついた。

(一人一賞を採用)

§

知事賞	働いた人	渡辺純治	窯業協議会賞	うづら	古川秀夫
知事賞	金魚	斉田直保	振興賞	猿	大西元勝
振興賞	びわの芽	鯉江染法	振興賞	兎	浅井樂然
会長賞	猫	片山博司	努力賞	猫	沢田恒夫

以上

昭和二十九年十二月十二日

定期総会(徳川館長によるスライド)於 組合二階

恒例の役員改選、会計報告の定期総会を開催するに就いて會員の出席率を考慮し、徳川美術館長に依頼し美術スライドを観賞す。終つて役員改選の結果次の通り決定す。

§

会長 杉江瀚軒、副会長 水上水玉  
 幹事 前川実 大西元勝、桑山護朗、鯉江染法、渡辺純治、  
 福田健治

会計書記 杉江弘一

ついで会長より昭和三十年度の行事予定案を発表會員諸氏の賛意を得て散会す。

行事予定次の通り

- 一、モデル講習会
- 二、外部にて催される美術関係行事の案内
- 三、日帰り写生研究会の開催(動物園、水族館)
- 四、陶彫月報の発行

§

五、會員名簿作成(會員四名加入)

以上

昭和三十年一月五日 新年懇親会(新旧役員会)於水上副会長宅

§

(\*静観筆か?)

昭和三十九年一月廿四日 前会長 片岡武正氏永眠さる。

二月九日役員会の協議にて片岡静観、会長

井上美邦氏副会長を承る(役員出席者 拾貳名)

二月廿六日春期総会ろ行ふ。

スライド(裸婦)の映写会を行ふ。

三月十日

陶器館に於て春の総会を行ふ。

六月七日

常滑市内の寺院什寶巡り鑑賞会を行ふ。

§

六月廿六日

豊橋商工会議所にて工芸会と合同にて陶彫、陶芸展を行ふ。

十一月三日・四日

文化祭陶彫展を行ふ。

昭和四十年一月九日

新年総会を行ふ（新年宴会を兼ね）

三月五日

伊藤捨次郎氏より陶彫研究として

§

陶彫会に寄付金を戴き、奥條会館に於て陶彫発揚の祝賀会を行ふ（但し其折の費用に付いては全部伊藤捨次郎氏負担にて）

五月十四・五日常滑美術展協賛

六月十三日

多治見、虎溪山、修道院、志野、織部の見学会を行ふ。（一行

十六名）

八月廿六日

高等学校の陶彫室にて彫刻研究会を（裸婦モデル使用二日間）

行ふ。

九月廿九日

§

市原氏訪欧のスライド鑑賞会を行ふ。

十一月十三・四日

文化祭陶彫展を行ふ

十一月廿五日伊藤捨次郎氏より重ねて陶彫研究費として篤志式

万圓陶彫会に下さいました

十二月廿四日

静観訪欧旅行に壮行会農協会館にて行ふ

昭和四十一年

三月六日 委員石川秋之助逝去す。

三月八日

春期総会を行ふ。（静観訪欧旅行のスライド観賞）

§

四月廿五日

貸切バスにて天理美術館、並に天理本部見学会を行ふ（其折石上神宮へも参拝）。

五月十四・五日

常滑美術展協賛出品

七月廿四日・廿五日

片岡静観アトリエにて裸婦の彫塑研究会を行ふ（高等学校改築  
工事中の為）

九月六日

仙台市に於て常滑陶業品、陶藝彫彫

§

の展覧会を行ふ

十月二日

中日観光バスにて京都美術館に開かれた

ロダン没して五十年記念のロダン展見学鑑賞会を行ふ

十一月三日・四日

文化祭協賛常滑陶彫展を行ふ

§

昭和四十二年度

三月廿五日

春期総会を陶器館階上にて行ふ

一、本年度の会の行事、展覧会等に付いて会員に意見を聞く

二、会長並に役員任期満了にて引続き会長並に役員は留任と云

ふ事に決定す。

五月一日

沢田恒夫君祖母堂死亡籠盛一對贈る

§

五月七日

京都有隣館見学会

七月三十日三十一日

高等学校にてモデル使用彫塑研究会

十一月三・四日

文化祭協賛陶彫展

其間役員会二回

§

昭和四十三年度

三月十六日 春の総会（出席者二十九名）

五月十四日常滑市美術展協賛出品

六月二日 法隆寺 薬師寺 唐招提寺見学会

八月十日 高等学校にてモデル使用彫塑研究会

十月廿日 京都博物館にブルーデル展見学会

十一月三・四日文化祭陶彫展

其間役員会二回

昭和四十四年度

二月六日会員伊藤辰夫氏死亡 生花一對贈り代表者参列

§

二月十七日 柴山清風氏死亡生花一對と役員全員

参列 お手伝ひ

四十四年度

三月十三日 春の総会（出席者二十八名）

※§記号は改頁を意味する。

## 常滑町史編纂資料について

常滑町制は明治二十三年（1890）に施行され、昭和二十九年（1954）まで継続した。その間に常滑町史編纂会という組織が結成され、『常滑町史編纂資料』という冊子がテーマごとに刊行されている。その組織が何時成立したのかは判然としていないが、同会が大正十年に刊行した『鯉江方壽翁』という冊子の奥付では、常滑町史編纂会の代表者として中村文三郎の名が記されている。さらに巻末の「感謝の辞」では同会の会長として時の町長、榊原助太郎、顧問に磯谷才次郎、編纂委員として谷川米太郎、瀧田貞一、中村文三郎とあり、書記に竹内定一、早川重吉、吉川萬根とある。この『鯉江方壽翁』は町史編纂資料とは別で単独に企画されたものであり、この年の十一月に鯉江方壽翁の陶像が天神山の西麓に建てられ除幕式が盛大に挙行されたのであった。

『常滑町史編纂資料』は、（其二）「常滑名称考」に始まり（其六十七）「片岡平三郎」まで出ているのであるが、（其三）「行基菩薩ノ事蹟」の冊子冒頭には「僧行基ハ、天智天皇六年（大正十年ヨリ一千二百五十四年前）と書かれていいることから、その創刊も大正十年をさほどさかのほらないことが知れる。

そして、この『常滑町史編纂資料』の（一四）に「常滑船舶考」がある。この論考もまた文中に「大正十一年より・・・年前」という解説を加えているところから、その書かれた時期が想定できる。

常滑の廻船については常盤講という組織があったことは知られていたが、その実態については不明な点が多い。近年の瀧田家文書の整理からは、その実態の一端が知られるようになってきているが、それによれば、この「常滑船舶考」の記述も改めて見直す必要もあらうと思われるのである。とりわけ、造船に関する記述は今後さらに調査すべき内容であらう。以下に、その全文を転載するが、文字については一部原文と異なり新しい漢字を用いている場合がある。

### 常滑町史編纂資料（一四） 町史編纂會

#### 常滑船舶考

知多の西岸延長十三里の間、港湾として見るべきものは僅に常滑と須佐のみである。然る上に當町は前面に伊勢湾を隔てて桑名、四日市、白子、津、大港（カミヤシロ神社の舊名）等の良港と相對して居るから過去に於いて海上交通の頻繁であつたことは想像に難くない。古い事は更に文献の徴すべきもの無く、殊に最近製陶業が旺盛になつて来た爲海運の方面は殆ど人の耳目から遠ざかる様になつた。しかし斯業の記念として今尚常滑の人士中海運業者の特徴たる長軀健体と豪膽闊達の資質とを保有せる夕

イプを見受けるのは何れも斯業に關係ある系統の方かと思はれて吾々は大いに憧憬の念を拂つて居るが、海運業の衰亡と歲月の進行につれて此慕はしき面影が漸次幻滅して仕舞ふのは町の為、國の為、誠に遺憾に堪えへぬのである。せめては過去の思出の為茲に断片零簡を綴合せて本章を物して見たのである。由来本郡は半島である關係から往古より海運業の發達して居たことは言うまでもない。日本武尊の東夷御征伐に於て海軍の策源地が今の師崎であり、師崎といふ地名其物が既に己に海運の事跡を物語つて居るのである。常滑が半島の一部である以上矢張海運史上に相当の地位を有して居らうとの考えはあまり根拠のない想像でもないのである。日本武尊よりずっと降つて大阪夏の陣に師崎の千賀志摩守が関船七艘を率いて参加し、特に奇功を立てた事は人のよく知る所である。其中師崎船が四艘、大野船が二艘、常滑船が一艘であつた。此常滑船は後尾張藩からの命令で衣川家が保管して居つたが、今から凡そ二百年計り前に朽腐して仕舞つた。尾張藩の船手（今でいふ海軍）は千賀志摩守の支配下で本郡も矢張り其の下に置かれてあつたのである。

其の頃本郡の各村々に置かれてあつたのは所謂船江といふもので單に船の置場（船圍場）であつて港の命令によつて船を出したものである。ここに港と云ふのは城下に対して生活の資料を陸上げる所で一國一ヶ所に限られて居た、尾張藩に於いては熱田の白鳥が夫れであつた。今一つ津といふものがあるが是は今の渡船場で宮（熱田の）が夫である。常滑に置かれてあつたのは船江で勿論港ではなく、当時衣川八兵衛の監理する所であ

つた。今一つ注意しなければならぬのは牛船に就いてである。牛船に關しては既に本資料其四牛船考に於いて記述して置いた通り、尾張藩で牧畜する所の牛は全部此の常滑に集めて対岸伊勢の長太と取引をして居たものであるから、常時の常滑は船江であり且つ津であつた譯である。

徳川初期に於いて尾張藩船監督の全権は千賀志摩守に属し其の下に廻船総庄屋といふものが置かれてあつて知多西浦邊通り島々並に愛知郡山崎村より星崎輪中村々、鳴海までの内浦邊の船舶の出入に關する実務を取扱つて居つた。其実務の主なるものは船の舳（オモ）の方に脚肩（シヅカ）を打つことである。脚肩とは譯の分からぬ言葉であるが今なら検査済の烙印のことである。以前には舟と云う舟に悉く打つたものであつたが、寛政以後は漁船以下には之を省き廻漕船に限ることになつたのである。当時廻船總庄屋の居つた所は大野で中村権右衛門といつた家である。現在の位置では橋北の海岸であつたらしい。其實證としては總庄屋の葬式だけは尾張橋を通ることが出来たといふ言傳へがあるので判る。中村家が初めて總庄屋になつたのは元和三年で當時源右衛門重直と云つた人で爾來引續いて維新まで勤めて居つたものである。中村家は五代重信の時に至つて権右衛門と改め、其後代々襲名することになつた。この中村家に所藏されて居る旧記の中常滑に關する記録を挙げれば、

覚

亥八月 一小伊勢丸 常滑村 喜右衛門船

右八作直シ船二御座候 大工一人 傳六郎

亥八月 一久福丸 右同村 庄屋船

亥八月 一幸丸 右同村 半六船 大工一人 右同人

亥八月 一幸丸 右同村 半六船

亥十月 一宮徳丸 右同村 久八船 大工一人 右同人

亥十月 一宮徳丸 右同村 久八船

子四月 一長久丸 右同村 五兵工船 大工一人 右同人

子四月 一長久丸 右同村 五兵工船

子八月 一利徳丸 右同村 藤三郎船 大工一人 庄七郎

子八月 一利徳丸 右同村 藤三郎船

子八月 一清徳丸 右同村 徳右衛門船 大工一人 右同人

子八月 一清徳丸 右同村 徳右衛門船

子十一月 大野村船庄屋 以上 中村権右衛門印

丑二月 一松福丸 常滑村 七郎右衛門船 大工一人 傳六郎

丑二月 一松福丸 常滑村 七郎右衛門船

丑二月 一宝悦丸 右同村 藤右衛門船 大工一人 傳六郎

丑二月 一宝悦丸 右同村 藤右衛門船

船大工 二人

右八当丑年常滑村廻船足肩相改遺申候

以上

丑十一月 大野村廻船庄屋 中村権右衛門印

御船方御役所

亥は萬治二年、(大正十一年より 二百六十三年前)子は萬治

三年、丑は寛文元年をさすので、大工とは一艘の舟に脚肩を打

つ人足を云つたのである。

元禄時代に於ける海運上の常滑の地位は左の旧記を検すると、

略了解することが出来るから、繁を厭はず、之を掲げて置く。

元禄六年(大正十一年より二百二十九年前)七月二十六日改

大高 八三 四八二

込高 一七 八五

名和前 二三 九二

名和 七三 五八四

加家 一三 九八

寺中 一三 九八

渡内 一一 七〇

平島 一六 一二八

清水 二 一六

木庭 三 一五

富田 二 一〇

大里 四〇 二四〇

古場 熊野 阿野 樽水 常滑 瀬木 北條 同浦方 多屋山方 榎戸 西之口 大野 大艸 松原 鍛冶屋 森岡 古見 朝倉 寺本 藪全町方 横須賀 木田

二 三 二 二 九〇 一二 三四 三六 四 七 二 四二 九 九 一 四四 一〇 二〇 二六 六四 五三 八八 七 三

四一 五〇 八 七七 二九八三 八七〇 二九九五 四五三六 二〇 三六 一二 一二二七 五二 三二 五 七六 八〇 四二 一七九 四四七 九七 六九〇 四二 一八

古布 矢梨 山田 大井 片名 日間賀 篠島 師崎 須佐 中須 大泊 久村 東端 西端 小野浦 一色 柿並 南奥田 北奥田 上野間 小鈴谷 大谷 刈屋

四 八 二 四一 四 西四六 東七五 四一 七九 九〇 七〇 一一 一五 四六 六六 二五 七三 五 三 二 八 五 三 八

一二〇 一九八 四五 三〇六 一六 九四一 一五七四 三五六 一五三五 七〇〇 一三二〇 六五〇 六〇六 四四五〇 六二七五 二二四〇 五七四八 四八〇 七二 三〇 二四〇 一二〇 二〇 七〇

河和	八	一六〇
北方	一	六〇
時志	六	一八〇
布土	一二	四六〇
富貴	一四	九一三
大高	一	三〇
大足	六	二八五
成岩	三四	五九〇
半田	二七	七三五
乙川	五	二五五
亀崎	九六	四〇一〇
有脇	一六	四二三
藤江	八	三九〇
生路	三	八二
石濱	二	六
緒川	二	八
村木	一	二五
大府	一	二五
鳴海	二九	二二〇
源兵新田	一二	四七
柴田新田	一八	七七
牛毛荒井	六一	二四四
南野	四〇	一五六
本地	六八	二七二

長三郎新田	二二	八八
笠寺	七〇	六六〇
戸部	一七	八五
戸部下新田	一三	八六
戸部下新田	一六	六八
山崎	一七	八五
紀左工門新田	一三	一〇二
總船數	二二五〇	總石數五五八〇

次に元禄十五年の夏に尾張藩から與へられた御國印の数は瀬木北條で小が六、常滑で小が三十八であつた。御國印といふのは扇の繪の附いて居る麻布の旗である。扇は千賀家の紋章である。之に大と小との二種あつて戴くに就いては当時大三百十八文、小百八十文の御料金を上納したもので、此船旗は尾張領内の船であることを明示したもので、他藩に対して常に優越の位置と特權とを有し、つまり海上を跋扈し得る一大要素で仲々容易ならぬものであつた。今尚瀧田家の此の遺物が保存されてあるのは、珍とすべきである。

尾張領内の船は置藩の当初危険といふ理由の下に内海に限られて居て、伊良湖水道以外には絶對に航海を許さなかつたのであるが、只大阪廻船業淡路屋利右衛門の船ばかり出り入りを公認されて居つたので、海運業の一向振はなかつたことは想像され得るが、前記の通り元禄時代に入り、海運業の勃興に伴い、この禁を解かるることになり、大阪廻し、江戸廻しが始められることになつた。

享保二年（大正十一年より二百五十年前）江戸廻しは船仲間の入費を負担することを断つたから、諸国廻しと言はねばならぬことになり、海運業は一時甚だ衰頹した、元文項（凡そ百九十年前）の記録には知多半島に於ける諸国廻しの船は十五艘であった。夫れは常滑と小野浦との船である。降つて寛政頃（凡そ百十年前）には半島の海運業が再び繁栄の機運に際会した。

東海岸に於ける半田の発展の起源は実に此の時期にあったので、半田の俗謡たる『半田亀崎女の夜這ひ、男寝て待て、御所桜』（御所桜は花が大きく八重で五房の花が一所になつて咲く上品の桜で一所になつて咲く意味を取つたもの）は随分人に膾炙したものであるが、これも此の頃に始つたものである。謡の要旨は夜泊の船に遊女が押掛けた纏綿たる情緒を謳つたもので、歌の品格は兎に角、半田亀崎に於ける当時百船輻湊の盛景を彷彿として眼前に浮べて見ることが出来るのである。半田に限らず一般海運界の状態が前述の通りであるから、常滑も之れに均霑して居つたらうと想像されんでもないが、西海岸は東海岸の好況に匹敵することは出来なかつたらしい。因に記して置くが常滑の俗謡『トント常滑、處はよいが人になさけの無いところ』

は段々研究して見ると常滑の一般情況を説明した歌でなくて半島の東西海岸を往来しつつある多情多恨の海員が、客遇の方面から常滑海岸の殺風景を啣つて出来たものらしくそれで両謡とも何れも七七七五調である。なさけとあるのは普通の人情のなさけではなくして、夜泊の船中へ押かけて行く白面鬼のなさけを意味して居るのである。之は倫理觀から見れば常滑の風紀の

清潔を證して居るが、港の繁栄は遠く東海岸に及ばなかつたことが判るのである。

元治二年（大正十一年より五十八年前）經濟上の變動と西洋型帆船の出現とに原因して大形和船の維持甚だ困難を來たし、当路に救済を求めた。之に因つて大形船一艘に就き金一兩づつを拝領した。当寺常滑の常盤講に属する大船は二十八艘であつたから、総計金二十八兩を頂くことになつたのである。その頃常盤講の年行司は清水萬蔵、八木忠右衛門、衣川善右衛門の三人であつた。常盤講に関する事蹟は詳述の材料を有せむが左の文書が瀧田家の古篋底から出たので、いくらか当時の状況を推察することが出来る。

#### 掟

- 一、火之元用心第一之事
- 一、諸勝負事一切不相成并不正之節無之様仲間一統友吟味可致事
- 一、諸荷物酒油不取扱船も可有之風聞に付右鉢之儀無之様船頭賄棍取共申合締克大切に取扱可申候若背之者於有之は過料金拾兩仲間へ請取構内一統相雇仲間敷事
- 一、瀬取船へ飯米遣し候儀一切不相成候事
- 一、米穀高直に付麥飯相用猶又津々浦々におみて滞船之節は粥等可相用并無用之人に一切食事致させ間敷事
- 一、船頭共御時節柄をも不相辯奢ケ間敷儀不相成并多分之手印等積入間敷事
- 一、津々浦々に而水主共私用之上陸一切致間敷并遊女等堅乗らせ申間敷尚又酒盛等一切不相成事

右之條々此外先々より申聞候通堅相守可申若背候者有之  
におゐては仲間相除き可申事

慶應二年 常盤講

丙寅十月 仲間中印

明治十三年辰一月の日付で東京京橋區東湊町一丁目二十九番  
地廣屋徳兵衛、姓は久保田)からの歎願書という文書があり要  
旨は明治十二年十二月二十六日東京日本橋區箔屋町より出火折  
柄烈風の為廣屋も全焼の場合常滑福吉丸清治郎初め外三名の尽  
力で命を取留めた御禮の外各員手船一艘にて五十円宛借受け返  
済は今後の瀬取賃で支拂はせて貰ひたいとの願であつて宛名は  
尾州常滑常盤講御仲間衆中様とある。この廣屋は瀬取の世話及  
常盤講員の定宿であつたらしい。明治八年には己に常滑組が成  
立して居るのに常盤講の名はおかしいが之は廣屋が改名後も矢  
張旧名を用いたもので当時常盤講が常滑組の新名に變つて居つ  
たのは明らかである。

偕常滑組の経営振りはといふと左の規定で略ぼ大要を窺ふこ  
とが出来る。

### 心得記

- 一、今度船手永続ニ付組々衆議之上升貫目帳定則書等相渡候ニ  
付テハ其船賄親父ヲ始水夫者工諸荷物不締之取扱筋ハ不申  
及諸事不実無之様日々注意致後日其船迷惑出来不致様能々  
可相諭候事

### 出状記

- 一、證券印紙貼用方は迄區々相成候処今度諸国取引先へ書状ヲ

以引合及候間向後問屋持ト相心得之事

- 一、東京米口錢之儀ハ是迄ノ通銀壹物一錢六厘ノ事

- 一、東京肥物口錢從前之通貳錢五厘之事

- 一、東京糠口錢從前之通三錢之事

- 一、東京塩仕切面小判五十八物之処向後金貳圓取扱之事

- 一、東京茶船賃明治八年八月十五日ヨリ銀六十五匁一圓八錢三  
厘ノ定ヲ以勘定之事

- 一、浦賀雜穀口錢一匁貳分之処壹匁壹錢六厘六之事

- 一、名古屋大豆升渡之儀以來斗立之上通用一升柶ヲ以渡シ方之  
事同所肥物渡シ方以來水目ヲ以渡シ方取斗之事

- 一、四日市肥物渡シ方之儀以來水目ヲ以渡シ方之事

- 一、同所河岸揚諸荷物向渡右場ニテ渡方之事

- 一、但場置諸荷物此限ニアラス

- 一、清水從來升切多ク不算當ニ付升取宜敷様猶又皮米三合之処  
以來皮米相止メ度趣申談候事

- 一、齋田赤穂両所塩切出シ之儀濱方ヨリ切出シ之筈相頼ミ若シ  
摸通ガタク節ハ半数ハ假令直組之内へ相籠リ候共前條取斗  
相成候様出状候事

- 一、神奈川升渡之儀不宜取扱有之ニ付向後取締相成候様出状候  
事

- 一、諸問屋口錢之儀総テ増口錢頼ミ出候共決テ取斗不相成此段  
可心得置事

明治八年九月

常滑組 印

野間組 印

内海組 印

定 則

一、枘貫目帳書載方ハ表紙凡例之通り堅相心得不体裁無之様可致候尚明治九年七月三十一日限船元へ相渡シ船元ニテ計算之上同九月五日迄ニ其組織方へ相届可申事

一、当今戸籍御嚴重之折柄左之書式之證書一通ツツ乘組不殘之ヲ取置キ候事

何縣管下何國何郡何大區何小區

何町何番地居住

村

業何々ノ誰

弟

何男

何之誰 何々何年生

何年何ヶ月

右町 副戸長

村

年号月日

何之誰 印

一、無切手之者雇入レ候族ハ一名ニ付雇主ヨリ金五圓積金トシテ其組織方へ差出シ可由事

附リ水夫至急入用之節仲間達ヨリ借水夫致候時ハ一ト上

下限り假切手ヲ以テ雇入レ之筈且ツ其船風都合ニ寄スグ行き之節ハ入港先キヨリ其船元エ委曲届ケ之事

一、伊豆港々又ハ鳥羽的矢等ニ滞船之砌是迄諸費相高候様子当今ノ時勢ニ至テハ渡世永続難成ニ付船頭水夫共改テ一際儉約可致事

附リ右地宿々へ儉約之條出状致候間不宜節有之候ハハ其旨締者へ可届出候事

右衆議確定候條犯則無之様堅可相守候也

明治八年九月

常滑組 印

野間組 印

内海組 印

全じく八年には愛知縣管下の各港に船改所と云うものが置かれて入港船舶の監督に当り入港船舶に対しては一々入港税を納入せしめた様で、左の文書によつて其の一斑を知ることが出来る。

入港願書

一、船名福周丸

船形日本形

積高九百八拾九石

船主愛知縣管下尾張国知多郡北條村

乗組十二人

瀧田金左工門

積荷目録之通

船客無之

右ハ去三月十五日熱田港出帆今三月十七日当港着船仕候

二付船税御鑑札熱田港御免状并積荷目録添手数料貳錢碇泊税  
上納仕候間荷物揚陸御免状奉願候以上

福周丸船頭

明治八年三月十七日

瀧田徳次郎印

北條港

船御改所

前書之通検査之上手数料并碇泊税取立荷物陸揚差許候事

愛知縣管下

北條港船改所

富浦長五郎印

この富浦長五郎氏と云ふのは、現在北條一〇六一番戸富浦又五郎氏（陶器職）の父である。

次に常滑に於ける過去現在の船舶所有者を左に掲げて置く。

▲北條

船名	石数
清水庄蔵	凡八〇〇石
三代襲名	宮栄丸 一四〇〇石 安永年間創業
(現戸主小池君)	宮喜丸 凡八〇〇石 明治十六年廃業
瀧田金左工門	福周丸 九八九石 弘化年間創業
金左工門	濱周丸 九三三石 明治四年廃業
(現戸主貞一君)	栄周丸 七一二石 翌五年木綿業創始

附言 初の金左工門といふは陶器に明るい方で常に常滑の製

品を澤山積込み瀬戸内海地方へ販売し代りに米塩を買取り多大の利益を挙げられたものらしい。殊に当主の先代は自身巨船操縦の任に当られ狂風怒濤の中を往来されたので、氏が剛健不撓質実勇進の氣象は海運事業の間に修養されたものと思はれる。一般の範とすべきである。

竹村四郎平 巨宮丸 一〇〇石

四郎平 富久丸 三〇〇石後西洋帆船に改造 (一五〇〇石)

四郎平 富栄丸 全 上

四郎平 富福丸 八〇〇石 寛政年間創業

四郎平 富隆丸 一〇〇〇石 現在に至る

(現戸主仁平君) 幸栄丸 一〇〇〇石(後三〇〇石)

富宮丸 一〇〇〇石(後三〇〇石)

富吉丸 一〇〇〇石

瑞祥丸 一六〇〇石(現所有船)

附言 巨宮丸は竹村家四代前の所有であったが非常に船都合が能て今尚『尾張巨宮丸奥行のせつは寒のしはずにませ(南風)がふく』といふ船歌が同家に傳へられて居る。奥行といふのは伊勢海から名古屋へ行くのをいったものだそうである。和船には難破の危険が伴ったものだが竹村家の所有船には餘程幸運の神が乗って居られたことと思はれる。全家の勃興は故なきにあらずと思ふ。

村田安五郎 福栄丸 一〇〇〇石 文政初年創業

ひ さ

福富丸 一〇〇〇石 明治十二年頃廃業  
(現戸主安太郎君) 福吉丸 一〇〇〇石

富浦長二郎 幸栄丸 七〇〇石 文化初年創業明治五年廃業

長三郎 実栄丸 一三〇〇石

長五郎 幸運丸 六〇〇石

(現戸主又五郎君) 新栄丸 七〇〇石

平野七兵衛 虎吉丸 一〇〇〇石

(現戸主六郎君) 創業ノ年不明  
安政初年廃業

瀧田辰蔵 第一宮一丸 一四〇〇石

第二宮一丸 一一〇〇石

(現戸主富次郎君) 宮勢丸 一一八〇石 文政初年創業廃業ノ年不明

金光丸 九五〇石

渡邊九郎兵衛 第一宮勢丸 一〇〇〇石 文久二年創業

(現戸主九良兵衛君) 第二宮勢丸 八〇〇石 明治十五年廃業

瀧田幸重 伊勢丸 六五〇石 文政年間創業廃業ノ年不明

竹村松三郎 船名不明 不明

徳次郎 幸福丸 一〇〇〇石 創業ノ年不明明治十六年廃業

(現戸主義一君)

瀧田四郎 (初代) 船名不明のもの二艘

四四郎 (二代) 栄久丸 八〇〇石

吉三郎 幸吉丸 八〇〇石

栄三郎 幸重丸 八〇〇石 安永年間創業明治七年頃廃業

(現戸主田四郎君) 宮栄丸 八〇〇石

▲瀬 木

水上重右工門 第一金剛丸 九五〇石

文五郎 第二金剛丸 九〇〇石

(現戸主茂八君) 第三金剛丸 八五〇石 文政十年頃創業明治二十四年廃業

衣川善右工門 清喜丸

善右工門 清雄丸 文政年間創業明治初年廃業

(現戸主善右工門) 外二艘

大栄丸 一五七、噸六五

山七合資会社 長安丸 一六四、噸 明治三十五年創業現今に至る

玉島丸 一九三、噸七八 (現所有船)

村田小一 (現戸主) 庄栄丸 一二四、噸五 (現所有船)

大正十一年五月買求

▲市 場

中野七太郎 盛徳丸 一〇〇〇石 安政年間創業

佐兵衛 栄力丸 一〇〇〇石 明治三年廃業

(現戸主七太郎君)

寶徳丸 九六噸

衣川定次郎 住福丸 一四八噸 大正二年創業

(現戸主) 北魁丸 一二二噸 現今に至る

大東丸 一九六噸 (現所有船)

▲保 示

鯉江庄治兵衛 栄寶丸 六〇〇石 創業の年不明

(現戸主市太郎君)

明治二十七年廃業

右の外船名、石数等不明なるも昔船持であつた家は、

北條に

瀧田清助

瀧田金三郎

瀧田金蔵

富浦傳右工門

森下円五郎

村田文七

瀬木に

伊藤七左工門

鯉江左平治

杉江紋兵衛

鯉江小三郎

市場に

山本徳右工門

山本長次郎

保示に

松本久右工門

等の諸家である。

以上徳川時代より現在に至る船舶の消長を略記したが、偕其活動の範圍は、主として大阪兵庫、江戸までの間で必要な場合には西は瀬戸内海、東は仙台南部まで及んだものである。其の積載の貨物は米、塩を主として必要な場合には酒、材木等に及んだものである。船舶は元々運送用であるから単純に考えれば活動の目的は海上の交通の様であつたが事實はそうでない。つまり船舶を所有して米塩の商業を執行したので運賃取ではない。之が船舶業が多額の収益をあげ常滑本郡の富の一半を作つた訳である。一例を挙げると左の通りである。

證

一 新斎田 六千俵也

貳俵に付五十二錢六厘乘  
代金千五百七十八円也

外二

一金參円也

塩直し賃

メ金千五百八十一円也

右之通代金正二受取

此表無出入相済申候也

明治十年十二月十九日

讃岐国阪出濱

製塩商行社々長

鎌田節三郎

宮光丸 徳次郎殿

これは齊田塩六千俵を買付けて自分の荷物として自己の手船に積み、浦賀なり江戸なり適當の所で適當に売拂ひ、これによつて相當の純益を上げたものである。

維新の前後には東西両京の物価は非常に懸隔があつたもので大阪では金の必要の為、米は両に三斗替であつたので半田小栗三郎氏の手船は多数買付け江戸送りを始めたが、当時の船長は両に一斗八升で売拂ひの主命を受け、江戸へ這入つて見ると意外にも江戸は米の缺乏を告げて居つたので若の八升替で売拂ふことが出来て船長はホクホクものであつたさうだが、其の時に主人に送つた手紙が誠に面白い。其意味は主人の御命令に反して誠に申訳がない。但し利益は頗る巨額でありますからどうか御勘辨が願ひたいといふことで、この託手紙は今尚小栗家の珍藏になつて居るそうだ。

明治十五六年迄は前述の如き商振りで随分面白い遣方であったが、汽船の普及と通信機関の発達とがこの利益ある商業を不可能ならしめることになった。爾來商船が一変して単純な運送船と変化することになった。

本郡に於て特に船舶業が発達せしは本郡が江戸大阪の中間に介在して両者の有無を通ずるに最も便宜の地に立つたのが原因である。然るに同じ地の利を有する対岸の伊勢に斯業の比較的發展しなかつたのは本郡が徳川家の親藩である尾州藩領であつて他藩に対して勢威を振ふことが出来たには勿論だが配下に千賀志摩守があつたからである。今一つ伊勢地方の遠く本郡に及ばなかつたのは諸藩の管轄が区々で桑名は松平領、四日市は天領、津は藤堂領、白子松坂は紀州領、神社は神宮領、鳥羽は鳥羽領で比隣互いに排擠の傾向があつて斯業の發展を阻害したからである。

千賀志摩守は大阪夏の陣に於いて徳川家の御船方として大阪船奪取の奇功を奏したので徳川時代に於いて豊臣氏に対する九鬼家の位置に立つたので徳川氏に於いては五千石の直臣として大湊邊に駐在せしむる積りであつたが長子を尾州藩に属せしめた關係上父子共に尾州藩の配下となり師崎に在つて伊勢湾の監督に任じた。之が千賀家の表向きの職務であつた。其実勢力は紀州灘より伊豆半島に及んだのであつた。同じ親藩でも海上に於いて紀州藩が尾州藩の勢力に及ばなかつたのは紀州の船方竹本丹後守の元本郡乙川の産で、稲生家に従属して居つたのを主従諸共に千賀家に仕へ其の推挙により紀州に入りたるため、千

賀氏に対しては終始其の下風に立つて居たからである。かういふ關係は桑名の船方平野助右衛門に就いても同様である。平野は稲生の家臣で千賀の推挙したものである。又当時遠州の舞坂には幕府の設けた今切番所があつて之が三河湾（吉田藩領を除く）を監督したものだ。が遠隔で行届かないから千賀の補助を認容して居つたのと、海外は監督が定まつて居らなかつたから自然千賀の勢力範囲となつたのである。斯ういふ訳で尾張藩の海上勢力は大したもので一例を挙げると尾張船が瀬戸内海高松に碇泊の砌藩侯の船遊山があつて、其船が目障りになると云ので藩吏から場所替の沙汰が下つた、そうすると早速骨折扇の旗を掲げた。高松藩ではビックリしてコソコソ遊山船の方が逃出して仕舞つたそうだ。尚昔は百姓町人は白足袋を用ひぬことになつて居つたが尾張船の船員丈は他国の港へ着いた時平気で白足袋をはいて居つたものである。近くは鯉江方寿翁が滝田辰蔵氏の持船を借受けの藩の許を待たずして丸八の徽号を染抜ける大帆を孕ませ堂々として幕府の膝下たる江戸湾に乗込まれたのも尾張藩の勢力の一斑を物語つて居るのである。同じ知多沿岸でも船の艫が東西兩岸で異つて東浦のは白、西浦のは黒で白は白奴、黒は黒奴と称し尾張船の構造の特徴で他国船からは恐怖の的であつた。

#### 造船考

以上本町に於ける船舶に関する事項の大略を記述した。要するに本町は古く元禄の頃から明治の初年に亘つて本郡屈指の船持の場所であつたのである。しかして是等の船舶は一体何所か

ら供給されたかといふに、明治の初年本町の船舶業が特に著しく発達して居た時分は、現在の市場の海岸一帯及び保示、瀬木の一部に亘つて造船所があつて、此所で建造された船舶は廣く全郡各地に供給されて居たものである。特に本郡の西海岸に於ける造船所としては唯一つ我常滑があつたのみで、対岸伊勢の大湊と共に伊勢湾内に於ける二大造船場であつたことを考へて見ても、当時本町の造船業が如何に盛んであつたか畧推定される。其頃市場の海岸にあつた造船所は、南の方からいって、伊藤金平氏、伊藤弥之右工門氏、伊藤利右工門氏の三軒であつた。伊藤利右工門氏はカネ大を商号とする今の伊藤敬四郎氏の家で、伊藤弥之右工門氏は、今北條停留場へ曲り角の伊藤重吉氏の家である。

伊藤金平氏は、明治十一年伊豆から船大工の頭領を呼び寄せ、始めて西洋帆船を建造した家で、矢張停留場直ぐ隣りの伊藤三郎氏の家が其後である。

是等の造船所に働いて居た船大工は大部分樽水、阿野から出稼したものである、尚造船所の起原及び消長に就ては其時期を明示したいが、是は船舶の夫等と全々一致して居るものと考へて差支へが無いから省いて置く。

之を要するに常滑町に於ける船舶業は偉業中の最も著大なものであつたらしいが惜しいことには明治十五六年頃に至つて忽焉として其影を没し今日では僅かに二三隻の形見を留めるに過ぎないことになつたがこの運命は常滑許りでなく同じ繁栄を極めた野間をも内海をも襲つたのだ。然るに野間内海と違ふとこ

ろは後継実業の如何である。常滑は幸に土管業の普及勃興するあり、野間は養蚕内海は海水浴と変つた。明治十五年から全二十年頃までが常滑に於ける主要実業の一轉期であつたらしい。町村の盛衰を回顧すると先輩の努力と苦勞を感謝せずに居られないのである。

追記 本文にも述べた通り和船には随分難破漂流が多かつたもので、一々記述することは出来んが、嘉永三年正月十一日に常滑直乘忠藏船嘉永丸水手九人で伊豆の八丈島(下田から六十四里)末吉村神子崎へ、全月十五日中刻常滑村富浦長治郎船幸栄丸沖船頭万藏乗組十人で全村洞輪沢へ漂着して居る。富浦家に八丈実記畧といふ古寫本が蔵されて居つた。段々調べると漂着の折に記念として島の手書に寫取つて貰つたものらしい。海路図もあり八丈島の地歴に就いて詳細に記述してある。今全家より町史編纂会へ寄贈になつて居る。頗る珍本である。

終

附記 この常滑船舶考は事業其物の極めて著大なるにも拘らず調査研究甚だ不完で殆んど物になつて居ませんので、本会では幾度か発表を躊躇しましたが、何時まで待つても完成の見込が付きませんから俄に印刷に附することに致しました。故に誤謬粗漏の多々なるは本会自ら堅く相信じて居ります。故にどうか会員諸君が御遠慮なく訂正増補の高見を御提出あらんことを希つて置きます。

(以上)

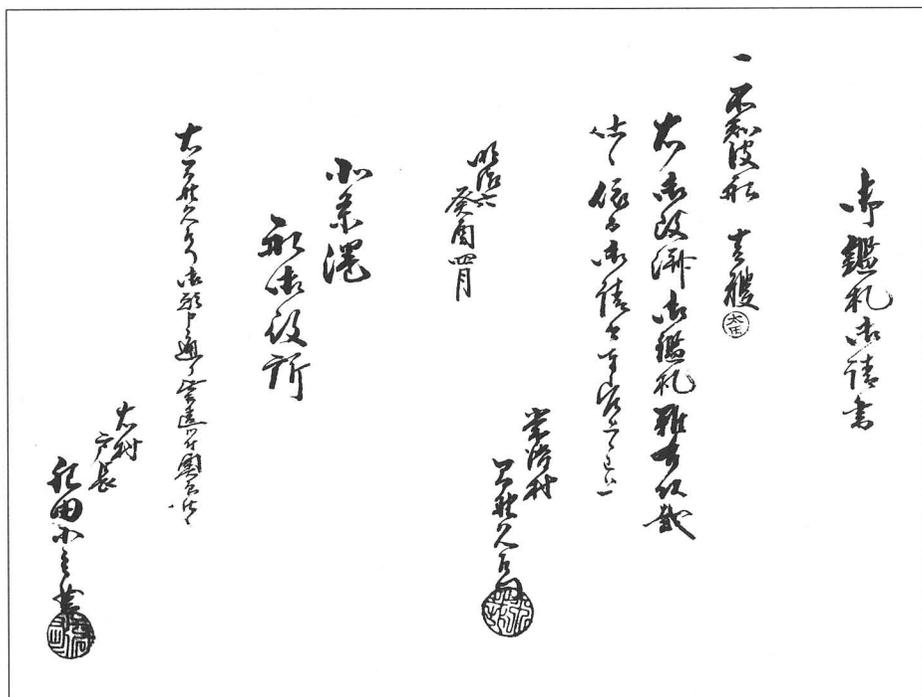
# 北条港船役所文書について

「常滑船舶考」の文中にあった明治八年の船役所に関する記述を傍証し、さらにその役割を知る上で参考になる資料に北条地区文書がある。この資料は北条の会所に保管されていたもので昭和六十年に民俗資料館に持ち込まれた一群の文書の中にも含まれていた。

「常滑船舶考」では船役所が設置されて、各港は入港船舶の監督と入港税を徴収したとしている。しかし、ここに紹介する明治六年の文書は、愛知県下の港から北条港の船役所に対して鑑札を願ひ出ている内容の文書が大半である。その鑑札に対してあしかた脚肩という言葉を使っている事例もある。それは、江戸期の廻船総庄屋を務めた大野の中村権右衛門が担っていた役割であった。そして、北条港は知多半島を越えて三河湾沿岸の船までを扱っている。しかし、明治六年四月以外の文書がごくわずしか残されていないところからすれば、この役割は短期間に終わりを迎えたのであろう。

文末に百十三通の文書に記された百六十艘分のデータを表にしておいた。船名のあるものや船種名が書いてあるもの、乗員数のあるものと石数の記載してあるもの、船主名のあるものもないもの、船頭の名前のあるものなど文書によって書き方はそれぞれである。明治六年という年は、いまだ江戸時代の状況を色濃く残していたものと考えられ、船種名は不知波船や颯波船など近世文書に現れる名称が継続して用いられてい

る。そして、これから二十五年ほど過ぎた明治三十年代の状況を示すカネメ船具店の帳面では、船の帆はすべて洋式帆船の型式になっている。尚、資料の作成は鈴木博美が主に行った。



§ 1

御願申上候御事

知多郡

須佐村

一 永豊丸

山本太十郎船

乗組式人

同村

船頭

山本源五郎

印

右ハ今般足方ヲ御願申上候

四月廿日

北条村

船御改所

御中

§ 2

御願之事

小の浦

一 伊勢丸

山本定兵衛船

積石

船頭佐兵衛乗

乗組 十二人

右ハ今般當港入津仕候間入石

御検査被成下御鑑札御下渡被下置

候様仕度此段奉願上候 以上

明治六酉八月

右

山本佐平

當村

伊藤弥之右エ門 印

北条港

船御改所

§ 3

御鑑札御請書

一 不知波船 一艘 印

右御改濟御鑑札難有頂戴

仕候依而御請書奉差上候以上

常滑村

間野久左エ門 印

明治六

癸酉四月

北条港

船御役所

右間野久左エ門御願申通り無相違候付

奥印仕候

右村

戸長

肥田小兵衛 印

§ 4

御願書

知多郡小の浦

一 伊勢丸

山本定助船

乗組十一人

喜蔵乗

右ハ今般當港江入津仕候間入石

御検査被成下御鑑札御下渡

被下置候様仕度此段奉願上候以上

明治六酉八月二日

右

船頭 喜蔵

伊藤弥之右エ門 印

北条港

船御役所

§ 5

御願

一瀬取船十三艘 竹内作左エ門

右船御見分被下御鑑札

頂戴仕度奉願上候以上

四月廿日

久村戸長

中村兵四郎

北条港

船改御役所

§ 6

御届

愛知縣代七大區小六區知多郡利屋村

大岩勘左工門手船一艘

右者今般足力夕御願奉申上候以上

明治六年四月 元戸長

内田新藏 (印)

御役人御衆中

§ 7

船御願

知多郡柿並村

六小区千九百三十六番

森下鶴吉

一 不知波船壹艘

右持船今般測量請度旨願出候間

何卒御検査被成下置候様奉願候以上

明治六年四月

右村戸長

南川太重郎 (印)

北条港

船御改所

§ 8

御届

當村畑中増藏持船測量請度

旨願出候二付御検査成下置様仕度

此段奉願上候已上

知多郡柿並村戸長

南川太重郎 (印)

北条港船御改所

§ 9

御届

組第七小区

北奥田村

一 颯波船壹艘

但 五石入

神谷伊助

一 〃 壹艘

〃

前田此右工門

一 〃 壹艘

〃

田口定助

一 〃 壹艘

〃

都筑安右工門

一 〃 壹艘

〃

都筑勘助

一 〃 壹艘

〃

神谷庄左工門

一 〃 壹艘

〃

岡村茂八

一 〃 壹艘

〃

神谷治助

一 〃 壹艘

〃

神谷勘左工門

一 〃 壹艘

〃

神谷七右工門

一 〃 壹艘

〃

田村角助

一 〃 壹艘

〃

萩■新次郎

一 大颯波船壹艘 但 廿五石入

田村太吉工門

右書上申候通相違無御座候

已上

明治六年 右村戸長

酉四月 岡嶋久右工門 (印)

井関權令殿

§ 10

御届

大野村

直吉丸永藏

龍神丸与六

右船式艘今般御改候付差出申候

依之御届申上候以上

明治六年

四月

右村戸長

西村治朗八 (印)

北条村

船御改所

§ 11

御届

渡海船一艘

乗組壹人

平野金左工門

右者今般船御改之上御鑑札頂戴

仕度奉願上候以上

明治六年 癸酉四月十六日

常滑村

平野金左工門

北条村港

船御改所

右金左工門奉願上候二付奥印仕候以上

右村戸長

肥田小兵衛 (印)

§ 12

御願

日本形  
一栄力丸

知多郡瀬木村

伊藤弥七船

直乘

右者今般御検査被成下候様奉御願  
奉申上候以上

明治六年  
四月

北条港

右

伊藤弥七 ㊦

船改所

御中

§ 13

脚肩御改願

一富吉丸

直乗彦人

尾張国知多郡

東端邨

中村喜三兵衛

右脚肩御改御鑑札御下渡候被下置候様  
奉願上候已上

明治六年  
四月

右

中村喜三兵衛 ㊦

北条港

船御役所

御中

§ 14

御願之事

一 伊寿丸

知多郡小の浦村

中川清吉船

直乘

右者今般當港入津仕候間入石  
御検査被成下御鑑札御下渡  
被下置候様仕度此段奉願上候以上

明治六

右

西六月

當村  
中川清吉

伊藤弥之右工門 ㊦

北条港

船御改所

§ 15

御願事

今般知多郡北条村正吉丸中井次良佐船  
當港御改役所之御改願呉候間  
何卒御見分之上御鑑札御下渡  
被成下候様仕度奉願上候

西六月十八日

船宿

瀧田幸重 ㊦

北条港

船御改所

御中

§ 16

御願之事

一 永吉丸

知多郡西端村

日比吉兵衛  
音藏乘

右者今般當港入津仕候間入石  
御検査被成下御鑑札御下渡  
被下置候様仕度此段奉願上候以上

明治六

右

西六月

當村  
日比音藏 ㊦

當村

伊藤弥之右工門 ㊦

北条港

船御改所

§ 17

御願書

今般知多郡小の浦樋口慶助船  
當港御改所御改之上御鑑札  
御下渡之程奉願上候已上

明治六

西六月十四日

右

北条港 船頭権兵衛 (印)  
當村 伊藤弥之右ヰ門 (印)

御船役所 御中

§ 18

御願

一福寿丸

知多郡大野村 高橋房吉持船

右者今般新規作事ニ御御座候間  
御検査之上脚肩積石等御鑑札  
御下渡被成下候様奉願上候已上

明治六

六月十六日 右村副戸 萩原宗平 (印)

北条港

船御改所

§ 19

御請書

一 観運丸

尾張国知多郡大里村 蜂郷圓六

直乗外二人

右者今般依願御検査之上

御鑑札御下渡正ニ奉請取候他方船

海中常々大切ニ所持可仕候解船又者

讓渡等仕候ハハ日数五日之内返上可仕旨  
被仰渡奉畏依請御證文如件

明治六年酉十月

右同国同郡同村

蜂郷圓六 (印)

右船宿

北条村

瀧田幸重 (印)

北条港

船御改所

御中

§ 20

御請書

一 豊全丸

尾張国名古屋傳馬町 高崎清六

乗組七人

右今般依願御検査之上

御鑑札御下渡正ニ奉請取候他方航

海中常々大切ニ所持可仕候解船又者

讓渡等仕候ハハ日数五日之内返上可仕旨

被仰渡奉畏依請御證文如件

明治六年酉十月

右同国同郡同町

高崎清六

沖船頭加藤清次郎 (印)

右船宿

北条村

瀧田幸重

北条港

船御改所

御中

§ 21

北条港船改所へ

寶飯郡之内左之村々持舟之儀改所  
手遠ニ付難願之趣有之當分所屬戸長  
此より出帆免状為相渡候筈ニ而為承知  
相達候事 十月

三州寶飯郡

西浦村

不相村

拾石村

鹿嶋村

西方村

大塚村

大草村

十四ヶ村

三谷村

御馬村

竹谷村

下佐脇村

浮野村

赤根村

形原村

§ 22

御届

一 私儀 船賣買商業ニ御座候  
間 今般別紙船數賣買  
届書差出申候仍此段奉  
届上候以上

日比長三郎 (印)

明治六年

酉十月

北条港

船御改所

§ 22

船賣届

一重栄丸

壹艘

右者 私儀 船賣買渡世仕候間

此度第七大区内一色村森下

重兵衛方へ今般船壹艘賣

ママ

渡し申候間依之御段御届申上候

以上

明治六年

西十月

第七大区之内六小西端村

九百廿番地所 居住

船売買渡世

日比長三郎 ⑩

北条港

船御改所

§ 23

囲船届

日本形

一 清雄丸

積石九百式石積

乗組十一人乗

右ハ私所持船御座候處船頭病氣ニ

御座候間當分之内囲船仕候而修復

仕度候間此段御願奉申上候也

常滑村

明治六年十月 山本藤次郎 ⑩

北条港

船御改所

右届正二候也

右村副戸長介

伊奈長三郎 ⑩

§ 24

御願事

今般知多郡内海東端内田源三郎船

當港御改所之御改願出候間

何卒御見分之上鑑札御下渡之程

奉願上

明治六年西四月十二日

右同所

内田源三郎 ⑩

當村

瀧田幸重 ⑩

北条港

船御改所

御中

§ 25

御願事

今般知多郡内海東端内田佐七船

當港御改所之御改願出候間

何卒御見分之上御鑑札御下渡之程

奉願上候

明治六年西四月十二日

右同所

内田佐七 ⑩

當村

瀧田幸重 ⑩

北条港

船御改所

御中

§ 26

御願事

今般三州渥美郡山神村萬吉丸河部助右三門船

當港御役所之御改願出候間

何卒御見分之上御鑑札御下渡

之程奉願上候

明治六年四月廿五日

當村

瀧田幸重 ⑩

北条港

船御改所

御中

§ 27

御願事

今般三河国渥美郡野田村久吉丸河合源太

夫船

當港御役所之御改願出候間

何卒御見分之上御鑑札御下渡  
之程奉願上候

明治六年酉四月廿五日

宿受

瀧田幸重 (印)

北条港

船御改所

御中

§ 28

御願事

今般知多郡大谷村大徳丸沢田傳三郎船

當港御役所之御改願出候間

何卒御見分之上御鑑札御下渡

之程奉願上候

明治六年酉四月廿五日

宿受

瀧田幸重 (印)

北条港

船御改所

御中

§ 29

御願事

今般知多郡大谷村萬吉丸大岩徳右工門船

當港御役所之御改願出候間

何卒御見分之上御鑑札御下渡

之程奉願上候

明治六年酉四月廿五日

當村

瀧田幸重 (印)

北条港

船御改所

御中

§ 30

御願事

今般知多郡細目村幸昌丸江向紋四郎船

當港御役所之御改願出候間何卒

御見分之上御鑑札御下渡之程

奉願上候

明治六年酉四月廿五日

宿受

瀧田幸重 (印)

北条港

船御改所

御中

§ 31

御願事

今般知多郡須佐村栄吉丸家田半三郎船

當港御役所之御改願出候間

何卒御見分之上御鑑札御下渡

之程奉願上候

明治六年酉四月廿五日

當村

瀧田幸重 (印)

北条港

船御改所

御中

§ 32

御請書

尾張国知多郡古場村

古川甚左衛門

住吉丸

乗組式人

右ハ今般依願御検査之上

御鑑札御下渡正ニ奉請取候他方船

海中常々大切ニ所持可仕候解船又者

讓渡等仕候ハ八日数五日之内返上可仕候ニ付

被仰渡候奉畏候依而請御證文如件

右同所直乘

古川甚左工門 (印)

酉八月八日

船宿北条村

瀧田幸重 (印)

北条港

船御改所

御中

§ 33

御願事

今般知多郡坂井村與順丸山本與三左衛門船

當港御役所之御改願出候間

何卒御見分之上御鑑札御下渡

之程奉願上候

右同所

明治六年酉四月十九日

山本與三左衛門 (印)

當村

瀧田幸重 (印)

北条港

船御改所

御中

§ 34

御願事

今般知多郡北条村寶惠丸富浦長三良船

當港御改所之御改願出候間何卒

御見分之上鑑札御下渡之程

奉願上候

西六月十一日

船宿

瀧田幸重 (印)

北条港

船御改所

御中

§ 35

御願事

今般知多郡常滑村清栄丸山本藤次郎船

新親造船仕候付當港御改役所之御検査

願出候間何卒御見分之上御鑑札御下渡

之程奉願上候

明治六年

西六月十三日

船宿

瀧田幸重 (印)

北条港

船御改所

御中

§ 36

御願事

今般知多郡瀬木村神栄丸片岡角兵衛船

新親造船仕候間當港御改所之

御検査願出候間何卒御見分之上

御鑑札御下渡之程奉願上候

西六月十二日

船宿

瀧田幸重 (印)

北条港

船御改所

御中

§ 37

御願事

今般知多郡坂井村文日丸鈴木文蔵船

當港御役所之御改願出候間

何卒御見分之上御鑑札御下渡

之程奉願上候

明治六年四月十九日

右同所直乘

鈴木文蔵 (印)

當村

瀧田幸重 (印)

北条港

船御改所

御中

§ 38

御願事

今般知多郡荏屋村富吉丸古川鉄次郎船

當港御改役所之御改願出候間

何卒御見分之上御鑑札御下渡

之程願上候

明治六年酉四月廿九日

當村

瀧田幸重 (印)

北条港

船御改所

御中

§ 39

御願

知多郡七小区

荏屋村

一渡海船三艘拾式石入 古川清左工門持

右八今般愛知縣御出張所北条港船御改

之儀先般御布達之趣承知奉畏候私持船

前頭渡海船今日乘廻し候間即刻

御検査被成下候様仕度奉願上候以上

明治六年

四月

古川清左門 印

愛知縣井闕權令殿

右清左門願出候通相違無之候付奥印仕候已上

右村戸長

岩田善三郎 印

§ 40

御断願

私儀

本月拾有七日当港江致入船早速

御届可申上筈二候處先般保田沖二而

脚肩寸尺御検査之上御鑑札奉願

候付右鑑札下渡り次方御届可申上心得

二而固循二相成今般御祭当有之

奉恐入候右不心得之段御枚免被成下度

此段奉願候也

明治六年

十月三十有一日

知多郡古場村 澤田平次郎 印

北条港

船改所

右願出候也

七小区副戸長

古場村

澤田儀平治 印

§ 41

御願

今般知多郡常滑村肥吉丸肥田甚藏船

当港御役所之御改願出候間何卒

御見分之上御鑑札御下渡之程奉願上候已上

明治六年

西四月十八日

右

肥田甚藏 印

戸長

肥田小兵衛 印

北条港

船御改所

御中

§ 42

御願

今般知多郡常滑村清栄丸伊藤与三郎船

当港御役所之御改願出候間何卒

御見分之上御鑑札御下渡之程奉願上候已上

明治六年

西四月十八日

右

伊藤与三郎 印

戸長

肥田小兵衛 印

北条港

船御改所

御中

§ 43

御願

千八百八拾九石積 知多郡一色村

幸寿丸

夏目平三郎船

乗組拾三人

彦助乗

右脚肩御改被成下候様仕度仍元御鑑札一枚相添奉願上候以上

明治六年四月

右村旧戸長

夏目甚七 印

北条港船御改所

§ 44

奉願上候御事

一色村

夏目平三郎船

幸昌丸

覚三郎乗

右者此度御鑑札為御下シ置候様奉願上候已上

明治六年

西四月

伊藤弥之右エ門 印

夏目覚三郎 印

北条港

船御役所

§ 45

御願

知多郡一色村

小漁船 夏目平三郎船

右ハ今般師崎村実藏・買請申候間

脚肩御改奉願上候以上

明治六年六月 右村

副戸長介

伊藤嘉七 ①

北条港

船御改所

§ 46

御願

知多郡東端村

内田佐七船

内田長七乘

橋本長六 ①

§ 48

鑑札御願

知多郡樽水村

一勢宝丸

山田庄八郎船  
沖船頭新太郎乘  
乗組三人

§ 50

御届

小野浦邨

一伊勢丸 山本定助船

一伊寿丸 同人 船

一伊勢丸 山本定兵衛船

一伊乘丸 同人 船

一幸勢丸 樋口藤助船

一幸寿丸 樋口慶助船

一伊幸丸 山本定六船

一伊寿丸 中川清吉船

右之船々航海中未夕帰船

不仕候依而此段御届奉申上候以上

明治六年四月

右村

§ 49

御届

一榮昌丸 知多郡小鈴谷村

右ハ今般測量御願申上候 齊藤市左衛門 ①

一勢昌丸 田崎長兵衛

右ハ當月上旬紀州江向ケ出帆之後未夕

當着不仕入津次第為相廻可申候

右之外御改殊一切無御座候已上

明治六年 右村戸長

四月

御改

船役所

中村源左衛門 ①

右ハ今般勢州大港二而新艘二造立  
当浦江相廻し候間御検査奉願上候以上

明治六年 右

内田佐七 ①

北条港

船改所

御中

§ 47

御届

知多郡東端村

内田佐七直乘

住徳丸 一廻船老艘

右ハ此節新規送船御座候脚肩  
御改奉願上候

北条港

船御改所

山田庄八郎 ①

右ハ今般脚肩御検査之上

御鑑札御下ケ渡被成下置候様仕度

御願申上候已上

明治六年酉四月

北条港  
船改御役所

山本定兵衛 (印)

§ 51

御届

小野浦村

一渡海船

中川清三郎船

當藤清左工門船

右船去月未方熊野地江向ケ  
出帆仕未夕歸船不仕候着船  
次第早速為乗廻可申候依  
之此段御届奉申上候以上

明治六年四月

右村戸長

山本定兵衛 (印)

北条港

船改

御役所

§ 52

御願

同所七大区六小区

知多郡一色邨

四十石積  
一不知波船壹艘

藤田仲右工門船

右御改被成下度奉願上候以上

明治六年

四月

右村

旧戸長

藤田甚七 (印)

北条港

船御改所

§ 53

御届

一瀬取船

一〃

一〃

惣計三艘

右船其只今不申候付

此旨御届申上候尤着船次第

御伺奉申上候已上

明治六年

西四月

第七大区六小区吹越村

旧戸長

林重右工門 (印)

北条港

船役所御中

§ 54

御願事

今般知多郡坂井村清吉丸鈴木助左衛門船

當港御役所之御改願出候間

何卒御見分之上御鑑札御下渡

之程奉願上候

明治六年西四月十九日

右同所直乘

鈴木助左衛門 (印)

當村

瀧田幸重 (印)

北条港

船御改所

御中

§ 55

御願書

今般愛知郡戸影村水野勘三郎船

船頭善八乘當港船御改所御改之上

御鑑札御下渡之程奉願上候以上

明治六西五月

右

水野勘三郎

船頭善八 (印)

北条港

船御役所

御中

§ 56

御願

知多郡小野浦邨

伊寿丸

内山松藏

直乘

水主共式人乘

右者今般同郡西端村松岡市郎工門  
方二而買請申候間脚肩  
御検査奉願上候以上

明治六年

八月

右

内山松蔵

印

北条港

船御改所

右之通相違無御座候以上

福古長

岩田清兵衛

印

§ 57

御願事

今般知多郡大谷村神徳丸竹内弥次兵衛船  
當港御改役所之御改願出候間  
何卒御見分之上御鑑札御下渡  
之程奉願上候

明治六年

西五月廿三日

船宿

瀧田幸重

印

北条港

船御改所

御中

§ 58

御願事

今般知多郡西端村生福丸日比安左衛門

當港御改役所之御改願出候間  
何卒御見分之上御鑑札御下渡  
之程奉願上候

明治六年

西五月廿四日

船宿

瀧田幸重

印

北条港

船御改所

御中

§ 59

奉願上候御事

一色村

夏目甚七船

永泰丸

太吉乘

右者此度御鑑札為御下被置候様  
奉願上候已上

明治六年西四月

船頭

夏目太吉

印

當村

伊藤弥之右工門

印

北条港

船御役所

§ 60

御願事

今般知多郡久村中村弥助船

當港御役所之御改願出候間  
何卒御見分之上御鑑札御下渡  
之程奉願上候

明治六年西四月

右同所

中村弥助

印

北条港

船御改所

御中

§ 61

御願事

今般知多郡久村伊藤市郎左衛門船  
當港御役所之御改願出候間  
何卒御見分之上御鑑札御下被渡  
之程奉願上候

明治六年西四月十二日

右同所

伊藤市郎左工門

印

當村

瀧田幸重

印

北条港

船御改所

御中

§ 62

御願事

今般知多郡北条村宮栄丸又三郎船  
當港御役所之御改願出候間何卒  
御見分之上御鑑札御下渡之程  
奉願上候

明治六年西四月十二日 右同所

平野又三郎 印

當村

瀧田幸重 印

北条港

船御改所

御中

§ 63

御願事

今般知多郡久村富吉丸大森平左工門船  
當港御役所之御改願出候間何卒  
御見分之上御鑑札御下渡之程  
奉願上候

明治六年西四月十二日

右同所

大森平左工門 印

當村

瀧田幸重 印

北条港

船御改所

御中

§ 64

御願事

今般知多郡久村永神丸中村利平次船  
當港御役所之御改願出候間何卒  
御見分之上御鑑札御下渡之程  
奉願上候

明治六年西四月十二日

右同所

中村利平次 印

當村

瀧田幸重 印

北条港

船御改所

御中

§ 65

御願事

今般知多郡大泊村住吉丸山下徳右工門船  
當港御役所之御改願出候間  
何卒御見分之上御鑑札御下渡  
之程奉願上候

明治六年西四月十二日

大泊村

山下徳右工門 印

當村

瀧田幸重 印

北条港

船御改所

御中

§ 66

御願事

今般三河国渥美郡野田村  
藤吉丸藤江弥七船 印  
當港御役所之御改願出候間  
何卒御見分之上御鑑札御下渡  
之程奉願上候

明治六年

西四月廿一日

當村

瀧田幸重 印

北条港

船御改所

御中

§ 67

御願事

今般知多郡上野間村松祝丸安達熊助船  
當港御役所之御改願出候間  
何卒御見分之上御鑑札御下渡  
之程奉願上候

明治六年西四月廿六日

當村

瀧田幸重 印

北条港

船御改所

御中

§ 68

御願事

今般三河国幡豆郡桑畑村順徳丸越野清右  
門船

當港御改役所之御改願出候間  
何卒御見分之上御鑑札候下渡  
之程奉願上候

明治六年酉四月廿九日

船宿

瀧田幸重 (印)

北条港

船御改所

御中

§ 69

御願事

今般知多郡大谷村朋喜丸盛田茂右工門船  
當港御改役所之御改願出候間  
何卒御見分之上御鑑札御下渡  
之程奉願上候

明治六年

酉四月廿九日

當村

瀧田幸重 (印)

北条港

船御改所

御中

§ 70

御願事

今般知多郡大谷村大宝丸盛田長四郎船  
當港御改役所之御改願出候間  
何卒御見分之上御鑑札御下渡  
之程奉願上候

明治六年

酉四月廿九日

當村

瀧田幸重 (印)

北条港

船御改所

御中

§ 71

御願事

今般知多郡上野間村灘吉丸安達誠右工門船  
當港御改役所之御改願出候間  
何卒御見分之上御鑑札御下渡  
之程奉願上候

明治六年

酉四月廿六日

當村

瀧田幸重 (印)

北条港

船御改所

御中

§ 72

御願事

今般知多郡上野間村松栄丸枝本利助船  
當港御改役所之御改願出候間  
何卒御見分之上御鑑札御下渡  
之程奉願上候

明治六年

酉四月廿六日

當村

瀧田幸重 (印)

北条港

船御改所

御中

§ 73

御願事

今般上野間村松順丸谷川半右衛門船  
當港御改役所之御改願出候間  
何卒御見分之上御鑑札御下渡  
之程奉願上候

明治六年

酉四月廿六日

宿受

瀧田幸重 (印)

北条港

船御改所

御中

§ 74

乍恐御願事

今般船改二付當港江早速

入船可仕之処右船作事等有之候二付  
延引此段御断申上候新しく作事  
出来候間入船之上御改之程奉願上候

西四月廿六日

知多郡上野間村

安達熊助 ⑤

右同所

枝本利助 ⑤

右同所

安達津右工門 ⑤

北条港

船御改所

御中

右願二付奥印仕候

北条村

瀧田幸重 ⑤

§ 75

御願事

一今般脚肩御改奉願上候処是迄

船名前之儀升徳丸米蔵乗二て

通船仕来候得共勝手摸通二付此度

金剛丸嘉吉乗二改名仕候間何卒

御改之上御鑑札御下渡之程奉

願上候

明治六年

知多郡常滑村

升徳丸

西四月廿一日

富本米蔵

北条港

宿受

船御改所

瀧田幸重

⑤

御中

§ 76

御願

一

知多郡多屋村

井上助四郎船

右ハ今般紀州熊野引本浦濱田兵右工門方

二而買求乗候付御検査之上御鑑札

御下渡被成下度奉願上候以上

明治六年

右

四月

井上助四郎

⑤

北条港

船改所

御中

§ 77

御願事

今般知多郡瀬木村富吉丸鯉江佐平次船

當港御役所之御改願出候間

何卒御見分之上御鑑札御下渡

之程奉願上候

明治六年西四月廿五日

宿受

瀧田幸重

⑤

北条港

船御改所

御中

§ 78

御願事

今般知多郡常滑村金剛丸富本嘉吉船

當港御役所之御改願出候間

何卒御見分之上御鑑札御下渡

之程奉願上候

明治六年四月十九日

右同所直乘

富本嘉吉

⑤

當村

瀧田幸重

⑤

北条港

船御改所

御中

§ 79

御願事

今般知多郡久村万徳丸伊藤與左工門船

當港御役所之御改願出候間

何卒御見分之上御鑑札御下渡

之程奉願上候

明治六西四月十二日

右同所

伊藤與左工門

⑤

當村

瀧田幸重

⑤

北条港

船御改所

御中

§ 80

御断書

今般御届書之儀追々

御布告有之候処五十石以下

御改之儀奉拝承之處運送船と

相心得候限延行ニ仕急恐入候

何分右之段宜敷御断奉申上候

別し而藻取舟相廻り申候間

御見分之程奉願上候

明治六年

西五月一日

知多郡阿野村副戸長介

久田永藏 (印)

北条港

船御改所

§ 81

御願事

今般知多郡古場村宝栄丸山本弥之吉船

當港御役所之御改願出候間

何卒御見分之上御鑑札御下渡

之程奉願上候

右同所

明治六年西四月廿二日 山本弥之吉 (印)

當村

瀧田幸重 (印)

北条港

船御改所

§ 82

御中

御願事

今般知多郡古場村宝吉丸夏目重三郎船

當港御役所之御改願出候間

何卒御見分之上御鑑札御下渡

之程奉願上候

明治六年西四月

右同所

夏目重三郎 (印)

當村

瀧田幸重 (印)

北条港

船御改所

御中

§ 83

御願事

今般知多郡古場村勢力丸中野友七船 (印)

當港御役所之御改願出候間

何卒御見分之上御鑑札御下渡

之程奉願上候

明治六年四月廿二日

當村

瀧田幸重 (印)

北条港

船御改所

御中

§ 84

御願事

今般知多郡小鈴ヶ谷村栄徳丸森本彦三郎船

當港御改役所之御改願出候間

何卒御見分之上御鑑札御下渡

之程奉願上候廿七日

明治六年西四月廿七日

當村

瀧田幸重 (印)

北条港

船御改所

御中

§ 85

御願事

今般知多郡上野間村伊勢丸小嶋竹蔵船

當港御改役所之改願出候間

何卒御見分之上御鑑札御下渡

之程奉願上候

明治六年西四月廿七日

當村

瀧田幸重 (印)

北条港

船御改所

御中

§ 86

脚肩御願

知多郡樽水村

一勢興丸

柴川久藏船

船頭

常太郎乘

拾人

右者最近所持罷在候處追々

右船相成候間此度今拝船仕右跡

新規造船仕候何卒脚肩御願

查候上御鑑札御下々渡相成候様

仕度右御鑑札相添此此段奉願候以上

明治六年七月

右

柴川久藏

印

副戸長介

森下久助

印

土居左傳

印

鷲尾愛知縣令殿

生田愛知縣權參事殿

§ 87

鑑札御願

七小区樽水村

一勢丸

谷川半左工門船

自分船頭三人乘

右ハ今般脚肩御検査之上御鑑札

御下々被成下置候様御願申上候以上

明治六年酉四月

谷川半左工門

印

北条港

船御改所

山田庄八郎 印

§ 88

瀬取船御届書

知多郡大谷村

一嘉悦丸

竹内新六船

老人乘

右之通相達申上候以上

明治六年

右村戸長

四月十五日

明壁三郎左衛門

印

愛知縣御出張

北条港船改所

§ 89

御検査御願

知多郡朝倉村

一日本形小越船壹艘

平松源吉

一同 壹艘

加藤丈藏

一同 壹艘

近藤太郎

一同 壹艘

近藤半左工門

右者今般御調之趣被伺付

奉畏船相廻シ着船仕候間何卒

御検査奉願上候以上

右

明治六年四月

平松源吉

印

加藤丈藏

印

右御願申上候二付奥印仕候以上

近藤太助 印  
近藤平左工門 印

右副戸長介

近藤新重 印

北条港

船御改所

§ 90

御検査願

第七大区内九小区古見村

乘山久助

元才左工門持古船

一猪牙作船壹艘

但荷船

右之通相違無御座候間今般何卒

御検査奉願上候以上

右村副戸長

明治六年五月

富田信真 印

北条村

船御改所

§ 91

御願

一渡海壹艘

山口市五郎船

右者先般御廻相二相成御改之節

不居合御検査洩二相成何卒

御検査之程奉願上候已上

小十区大里村

山口市五郎 ⑩

右御願奉候二付押印候已上

右村別戸長

神野新左工門 ⑩

北条村

御船改所

§ 92

藻取船御届

知多郡七小区

南奥田村

一壹艘

一壹艘

片岡忠左工門

野田繁右工門

久邑平兵衛 ⑩

ノ式艘

右ハ取査届出申候通り

相違無御座候以上

副戸長

明治六年四月

北条港

船改所

§ 93

御願

日本形

知多郡一色村

幸栄丸

乗組拾三人

夏目市郎兵衛

右者私所持之船竹三郎乘四月・

伊勢国大湊ニ於作事取斗中二付

再御検査難達願依御日延之儀

再心奉願置候処此節作事仕来

仕候付其港江相廻シ候間何卒御検査之上

御鑑札御下渡被成下候様仕度依之

額田縣御鑑札相添奉願上候也

明治六年酉九月

右村

夏目市郎兵衛 ⑩

竹三郎乘

愛知縣

鷲尾隆聚殿

右之通相違無御座候付檢印仕候也

右村副戸長介

伊藤嘉七

右他役二付代印

夏目徳三郎 ⑩

§ 94

御願

日本形

一幸栄丸

乗組拾三人

右者私所持之船竹三郎乘儀当四月

知多郡一色村

夏目市郎兵衛船

竹三郎乘

ヨリ勢州大湊ニおゐて作事取斗中

二付再御検査難達願依而御日延之

義再心奉願候処此節作事

出来申候当湊相廻シ候間何卒

御検査之上御鑑札御下渡シ被成下

置候様仕度依之額田縣御鑑札

相添奉願上候也

明治六年

九月

右村 夏目市郎兵衛

愛知縣令

鷲尾隆聚殿

右之通り相違無御座候二付檢印仕候以上

右村副戸長介

伊藤嘉七 ⑩

§ 95

記

七小区小鈴谷村

一藻取船

一壹艘

一同

一同

一同

右四艘今日差出申候御測量奉願候以上

明治六年四月十九日

右村戸長 中村源左工門 ⑩

北条港

船御役所

§ 96

御願

西端邨

一小瀬取船二艘 日比幸右エ門

右之船御見分奉願候以上

酉四月十八日 右村戸長

日比安左エ門 ⑩

北条港

船役所御中

§ 97

記

知多郡第六小区

小野浦邨

齊藤清左エ門船

岩田徳七郎船

中村弥兵衛船

右船々者為乘廻申候間

御検査奉願上候以上

戸長

酉四月十九日 山本定兵衛 ⑩

北条港

改船

御役所

§ 98

御願

第七区六小区

拾石積

一 サツバ船三艘

岩川金左衛門

右之通御改被成下度奉願上候以上

明治六年

四月

右村

旧戸長

夏目甚七 ⑩

北条港

船御改所

§ 99

御届

知多郡第六小区

小野浦邨

山本定助船

一渡海船壹艘

右者為乘廻申候御見分奉願上候已上

明治六年四月十九日

右村戸長

山本定兵衛 ⑩

北条港

船改

御役所

§ 100

御願

知多郡一色村

幸昌丸

夏目市郎兵衛船

乗組拾人

仙蔵乘

右者脚肩御改被成下候様仕度旧元御鑑札壹枚相添奉願上候已上

明治六年

右村

五月

副戸長介

伊藤 嘉七 ⑩

北条港

船御改所

§ 101

御願

知多郡一色村

森田伊助船

幸徳丸

乗組拾壹人

右之通り脚肩御改メ被成候様此度旧御鑑札者返相添奉願上候已上

右村

明治六年

六月

副戸長介 伊藤嘉七 ⑩

北条港

船御改所

§ 102

御願

知多郡一色村

舜昇丸

野村藤治郎船

乘組拾壹人 仲吉乘

右者脚肩御改被成下候様仕度

旧元御鑑札壹枚相添奉願上候以上

明治六年五月 右村副戸長介  
伊藤嘉七 (印)

北条港

船御改所

§ 103

御願

一瀬取船壹艘 日比伊三郎

右船御見分被下御鑑札

頂戴仕度奉願上候已上

四月廿七日

西端村副戸長

日比安左工門 (印)

北条港

船改御役所

§ 104

脚肩御願

尾張国知多郡東端村

一住徳丸日本形

乘組九人

右者今般新船二御座候脚肩御

改被成下 御鑑札御下渡被

成下候様奉願上候以上

右

内田佐七 (印)

四月廿七日

御船改所

§ 105

御願書

今般尾張国知多郡古場村住吉丸古川甚左工門船

當港御改役所之御改願出候間

何卒御見分之上御鑑札御下渡

被成下候様仕度依而奉願上候以上

明治六年

酉八月七日 右船主直乘

古川甚左衛門 (印)

北条港

船御改所

前願之通無相違御座候検印仕候以上

右村副戸長

澤田儀三郎 (印)

§ 106

御願

知多郡第七大区内六小区

栄慶丸

一色村 夏目甚七船

乘組拾壹人 彦作乘

右者脚肩御改被成下候様仕度

旧元鑑札壹枚相添奉願上候

已上

明治六年

八月 右村副戸長

伊藤 嘉七 (印)

北条港

船御改所

§ 107

御願

六小区吹越村

一小瀬取船壹艘 林重藏

右之船御見分奉願上候已上

右村戸長

酉四月廿三日 林重右衛門

北条港 (印)

船役所御中

§ 108

御願

横須賀町方

一日吉丸 村瀬元藏船 (印)

右御改奉願上候以上

右

明治六年四月 村瀬元藏 (印)

右之通奉願上候付検印仕候也

戸長

村瀬房次郎 (印)

北条湊船

御改所

§ 109

脚肩御願

一盛寶丸

坂井村

山本久左衛門船

右脚肩御改奉願上候以上

明治六年

右村副戸長

四月廿四日

永田善藏 ⑩

北条港

船御改所

§ 110

御願

三十石積

知多郡細目村

一不知波船

奥村和平治船

一艘

住吉丸二人乗

右御改被成下御鑑札

御下渡可被下候様奉願

上候以上

明治六年

右村戸長  
中村久右衛門

⑩

愛知縣御尾張

北条港船御改所

§ 111

御願

六小区西端邨

一瀬取船壹艘

日比源八船

右之船御見分被下處奉願上候已上

四月廿五日

右邨戸長介  
ノ組頭 ⑩

北条港

船改御役所衆中

§ 112

今般小舟御届之儀追々御布告有之候処五十石以下御改之儀奉拜承之処運送船と相心得日限延行之段甚奉恐入候何分右之段宜敷御断申上候則し而藻取舟相廻し候間御見分之程奉願上候 以上

明治六年

古場村副戸長介

西五月

澤田儀三郎 ⑩

北条港

船御改所

御願

§ 113

御願

小船三艘

持主

五石入

竹内清吉

同断

式石入

竹内甚右衛門

同断

壹石入

榎本文吉

右之者農相買漁掛仕度候

二付依之船數御届可申候以上

四月

鑑治屋村

副戸長助

峯舛源助 ⑩

§

北条村

船改所

船客通船御願写

當村濱手長浦之義近々濱欠二相成満潮之節者通路難出来儀も有之目下村々より相越候老人足弱し人々等者万而難洪仕候懸り當村於乗船相雇

候■多御座候二付而者私共義幸ひ銘々持船有之候付農間二往來し人々並荷物等名古屋堀川迄運送仕度賃錢之

之儀左之通相定受取候積御座候尤税金之儀ハ御定通上納可仕候間願之通御聞濟被成下候様奉願上候以上

但本文之通願上候處船客之都合二寄替出地江渡海致度者も問々

之有候間便宜ニ往桑名四日市よりも渡船  
仕度賃錢之義ハ名古屋往返同様ニ  
御座候間此段も奉願上候以上

本文之通御許客被成下候ハハ免許  
為締乗組船客名前等  
委詳證帳仕候積御座候

§

一 渡海船一艘六人乗  
 一人ニ付賃銀六錢二厘五毛  
一同断仕立船一艘  
賃錢三十七錢五厘

明治六年五月

知多郡森村

勝崎新右工門

永井兵助

吉峯治右工門

中井仲八

井関權令殿

右之通奉願上候付檢印仕候也

右村副戸長

吉峯忠左衛門

九小区戸長

吉田織江

§

第七大区副区長

林茂

書面渡船義聞届候納稅之  
儀者近々相違候事

五月十九日

廉 勸業掛 ⑩

§

御願申上候事

一 昇保丸 常太郎船當港江入津之節鑑札差上  
御改濟之御書付御下ケ渡しニ相成右者大切  
之御書付

其心得ニ而船頭所持罷在候処俄ニ病氣ニ而  
此度替り

船頭ニ付而者右御書付所持不仕本日勢州四  
日市表江

相廻り申度依之御免帖御下ケ渡願上候ニ付  
而ハ右御書付

返納可仕義候処前賢之始末ニ而奉恐入候何  
分今日

順風ニ而出帆差懸り候義ニ御座候間此度之  
所右御書付無之義

急御聞濟被成下置候様仕度已来急度相心得  
可申候間

御免帖御下ケ渡奉願上候以上

明治六年

常滑村

八月廿五日

三井常太郎船

井筒屋新作 ⑩

北条港

船御改所

本文之通申出候猶更お尋処御船  
昇保丸常次郎事俄候病氣候御右代りとして  
常太郎相越候付何となく持参迷惑之趣事  
申聞候事

§

名前御届

二 拾四石積 知多郡多屋村  
一 栄寿丸 井上圓六

一 栄力丸

拾三石積

一 栄吉丸

元栄力丸

右同人物船

右之通今般船名改替候間右名前に

御鑑札御下渡し被下度此断奉願上候已上  
明治六年五月 右

井上圓六 ⑩

右村 副戸長  
八木忠右衛門

北条港

船改御役所

§

出入船荷揚御伺書

四月廿五日

紀伊国牟婁郡阿田和村

荷物伊丹 積石三拾三石 直乘 茂七船

右荷物右荷物上候間付 水野七太郎揚ヶ

五月四日

同国同郡片浦 直乘 萬吉船

荷物中板積石三拾五石

右同断

五月廿八日

同国同郡川村

荷物伊丹 積石三拾五石 直乘 善兵衛船

右同断

六月九日

同国同郡阿田和村

荷物伊丹積石式十六石 直乘 源三郎船

右同断

六月九日

同国同郡宮崎村

荷物伊丹積石三拾石 直乘 傳右衛門船

右同断

六月十二日

同国同郡同村

荷物伊丹積石三拾石 直乘 金兵衛船

同国同郡片浦

荷物伊丹積石式拾五石 直乘 三右衛門船

右七艘水野七太郎付候水揚仕候分

四月廿五日

同国同郡新宮

荷物伊丹 積石四拾石 直乘 文蔵船

四月廿七日

同国同郡伊田村

荷物中板 積石式拾八石 直乘 忠治郎船

五月廿七日

同国同郡市儀村

荷物中板積石式拾五石 直乘 利吉船

五月廿七日

同国同郡小戸村

荷物中板積石式拾五石 直乘 八右衛門船

六月式十三日

同国同郡阿田村

荷物伊丹積石式拾八石 直乘 源右衛門船

右五艘同村 西田林助方へ水揚げ候分

六月中旬

同国同郡賀田村

荷物中板 積石 直乘 大河三左エ門船

右七艘同村 江本三十郎方へ水揚分

六月廿五日

届濟 同国同郡新宮鑑治町

荷物伊丹千五百廿五束 濱本惣吉船

壹八十三束 積石百廿九石

住一丸

六月廿九日

届濟同国同郡新宮

荷物伊丹千七百五十三米 津田長左エ門船

新吉丸

右二艘同村水野七太郎方へ水揚分

五月一日

尾張国海西郡重宝新田

荷物丸太壹艘積石百九拾石 直乘 藤次郎船

此船当港へ届

右七艘同村藤田善左衛門方へ揚分

船数拾六艘

右四月已来ヨリ六月三十日迄記書仕候

右之通御座候付檢印仕候

上野間村

西七月一日

副戸長介

近藤金三郎 印

北条港

船御改所

御中

§

御届

一今般入津出帆船共御届方之義西端村より

大井港御改所江御届申上候様御達相成候處

吹越村義ハ西端合併之川ニ候間御届方之義

大井港御改所江御届申上候様仕度旨船持

共願出

申候間何卒御何卒御聞届可被下様仕度此段

御届申上候以上

明治六年

東端邨年行司 内田佐七

五月廿四日

大井港船

御改所

§

御届

私儀本月廿日志摩国と答志郡惠利原村積問屋  
鍋屋次左エ門付二而薪志艘買積仕候所何無心  
別紙仕切状■二而出帆仕今月當港江入港仕候  
直様御届申上候所の矢港船御改所御免状  
失念仕誠二不調法之段奉恐入候何卒何卒  
今般之義者御用捨被下置候様仕度奉願上候  
自分急度相心得候此段御聞濟被下候ハハ  
難有仕合候奉存候

明治六年八月廿六日 知多郡常滑村

衣川善右エ門 印

山本藤次郎 印

北条港

船御改所

右兩人御願申上候通相違無此付檢印仕候

副戸長

山本長次郎 印

§

船税上納ノ届

知多郡一色村

百拾八石積

一甚吉丸

山本代兵衛船

金壹錢三厘

右者壬申之年税金不足二・  
此度上納仕候也

明治六年

右村副戸長介

五月

伊藤嘉七 印

北条港

船御改所

§

新規造船鑑札御下渡願

定繫場尾張国知多郡常滑村海岸 全国全部

全村千二百三十拾壹番地

一宮栄丸

五拾九石積

忝艘 森下伊三郎

右ハ今般三重県度会郡大湊造船所ニ於テ

新規造船仕段鑑札相受帰帆候間更二本鑑札

御下渡被下度依テ段鑑札札相添此段奉

願候也

明治十七年十一月九日 右

森下伊三郎 印

愛知県令国貞廉平 花押

前書之趣願出候也

明治十七年十一月九日

知多郡第卅一組戸長伊東義雄 印

愛知縣知多郡長長坂重孝

書面願之趣聞届鑑札下渡候條

當期分税金即時上納可致事

明治十七年十一月十六日

愛知県令国定廉平 印

§

船壳買御鑑札御書換願

第二二二二二号

定繫場尾張国知多郡常滑村海岸尾張国知多

郡常滑村四百七十六番地

一小廻船忝艘 壳主片岡兼次郎

但式間

改定繫場同国同郡同村海岸同国同郡同村千

五十番地

一改小廻船忝艘 買主 山本千代松

但式間

右ハ今般壳買候ニ付鑑札御書換被成下度

依テ鑑札相添之此段連署ヲ以奉願候也

明治十八年六月一日 右

片岡兼次郎 印

右

山本千代松 印

愛知縣令勝間田稔殿代理

愛知縣大書記官野村賀真殿

前書之趣願出候也

明治十八年六月一日

知多郡常滑村 戸長 伊東義雄 印

多屋村

愛知縣知多郡長長阪重孝 印

書面願之趣聞届鑑札書換下渡候事

明治十八年六月五日

愛知縣令勝間田稔代理

愛知縣代書記官野村賀真 印

船通番	文書番	文書	夕イ卜ル	船籍地	船名(種類名)	船主名	乗員of 石数	船頭名	主旨	年月日	宛先	差出人	図印 書き	備考
1	81	1	御願申上候御事	須佐村	永豊丸	山本大十郎	2人	山本源五郎	脚肩	4月20日	北条村船御改所	山本佐平, 伊藤弥之右工門		
2	2	2	御願之事	小野浦村	伊勢丸	山本定兵衛	12人	佐兵衛	入石検査, 鑑札	明治6年酉8月	北条港船御改所	岡嶋久右工門, 肥田小兵衛	戸長	
3	3	3	御鑑札御請書	常清村	※不知波船	岡野久左工門			鑑札	明治6年癸酉4月	北条港船御改所	喜藏, 伊藤弥之右工門	戸長	
4	4	4	御願書	小野浦村	伊勢丸	山本定助	11人	喜藏	入石検査, 鑑札	明治6年酉8月2日	北条港船御改所			
5	5	5	御願	久村	※彌取船	竹内作左工門			鑑札	4月20日	北条港船御改所	中村兵四郎	戸長	
6	5	5	御願	久村	※彌取船	竹内作左工門			鑑札	4月20日	北条港船御改所	中村兵四郎	戸長	
7	5	5	御願	久村	※彌取船	竹内作左工門			鑑札	4月20日	北条港船御改所	中村兵四郎	戸長	
8	5	5	御願	久村	※彌取船	竹内作左工門			鑑札	4月20日	北条港船御改所	中村兵四郎	戸長	
9	5	5	御願	久村	※彌取船	竹内作左工門			鑑札	4月20日	北条港船御改所	中村兵四郎	戸長	
10	5	5	御願	久村	※彌取船	竹内作左工門			鑑札	4月20日	北条港船御改所	中村兵四郎	戸長	
11	5	5	御願	久村	※彌取船	竹内作左工門			鑑札	4月20日	北条港船御改所	中村兵四郎	戸長	
12	5	5	御願	久村	※彌取船	竹内作左工門			鑑札	4月20日	北条港船御改所	中村兵四郎	戸長	
13	5	5	御願	久村	※彌取船	竹内作左工門			鑑札	4月20日	北条港船御改所	中村兵四郎	戸長	
14	5	5	御願	久村	※彌取船	竹内作左工門			鑑札	4月20日	北条港船御改所	中村兵四郎	戸長	
15	5	5	御願	久村	※彌取船	竹内作左工門			鑑札	4月20日	北条港船御改所	中村兵四郎	戸長	
16	5	5	御願	久村	※彌取船	竹内作左工門			鑑札	4月20日	北条港船御改所	中村兵四郎	戸長	
17	5	5	御願	久村	※彌取船	竹内作左工門			鑑札	4月20日	北条港船御改所	中村兵四郎	戸長	
18	6	6	御願	利室村	※不知波船	大宮勘左工門			脚肩	明治6年4月	御役人御衆中	内田新藏	戸長	手船1艘
19	7	7	船御願	柿並村	※不知波船	森下鶴吉			測量	明治6年4月	北条港船御改所	南川大重郎	戸長	
20	8	8	御願	柿並村	※不知波船	畑中増藏			測量	明治6年4月	北条港船御改所	南川大重郎	戸長	
21	9	9,10	御願	北奥田村	※颯波船	神谷伊助	5石		届付	明治6年酉4月	井闕權令	岡嶋久右工門	戸長	
22	9	9,10	御願	北奥田村	※颯波船	前田此右工門	5石		届付	明治6年酉4月	井闕權令	岡嶋久右工門	戸長	
23	9	9,10	御願	北奥田村	※颯波船	田口定助	5石		届付	明治6年酉4月	井闕權令	岡嶋久右工門	戸長	
24	9	9,10	御願	北奥田村	※颯波船	都筑安右工門	5石		届付	明治6年酉4月	井闕權令	岡嶋久右工門	戸長	
25	9	9,10	御願	北奥田村	※颯波船	都筑勘助	5石		届付	明治6年酉4月	井闕權令	岡嶋久右工門	戸長	
26	9	9,10	御願	北奥田村	※颯波船	神谷庄左工門	5石		届付	明治6年酉4月	井闕權令	岡嶋久右工門	戸長	
27	9	9,10	御願	北奥田村	※颯波船	岡村茂八	5石		届付	明治6年酉4月	井闕權令	岡嶋久右工門	戸長	
28	9	9,10	御願	北奥田村	※颯波船	神谷治助	5石		届付	明治6年酉4月	井闕權令	岡嶋久右工門	戸長	
29	9	9,10	御願	北奥田村	※颯波船	神谷勘左工門	5石		届付	明治6年酉4月	井闕權令	岡嶋久右工門	戸長	
30	9	9,10	御願	北奥田村	※颯波船	神谷七右工門	5石		届付	明治6年酉4月	井闕權令	岡嶋久右工門	戸長	
31	9	9,10	御願	北奥田村	※颯波船	田村角助	5石		届付	明治6年酉4月	井闕權令	岡嶋久右工門	戸長	
32	9	9,10	御願	北奥田村	※颯波船	■新次郎	5石		届付	明治6年酉4月	井闕權令	岡嶋久右工門	戸長	
33	9	9,10	御願	北奥田村	※大瀧渡船	田村大吉工門	25石入		届付	明治6年酉4月	井闕權令	岡嶋久右工門	戸長	
34	10	11	御願	大野村	直吉丸			永藏	検査	明治6年4月	船御改所	西村治朗八	戸長	
35	10	11	御願	大野村	龍神丸			与六	検査	明治6年4月	船御改所	西村治朗八	戸長	
36	11	12	御願	常清村	※颯海船	平野金左工門	1人		検査, 鑑札	明治6年癸酉4月16日	北条村造船御改所	伊藤弥七	戸長	
37	12	13	御願	瀬木村	采力丸	伊藤弥七			検査	明治6年4月	北条港船御改所	伊藤弥七	日本形	
38	13	14	脚肩御改願	東端村	富吉丸	中村喜三兵衛	1人		脚肩, 鑑札	明治6年4月	北条港船御改所	中村喜三兵衛		
39	14	15	御願之事	小野浦村	伊勢丸	中川清吉			入石検査, 鑑札	明治6年酉6月	北条港船御改所	中川清吉, 伊藤弥之右工門		
40	15	16	御願之事	北条村	正吉丸	中井次良佐			検査, 鑑札	西6月18日	北条港船御改所	瀬田幸重		
41	16	17	御願之事	西端村	永吉丸	日比吉兵衛			日比音藏	明治6年酉6月	北条港船御改所	日比音藏, 伊藤弥之右工門		差出人船宿



船名	文書番号	文書	タイトル	船籍地	船名(船種)	船主名	乗員数	船頭名	主旨	年月日	宛先	差出人	預印番	備考
83	50	52	御届	小野浦村	幸寿丸	樋口慶助			未帰船届	明治6年4月	北条港船政御役所	山本定兵衛		
84	50	52	御届	小野浦村	伊幸丸	山本定六			未帰船届	明治6年4月	北条港船政御役所	山本定兵衛		
85	50	52	御届	小野浦村	伊寿丸	中川清吉			未帰船届	明治6年4月	北条港船政御役所	山本定兵衛		
86	51	53	御届	小野浦村	※渡海船	齋藤清左エ門			未帰船届	明治6年4月	北条港船政御役所	山本定兵衛		
87	51	53	御届	小野浦村	※渡海船	藤田仲右エ門			未帰船届	明治6年4月	北条港船政御役所	藤田重七		
88	52	54	御届	一色村	※不知波船	藤田仲右エ門	40石		検査	明治6年4月	北条港船政御役所	林重右エ門		
89	53	55	御届	吹越村	※瀬取船	松下傳右衛門			未帰船届	明治6年4月	北条港船政御役所	林重右エ門		
90	53	55	御届	吹越村	※瀬取船	林重蔵			未帰船届	明治6年4月	北条港船政御役所	林重右エ門		
91	53	55	御届	吹越村	※瀬取船	中村乙五郎			未帰船届	明治6年4月	北条港船政御役所	林重右エ門		
92	54	57	御届事	坂井村	清吉丸	水野勘三郎			検査、鑑札	明治6年西5月19日	北条港船政御役所	鈴木勘三郎、善八		
93	55	57	御届書	愛知郡戸影村	水野勘三郎	鈴木勘三郎			検査、鑑札	明治6年西5月	北条港船政御役所	水野勘三郎、善八		
94	56	58	御届	小野浦村	伊寿丸	内山松蔵	2人		脚屑	明治6年8月	北条港船政御役所	内山松蔵	副戸長	西郷村、愛知郡戸影村、伊藤丸、乗員2人
95	57	59	御届事	大谷村	神徳丸	竹内弥次兵衛			検査、鑑札	明治6年西5月23日	北条港船政御役所	瀧田幸重		差出人船宿
96	58	60	御届事	西端村	生福丸	日比安左衛門			検査、鑑札	明治6年西5月24日	北条港船政御役所	瀧田幸重		差出人船宿
97	59	61	奉願上候御事	一色村	永泰丸	夏目甚七			鑑札	明治6年西4月	北条港船政御役所	夏目大吉、伊藤弥之右エ門		差出人船宿
98	60	62	御届事	久村		中村弥助			検査、鑑札	明治6年西4月	北条港船政御役所	中村弥助、瀧田幸重		
99	61	63	御届事	久村		伊藤市郎左衛門			検査、鑑札	明治6年西4月12日	北条港船政御役所	伊藤市郎左衛門、瀧田幸重		
100	62	64	御届事	北条村	宮栄丸	平野又三郎			検査、鑑札	明治6年西4月12日	北条港船政御役所	平野又三郎、瀧田幸重		
101	63	65	御届事	久村	富吉丸	大森平左エ門			検査、鑑札	明治6年西4月12日	北条港船政御役所	大森平左エ門、瀧田幸重		
102	64	66	御届事	久村	永神丸	中村利平次			検査、鑑札	明治6年西4月12日	北条港船政御役所	中村利平次、瀧田幸重		
103	65	67	御届事	大泊村	住吉丸	山下徳右エ門			検査、鑑札	明治6年西4月12日	北条港船政御役所	山下徳右エ門、瀧田幸重		
104	66	68	御届事	堀美郡野田村	藤吉丸	藤江弥七			検査、鑑札	明治6年西4月21日	北条港船政御役所	瀧田幸重		文書番号67で検査の延期願い
105	67	69	御届事	上野間村	松祝丸	安達謙助			検査、鑑札	明治6年西4月26日	北条港船政御役所	瀧田幸重		差出人船宿
106	68	70	御届事	磯豆郡桑畑村	順徳丸	越野清右エ門			検査、鑑札	明治6年西4月29日	北条港船政御役所	瀧田幸重		差出人船宿
107	69	71	御届事	大谷村	明喜丸	盛田茂右エ門			検査、鑑札	明治6年西4月29日	北条港船政御役所	瀧田幸重		
108	70	72	御届事	大谷村	大宝丸	盛田長四郎			検査、鑑札	明治6年西4月29日	北条港船政御役所	瀧田幸重		
109	71	73	御届事	上野間村	瀧吉丸	安達謙右エ門			検査、鑑札	明治6年西4月26日	北条港船政御役所	瀧田幸重		文書番号67で検査の延期願い
110	72	74	御届事	上野間村	松栄丸	枝本利助			検査、鑑札	明治6年西4月26日	北条港船政御役所	瀧田幸重		文書番号67で検査の延期願い
111	73	75	御届事	上野間村	松順丸	谷川半右衛門			検査、鑑札	明治6年西4月26日	北条港船政御役所	瀧田幸重		差出人船宿
74	76	76	乍恐御届事	上野間村	升徳丸	富本米蔵			検査の延期願い	西4月26日	北条港船政御役所	瀧田幸重		文書番号69、73、74の船名誤り
75	77	77	御届事	常滑村	富本米蔵	井上勘四郎			鑑札	明治6年4月	北条港船政御役所	富本米蔵、瀧田幸重		文書番号69、73、74の船名誤り
112	76	78	御届	多屋村	富吉丸	井上勘四郎			検査、鑑札	明治6年4月	北条港船政御役所	瀧田幸重		文書番号69、73、74の船名誤り
113	77	79	御届事	瀬木村	富吉丸	豊江佐平次			検査、鑑札	明治6年西4月25日	北条港船政御役所	瀧田幸重		文書番号69、73、74の船名誤り
114	78	80	御届事	常滑村	金剛丸	富本嘉吉			検査、鑑札	明治6年西4月19日	北条港船政御役所	富本嘉吉、瀧田幸重		差出人船宿
115	79	81	御届事	久野村	万徳丸	伊藤興左エ門			検査、鑑札	明治6年西4月12日	北条港船政御役所	伊藤興左エ門、瀧田幸重		文書番号69、73、74の船名誤り
80	82	82	御届書	阿野村	※瀬取船	久田水蔵			検査、鑑札	明治6年西5月11日	北条港船政御役所	久田水蔵	副戸長	検査遅延の理由
116	81	83	御届事	古場村	宝栄丸	山本弥之吉			検査、鑑札	明治6年西4月22日	北条港船政御役所	山本弥之吉、瀧田幸重		
117	82	84	御届事	古場村	宝吉丸	夏目重三郎			検査、鑑札	明治6年西4月	北条港船政御役所	夏目重三郎、瀧田幸重		
118	83	85	御届事	古場村	勢力丸	中野友七			検査、鑑札	明治6年西4月22日	北条港船政御役所	瀧田幸重		
119	84	86	御届事	小鈴ヶ谷村	栄徳丸	森本彦三郎			検査、鑑札	明治6年西4月27日	北条港船政御役所	瀧田幸重		
120	85	87	御届事	上野間村	伊勢丸	小嶋竹蔵			検査、鑑札	明治6年西4月27日	北条港船政御役所	瀧田幸重		

121	86	88	脚肩御願	樽水村	勢興丸	柴川久藏	10人	常太郎	脚肩	明治6年7月	豊高富郷奉生田	柴川久藏、藤下入助、土居左衛門	副戸長	新造船
122	87	89	鑑札御願	樽水村	勢生丸	谷内半左工門	3人	谷内半左工門	脚肩、鑑札	明治6年西4月	北条港船御改所	谷川半左工門、山田庄八郎	戸長	
123	88	90	瀬取船御願	大谷村	轟悅丸	竹内源吉	1人		屋計	明治6年4月15日	北条港船御改所	明盛三郎左衛門	戸長	
124	89	91,92	御検査御願	朝倉村	※小越船	平松源吉			検査	明治6年4月	北条港船御改所	近藤新重	副戸長	日本形
125	89	91,92	御検査御願	朝倉村	※小越船	加藤丈蔵			検査	明治6年4月	北条港船御改所	近藤新重	副戸長	日本形
126	89	91,92	御検査御願	朝倉村	※小越船	近藤太助			検査	明治6年4月	北条港船御改所	近藤平左工門、近藤新重	副戸長	日本形
127	89	91,92	御検査御願	朝倉村	※小越船	近藤平左工門			検査	明治6年4月	北条港船御改所	富田信興	副戸長	元才左工門持古船、荷船
128	90	93	御検査願	古里村	※濶方作船	桑山久助			検査	明治6年5月	北条港船御改所	山口平兵衛、磯部文右衛門	副戸長	
129	91	94	御願	大里村	※渡海船	山口平兵衛			検査	明治6年4月	北条港船御改所	久邑平兵衛、磯部文右衛門	副戸長	
130	92	95,96	瀬取船御願	南奥田村	※濶取船	片岡忠左工門	10石		屋計	明治6年5月	北条港船御改所	久邑平兵衛、磯部文右衛門	副戸長	
131	92	95,96	瀬取船御願	南奥田村	※濶取船	野田繁右工門	3石		屋計	明治6年5月	北条港船御改所	夏目市郎兵衛、伊藤嘉七	副戸長	
132	93	97,98	御願	一色村	幸栄丸	夏目市郎兵衛	13人	竹三郎	検査、鑑札	明治6年西9月	愛知縣令 鷺尾隆聚	夏目市郎兵衛、伊藤嘉七	副戸長	日本形、伊勢国天談にて修 日本形、伊勢国天談にて修 日本形、伊勢国天談にて修
94	94	99,100	御願	一色村	幸栄丸	夏目市郎兵衛	13人	竹三郎	検査、鑑札	明治6年9月	愛知縣令 鷺尾隆聚	夏目市郎兵衛、伊藤嘉七	副戸長	日本形、伊勢国天談にて修 日本形、伊勢国天談にて修 日本形、伊勢国天談にて修
133	95	101	記	小鈴谷村	※濶取船	岩田助八			測量	明治6年4月19日	北条港船御改所	中村源左工門	戸長	
134	95	101	記	小鈴谷村	※濶取船	岩田助八			測量	明治6年4月19日	北条港船御改所	中村源左工門	戸長	
135	95	101	記	小鈴谷村	※濶取船	菱川弥十郎			測量	明治6年4月19日	北条港船御改所	中村源左工門	戸長	
136	95	101	記	小鈴谷村	※濶取船	鈴木平左工門			測量	明治6年4月19日	北条港船御改所	中村源左工門	戸長	
137	96	102	御願	西端村	※小瀬取船	日比幸右工門			検査	西4月18日	北条港船御改所	日比安左工門	戸長	
138	96	102	御願	西端村	※小瀬取船	日比幸右工門			検査	西4月18日	北条港船御改所	日比安左工門	戸長	
139	97	103	記	小野浦村	※小瀬取船	斎藤清左工門			検査	西4月19日	北条港改船御改所	山本定兵衛		
140	97	103	記	小野浦村	※小瀬取船	岩田徳七郎			検査	西4月19日	北条港改船御改所	山本定兵衛		
141	97	103	記	小野浦村	※渡海船	中村弥兵衛			検査	西4月19日	北条港改船御改所	山本定兵衛		
142	98	104	御願	一色村	※颯波船	岩川金左衛門			検査	明治6年4月	北条港船御改所	夏目甚七	旧戸長	
143	98	104	御願	一色村	※颯波船	岩川金左衛門			検査	明治6年4月	北条港船御改所	夏目甚七	旧戸長	
144	98	104	御願	一色村	※颯波船	岩川金左衛門			検査	明治6年4月	北条港船御改所	夏目甚七	旧戸長	
145	99	105	御願	小野浦村	※渡海船	山本定助			検査	明治6年4月19日	北条港船御改所	伊藤嘉七	戸長	
146	100	106	御願	一色村	幸昌丸	夏目市郎兵衛	10人	仙蔵	脚肩	明治6年5月	北条港船御改所	伊藤嘉七	副戸長	
147	101	107	御願	一色村	幸徳丸	森田伊助	11人	弥左衛門	脚肩	明治6年6月	北条港船御改所	伊藤嘉七	副戸長	
148	102	108	御願	一色村	舜昇丸	野村藤治郎	11人	仲吉	脚肩	明治6年6月	北条港船御改所	伊藤嘉七	副戸長	
149	103	109	御願	西端村	※瀬取船	日比伊三郎			検査、鑑札	明治6年5月	北条港船御改所	伊藤嘉七	副戸長	
150	104	110	脚肩御願	東端村	住徳丸	内田佐七	9人	内田佐七	脚肩、鑑札	4月27日	御船改所	内田佐七		日本形、新船
151	105	111	御願書	古場村	住吉丸	古川甚左工門			検査、鑑札	明治6年西8月7日	北条港船御改所	古川甚左工門、澤田藤三郎	副戸長	
152	106	112	御願	一色村	※慶丸	夏目甚七	11人	彦作	脚肩	明治6年8月	北条港船御改所	伊藤嘉七	副戸長	
153	107	113	御願	吹越村	栄慶丸	林重元蔵			検査	西4月23日	北条港船御改所	林重右衛門	戸長	
154	108	114	御願	磯須賀町	日吉丸	村瀬元蔵			検査	明治6年4月	北条港船御改所	村瀬元蔵、村瀬房照	戸長	
155	109	115	脚肩御願	坂井村	盛寶丸	山本久左衛門			脚肩	明治6年4月24日	北条港船御改所	永田善蔵	副戸長	
156	110	116	御願	細目村	住吉丸	奥村和平治	30石、2人		鑑札	明治6年4月	北条港船御改所	中村久右衛門	戸長	不知波船
157	111	117	御願	西端村	※瀬取船	日比源八			検査	4月25日	北条港船御改所	戸長	組頭が戸長代理	
112	118			古場村	※瀬取船				検査	明治6年西5月	北条港船御改所	澤田藤三郎	副戸長	検査遅延の理由
158	113	119	御願	鑑治屋村	※小船	竹内清吉	5石		屋計	4月	北条村船改所	峯神源助	副戸長	
159	113	119	御願	鑑治屋村	※小船	竹内基右衛門	2石		屋計	4月	北条村船改所	峯神源助	副戸長	
160	113	119	御願	鑑治屋村	※小船	榎本文吉	1石		屋計	4月	北条村船改所	峯神源助	副戸長	

---

平成 16 年 3 月 30 日発行

常滑市民俗資料館  
**研 究 紀 要 IX**

編 集 常滑市民俗資料館  
発 行 常滑市教育委員会  
印 刷 株式会社 平和堂

---

常滑市民俗資料館

研究紀要  
VI

二〇〇四

常滑市教育委員会